

設 計 書

工事名称 北松戸駅西口自転車駐車場改修工事

工事場所 松戸市上本郷530番地の1

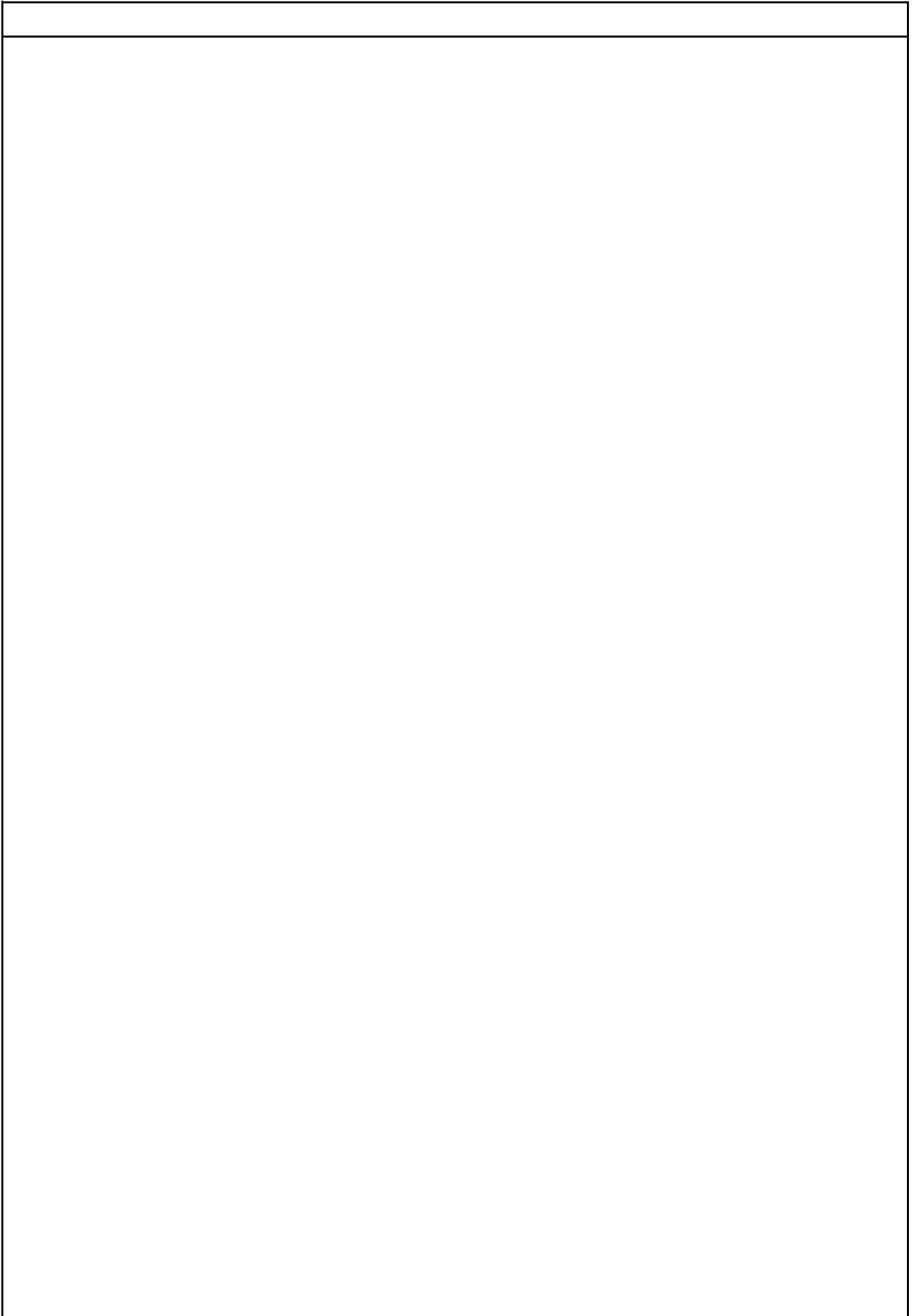
工 期 自 令和 年 月 日
至 令和 6年 3月22日

設計年月日 令和 5年 6月

(工事価格)

前払金及工事出来高の内払回数については松戸市財務規則による。

参 考



建築工事		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
養生 (屋根改修) (外壁改修) (内部改修)		1	式			
整理清掃後片付け (屋根改修) (外壁改修) (内部改修)		1	式			
枠組本足場 (手すり先行方式)	仮設材運搬	1	式			
単管本足場	仮設材運搬共、親綱張り共	1	式			
単管ﾌﾞﾗｯｸﾞｯﾄ足場	仮設材運搬共	1	式			
安全手すり	仮設材運搬共	1	式			
ネット状養生シート張り	防災I類 仮設材運搬共	1	式			
防音シート張り	仮設材運搬共	1	式			
金網式養生枠	仮設材運搬共	1	式			
小幅ネット張り (層間塞ぎ)	仮設材運搬共	1	式			
養生防護棚	仮設材運搬共	1	式			
出入口落下物養生	仮設材運搬共	1	式			
庇養生	仮設材運搬共	1	式			
仕上足場	仮設材運搬共	1	式			
仮設間仕切り	軽鉄下地 両面 石こうボード 仮設材運搬共	1	式			
計						

建築工事		防水改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
既存下地清掃	ケレン・高圧水洗・デブリ・ラジ掛け程度	146	m ²			
水勾配調整		1	式			
防水下地調整 樹脂珪藻土金こて	厚さ 2mm ひび割れ補修共	6	m ²			
防水端部目地切	10×10	5	m			
塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタンゴム系 平面 表面塗装シリアル	4	m ²			
塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタンゴム系 立上り 表面塗装シリアル	2	m ²			
改修用ドレン (材工共)	横引き 鉛製80φ用 アルミストレーナー共 既存ドレン撤去・集積共	1	か所			
高強度形塗膜防水	ウレタンゴム系 平場 田島ルーフing 株式会社超速硬化型ウレタン塗膜防水(駐車場防水工法)同等品 下地補修、下地調整共	41	m ²			
高強度形塗膜防水	ウレタンゴム系 階段・スロップ 田島ルーフing 株式会社超速硬化型ウレタン塗膜防水(駐車場防水工法)同等品 下地補修、下地調整共	86	m ²			
高強度形塗膜防水	ウレタンゴム系 立上り 田島ルーフing 株式会社超速硬化型ウレタン塗膜防水(駐車場防水工法)同等品 下地補修、下地調整共	13	m ²			
防水端部シーリング	一般部 ポリウレタン系(PU-2) 10×10	230	m			
計						

建築工事		外壁改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
壁改修下地調査費		1,937	m			
壁高圧水洗い (手間・損料共)		523	m			
壁高圧水洗い (手間・損料共)	12MPA(120kg/cm2)	929	m			
ひび割れ部 Iポキ樹脂シール (材工共)	幅10mm	358	m			
ひび割れ部 (Uカットシーリング 充填) (材工共)	ポリウレタンシーリング 10×10~15mm ポリアセチレン系樹脂充填あり	26	m			
欠損部処理 (材工共)	幅100mm,長さ100mm,平均深20mm程度 ハクリ、錆落ダラシ、Iポキ樹脂樹脂埋	294	か所			
珪藻土浮部改修 部 分Iポキ樹脂注入 (材工共)	狭幅部 5本/m	13	m			
下地調整材	C-1	48	m			
複層塗材 E	ALCA® 祢面 ゆず肌状 ロータ塗 シリコン系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費別途	48	m			
可とう形改修塗材 E	ALCA® 祢面 平たん状 ロータ塗 シリコン系 水系 つやあり 上塗2回	362	m			
下地調整材	C-1	11	m			
複層塗材 E	コンクリート面 ゆず肌状 ロータ塗 シリコン系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費別途	11	m			
可とう形改修塗材 E	コンクリート面 平たん状 ロータ塗 シリコン系 水系 つやあり 上塗2回	103	m			
基礎巾木用塗料	下塗1回・主材塗2回 C-1共	104	m			
コンクリート打放し補修		1	式			
複層塗材 E	けい酸カルシウム板面 ゆず肌状 ロータ塗 シリコン系 水系 つやあり 上塗2回 既存塗膜除去RB種 下地調整共	33.6	m			
複層塗材 E	押出成形セメント板面 ゆず肌状 ロータ塗 シリコン系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整共	523	m			

建築工事		外壁改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
EP-G塗り	押出成形シート板面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面) 既存塗膜除去RB種	485	m			
目地シーリング	一般部 ポリウレタン系(PU-2) 15×10 両面	2,596	m			
目地シーリング	一般部 ポリウレタン系(PU-2) 20×10 両面	832	m			
屋根・樋・庇廻りシーリング	一般部 ポリウレタン系(PU-2) 10×10 両面	333	m			
建具・水切廻りシーリング	一般部 ポリウレタン系(PU-2) 15×10 両面	830	m			
建具・水切廻りシーリング	一般部 ポリウレタン系(MS-2) 15×10 両面	344	m			
ガラス廻りシーリング	一般部 ポリウレタン系(SR-1) 両面	1,277	m			
壁付属物・配管廻りシーリング		1	式			
サッシ・ガラスクリーニング	両面	459	m			
硬質ポリ塩化ビニル管とい(カー)	径75	19.5	m			
消防隊進入口マーク【材工共】	200×200 2か所 撤去共	1	式			
テント庇張替え	帝人フロンティア株式会社知-ザ-V3同等品 撤去共	1	式			
脱落防護ネット取外再取付	クリーニング 共	1	式			
壁付属物クリーニング		1	式			
屋根・樋クリーニング	土、草等	1	式			
屋根・樋部分補修		1	式			

建築工事		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床クリーニング		2,258	m			
床珞ル補修		1	式			
ノスリッパ 塗床補修	エポキシ樹脂系、防滑仕上げ 既存塗膜脆弱部除去、下地調整共	1	式			
駐輪場等 白線マーカ (材工共)	加熱溶着式塗装 幅150	896	m			
駐輪場等 文字・矢印 (材工共)	加熱溶着式塗装	1	式			
階段ノスリッパ 新設	SUS製 アステック® 15-GHT140同等品	81.2	m			
階段ノスリッパ 取外再取付	クリーニング 共	42	m			
既存階段ノスリッパ クリーニング		1	式			
ビニル幅木	高さ100	10	m			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @300	7	m ²			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 450×450mm程度 ボルト等切込み共	1	か所			
天井 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノアス)0.8FK 厚 8 突付け	7	m ²			
廻り縁	アルミ製 シーリング 共	10.6	m			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	1	か所			
鉄部クリーニング	耐火被覆面	1	式			
下地調整		1	式			

現場説明書

1. 工事名称 北松戸駅西口自転車駐車場改修工事

2. 工事場所 松戸市上本郷530番地の1

3. 説明事項

<一般事項>

- ・ 工事期間中は現場内の整理整頓及び敷地周辺環境に配慮すること。
- ・ 契約後、各施工計画書及び施工図等は遅滞なく作成し提出をすること。
- ・ 騒音、振動が発生する作業を行う場合は、事前に施設管理者及び関係者と十分協議し、作業を行うこと。
- ・ 関係官公署への届出は、契約後速やかに行うこと。
- ・ 別途、電気設備工事が発注される予定のため、工程及び資材置場等の調整を図ること。

<仮設について>

- ・ 搬出入時等は交通誘導員を適宜配置し、安全確保に努めること。
- ・ 施設を利用しながらの工事となるため、施設利用者の安全が確保される仮設計画を作成し、安全管理を十分に行うこと。

<工程について>

- ・ 工事の日程等については、施設管理者及び関係者に事前に周知を図ること。
- ・ 本工事は以下のとおり工区を分けて実施するため、契約後すみやかに工程表及び仮設計画図を提出し、関係者と十分協議を行うこと。

第1工区 : 【対象】地下1階、1階

【工期】令和5年8月～11月

地下1階 : 令和5年8月から施設利用停止

1階駐輪場 : 令和5年9月から施設利用停止

1階バイク置き場 : 令和5年10月から施設利用停止

(第1工区の作業が終わり次第、部分使用確認を実施)

第2工区 : 【対象】2階、3階

【工期】第1工区の部分使用開始後～令和6年3月

(令和6年3月8日までに部分使用確認を実施)

<注意事項>

- ・ 提出書類は松戸市建築工事提出書類等一覧表による。
- ・ 検査・立会は松戸市建築工事検査・立会一覧表による。
- ・ 落札者は契約締結後、書式データ・図面データ等をお渡しするのでCD-RW等を建築保全課へ持参すること。

仕様書

I 工事概要

1. 工事場所 松戸市上本郷530番地の1

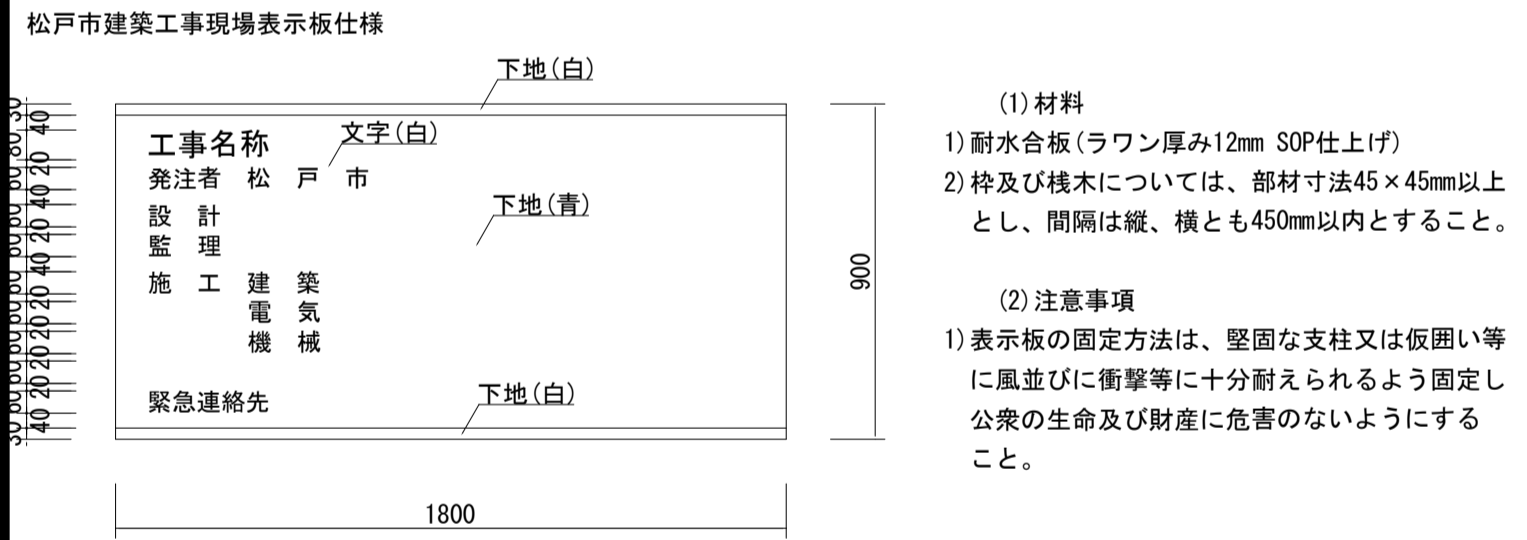
2. 敷地面積 925.57㎡

3. 改修建物概要
用途：自転車駐車場
構造：鉄骨造 地下鉄筋コンクリート造
階数：地上3階 地下1階
延べ面積：2,229.84㎡

4. 工事内容

工事項目	工事範囲
2 仮設工事	外部足場、養生、ガードフェンス
3 防水改修工事	1)外壁塗膜防水(1階階上)・高強度形塗膜防水(2階床・階段・20-F)
4 外壁改修工事	補修、仕上材塗替え、シーリング打替え
5 建具改修工事	-
6 塗装改修工事	DP塗装、EP-G塗装、SOP塗装、屋根用塗料塗装、加熱溶着式塗装
7 耐震改修工事	-
8 環境配慮改修工事	7A^ 含有塗材部除去
9 その他	-

- II 建築工事仕様
1. 共通仕様
- (1) 図面及び特記仕様に記載されいない事項は、国土交通大臣官房管轄部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、「改修仕様」という。)及び国土交通大臣官房管轄部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下「標準」という)による。
2. 特記仕様
- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、◎印の付いたものを適用する。
◎印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
◎印と※印の付いた場合は共に適用する。
(3) 特記事項に記載の[]内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の()内表示番号は、標準仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(5) ⑥印は「国等による環境物品等の調達に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の特定調達品目を示す。



章 項目	特 記 事 項																																				
1 一般共通事項	① 運用基準等 <ul style="list-style-type: none"> 松戸市建築工事に関する提出書類 工事写真の撮り方 建築編(国土交通大臣官房官庁管轄部監修) 松戸市建築工事現場表示板仕様 																																				
	② 工事実績情報サービス(CORINS)への登録 [1. 1. 4]																																				
	③ 施工計画書 [1. 2. 2] <ul style="list-style-type: none"> 工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。 施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。 施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。 施工図等の内容を変更する必要がある場合は監督職員に報告する。 																																				
	4 電気保安技術者 [1. 3. 3] <ul style="list-style-type: none"> 工事現場に置く電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工物の保安の業務を行うものとする。 																																				
	⑤ 施工条件 [1. 3. 5] ※ 現場説明書による																																				
	⑥ 発生材の処理等 [1. 3. 12] ※ 現場説明書による ・ 場外搬出適正処理																																				
	⑦ 材料の品質等 [1. 4. 2] <p>本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。</p> <p>(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 (3) 安定的な供給が可能であること。 (4) 法令等で定める許可、認定又は免許等を取得していること。 (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 (6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。</p> <p>なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関(社)公共建築協会 他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。</p> <p>また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>⑧ 化学物質を放散する建築材料等 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 2) 保温材、衝撃材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 3) 接着剤はフタル酸ジエーテル及びフタル酸ジエーテルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 5) 1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのEo規格品 ④旧JASのF0o規格品</p>																																				
	⑨ 特別な材料の工法 [1. 6. 2] <p>標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。</p>																																				
	⑩ 技能士 [1. 6. 2] <table border="1"> <thead> <tr> <th>通用工事種別</th> <th>技能検定の職種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>・鉄筋施工(鉄筋組立作業)</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>・型枠施工</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>・とび</td> </tr> <tr> <td>ブロック・ALCパネル工事</td> <td>・ブロック建築 ・ALCパネル施工</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>・アスファルト防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎塗膜防水工事作業 ◎シーリング防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>・石材施工(石張り施工)</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>・タイル張り</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>・建築大工</td> </tr> <tr> <td>屋根及びびとい工事</td> <td>・建築板金(内外装板金作業)</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>◎左官</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>・サッシ施工 ・ガラス施工 ・自動ドア施工</td> </tr> <tr> <td>カーテンウォール工事</td> <td>・カーテンウォール施工 ・サッシ施工 ・ガラス施工</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>◎塗装(建築塗装作業)</td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td>・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業) ・表装(壁装作業)</td> </tr> <tr> <td>補装工事</td> <td>・造園</td> </tr> </tbody> </table>	通用工事種別	技能検定の職種	鉄筋工事	・鉄筋施工(鉄筋組立作業)	コンクリート工事	・型枠施工	鉄骨工事	・とび	ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築 ・ALCパネル施工	防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業		◎塗膜防水工事作業 ◎シーリング防水工事作業	石工事	・石材施工(石張り施工)	タイル工事	・タイル張り	木工事	・建築大工	屋根及びびとい工事	・建築板金(内外装板金作業)	金属工事	・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)	左官工事	◎左官	建具工事	・サッシ施工 ・ガラス施工 ・自動ドア施工	カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工 ・サッシ施工 ・ガラス施工	塗装工事	◎塗装(建築塗装作業)	内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業) ・表装(壁装作業)	補装工事	・造園
通用工事種別	技能検定の職種																																				
鉄筋工事	・鉄筋施工(鉄筋組立作業)																																				
コンクリート工事	・型枠施工																																				
鉄骨工事	・とび																																				
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築 ・ALCパネル施工																																				
防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業																																				
	◎塗膜防水工事作業 ◎シーリング防水工事作業																																				
石工事	・石材施工(石張り施工)																																				
タイル工事	・タイル張り																																				
木工事	・建築大工																																				
屋根及びびとい工事	・建築板金(内外装板金作業)																																				
金属工事	・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)																																				
左官工事	◎左官																																				
建具工事	・サッシ施工 ・ガラス施工 ・自動ドア施工																																				
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工 ・サッシ施工 ・ガラス施工																																				
塗装工事	◎塗装(建築塗装作業)																																				
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業) ・表装(壁装作業)																																				
補装工事	・造園																																				
11 化学物質の濃度測定 [1. 6. 9]	<p>施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定し、報告すること。</p> <p>測定はバッチ型採取機器により行う。</p> <p>着工前の測定 ・ 行う 測定対象室 ・ 測定箇所数 ・</p>																																				
12 完成図等 [1. 8. 1~3][表1. 8. 1]	<p>※作成する ・ 作成しない ※完成図 提出部数 ※現場製本図 2部(A2版第2原図及び電子媒体(CD-R)) ・ 黒 金文字製本図 1部 ・ 施工図 提出部数 ※ 部</p>																																				

章 項目	特 記 事 項																														
13 完成写真	<p>下記のものを監督職員に提出する。ただし、原稿は撮影業者の保管とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類・規格</th> <th>撮影箇所数</th> <th>撮影部数</th> <th>原稿の大きさ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・カラー <ul style="list-style-type: none"> ※キャビネ版 ・べた焼き ・(他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャビネ版)提出) </td> <td>外部() 内部()</td> <td>※1 ・6</td> <td>※100×125以上 ・</td> </tr> <tr> <td>※カラー半切木製パネル 324×400(mm)</td> <td>外部() 内部()</td> <td>※2</td> <td>※200万画素以上 ※300dpi以上</td> </tr> <tr> <td>・電子データ</td> <td>外部() 内部()</td> <td>※2</td> <td>※200万画素以上 ※300dpi以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>100×125以上の原版を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼きを提出し確認を受ける。 電子データはRGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)</p>	分類・規格	撮影箇所数	撮影部数	原稿の大きさ(mm)	・カラー <ul style="list-style-type: none"> ※キャビネ版 ・べた焼き ・(他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャビネ版)提出) 	外部() 内部()	※1 ・6	※100×125以上 ・	※カラー半切木製パネル 324×400(mm)	外部() 内部()	※2	※200万画素以上 ※300dpi以上	・電子データ	外部() 内部()	※2	※200万画素以上 ※300dpi以上														
分類・規格	撮影箇所数	撮影部数	原稿の大きさ(mm)																												
・カラー <ul style="list-style-type: none"> ※キャビネ版 ・べた焼き ・(他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャビネ版)提出) 	外部() 内部()	※1 ・6	※100×125以上 ・																												
※カラー半切木製パネル 324×400(mm)	外部() 内部()	※2	※200万画素以上 ※300dpi以上																												
・電子データ	外部() 内部()	※2	※200万画素以上 ※300dpi以上																												
⑭ 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。																														
15 設計GL	※図示 ・ 設計GL=現状GL																														
⑯ 工事写真	※着工前、完成及び立会写真2部 工事工程写真1部																														
⑰ ワンデーレスポンスの実施	<p>ワンデーレスポンスの取り組みについて</p> <p>1. この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。 「ワンデーレスポンス」とは 受注者から質問、協議への回答は基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。</p> <p>2. 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議を行う。</p> <p>3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督職員へ報告すること。</p> <p>4. 効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。</p>																														
18 その他	<p>2 仮設工事</p> <p>① 足場その他 [2. 2. 1] <ul style="list-style-type: none"> 内部足場 種別 ※脚立、足場板 ・ 棚足場 外部足場 手すり先行工法に関するガイドラインに基づき設置すること。 [2. 2. 1][表2. 2. 1] 屋根工事及び小屋組みの建方工事における墜落事故防止対策はJIS A 8971に基づき設置すること。 [2. 2. 1][表2. 2. 1] 材料、撤去材等の運搬方法 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・ 設置する足場、作業構台等は別契約の関連する工事の関係者に無償で使用させる。 </p> <p>② 養生 [2. 3. 1] <p>既存部分の養生 ※ビニールシート ・ 合板 厚12</p> <p>既存家具等の養生 ※ビニールシート ・</p> <p>固定家具等の養生 ※行う ・ 行わない</p> </p> <p>③ 仮設間仕切り [2. 3. 2][表2. 3. 1] <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>下 地</th> <th>仕上材(厚さ mm)</th> <th>充てん材</th> <th>塗 装</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td>※軽鋼骨</td> <td>・合板(※9.0 ・ラワン)</td> <td></td> <td>※無し</td> </tr> <tr> <td>◎B種</td> <td>・木下地</td> <td>※せつこうボード(※12.5 ・)</td> <td>厚さ mm</td> <td>・片面</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>・単管下地</td> <td>防火シート</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・仮設扉</td> <td>※木製扉</td> <td>※合板張り程度</td> <td></td> <td>※無し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・鋼製扉</td> <td>※片面フラッシュ程度</td> <td></td> <td>・有り</td> </tr> </tbody> </table> </p> <p>4 監督職員事務所 [2. 4. 1] <p>規模及び仕上げの程度は現場説明書による。</p> </p> <p>⑤ 工事用水 [2. 4. 1] <p>構内既存の施設 ・ 利用できない ※利用できる(※有償 ・ 無償) ※子メータを設置する。</p> </p> <p>⑥ 工事電力 [2. 4. 1] <p>構内既存の施設 ※利用できない ・ 利用できる(※有償 ・ 無償)</p> </p> <p>⑦ 防音シート ◎防音シートによる養生 ※ 行う ・ 行わない</p> <p>8 仮門 ・キャスターゲート W= 3.0 m、H= 1.8 m、 箇所 ・キャスターゲート W= 6.0 m、H= 1.8 m、 箇所</p> <p>⑨ 仮囲い ・ 万能鋼板 H= 2.0 m、L= m、 箇所 ・ 成型鋼板 H= 2.0 m、L= m、 箇所 ・ 図示 ※ガードフェンス H= m、L= m、 箇所 (図示)</p> <p>10 仮設道路 ・ 砕石敷(厚さ mm 幅 mm) L= m (砕石は、再生クラッシュランを使用) ・ 鋼板敷(厚さ mm 幅 mm L= m) 枚</p>	種 別	下 地	仕上材(厚さ mm)	充てん材	塗 装	・A種	※軽鋼骨	・合板(※9.0 ・ラワン)		※無し	◎B種	・木下地	※せつこうボード(※12.5 ・)	厚さ mm	・片面	・C種	・単管下地	防火シート			・仮設扉	※木製扉	※合板張り程度		※無し		・鋼製扉	※片面フラッシュ程度		・有り
種 別	下 地	仕上材(厚さ mm)	充てん材	塗 装																											
・A種	※軽鋼骨	・合板(※9.0 ・ラワン)		※無し																											
◎B種	・木下地	※せつこうボード(※12.5 ・)	厚さ mm	・片面																											
・C種	・単管下地	防火シート																													
・仮設扉	※木製扉	※合板張り程度		※無し																											
	・鋼製扉	※片面フラッシュ程度		・有り																											
3 防水改修工事	<p>1 アスファルト防水 [3. 3. 2][表3. 1. 1][表3. 3. 3~10]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>防水改修工法の種類</th> <th>施工箇所</th> <th>新規防水層の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保 護 種 類 防 水 露 出 防 水 屋 内 防 水</td> <td>※PIB ・PIB1 ・TIB1 ・P2AI ※P2A ・M4C ・M3D ・POD ・PIE ・P2E</td> <td>・B-1 ※B-2 ・BI-1 ※BI-2 ・AI-1 ※AI-2 ・A-1 ※A-2 ・C-1 ※C-2 ・D-1 ※D-2 ・E-1 ※E-2 (保護層は図示による)</td> </tr> </tbody> </table> <p>アスファルトの種類 ※3種 ・4種 [3. 2. 2][3. 3. 2] 保護コンクリートのコンクリート種類 ・普通コンクリート(18N/㎥ S=18mm) [3. 3. 2][8. 11. 1] (溶接金網 径6mm 100mm×100mm敷設)</p> <p>POD工法の二重ドレン ※設けない ・設ける [3. 2. 5] M3D、POD工法の脱気装置 ※設けない ・設ける [3. 3. 3] 既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4C工法の場合) ・除去する [3. 2. 6] 断熱工法の断熱材 厚さ(mm) ※25 ・ [3. 3. 2] ただし、特定フロンを含まないもの。</p> <p>立上り部の保護 [3. 3. 2] ・ れんがの種類 ※見え隠れ部分は市販品のレンガ又は、市販品のレンガ形コンクリートブロックとする。 ・ 乾式保護材の材料 ※押出成形セメント板 厚さ15mm</p>	防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	保 護 種 類 防 水 露 出 防 水 屋 内 防 水	※PIB ・PIB1 ・TIB1 ・P2AI ※P2A ・M4C ・M3D ・POD ・PIE ・P2E	・B-1 ※B-2 ・BI-1 ※BI-2 ・AI-1 ※AI-2 ・A-1 ※A-2 ・C-1 ※C-2 ・D-1 ※D-2 ・E-1 ※E-2 (保護層は図示による)																								
防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類																													
保 護 種 類 防 水 露 出 防 水 屋 内 防 水	※PIB ・PIB1 ・TIB1 ・P2AI ※P2A ・M4C ・M3D ・POD ・PIE ・P2E	・B-1 ※B-2 ・BI-1 ※BI-2 ・AI-1 ※AI-2 ・A-1 ※A-2 ・C-1 ※C-2 ・D-1 ※D-2 ・E-1 ※E-2 (保護層は図示による)																													
2 改質アスファルトシート防水 [3. 4. 2][表3. 1. 1][表3. 4. 1~3]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>防水改修工法の種類</th> <th>施工箇所</th> <th>新規防水層の種類</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・MAAS工法</td> <td></td> <td>・AS-1 ・AS-2 ・AS-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・MAS工法</td> <td></td> <td>・AS-4 ・AS-5 ・AS-6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・POAS工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・MASI工法</td> <td></td> <td>・ASI-1 ・ASI-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・MASI工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・POASI工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>脱気装置 ※設けない ・設ける</p>	防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	厚さ(mm)	・MAAS工法		・AS-1 ・AS-2 ・AS-3		・MAS工法		・AS-4 ・AS-5 ・AS-6		・POAS工法				・MASI工法		・ASI-1 ・ASI-2		・MASI工法				・POASI工法					
防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	厚さ(mm)																												
・MAAS工法		・AS-1 ・AS-2 ・AS-3																													
・MAS工法		・AS-4 ・AS-5 ・AS-6																													
・POAS工法																															
・MASI工法		・ASI-1 ・ASI-2																													
・MASI工法																															
・POASI工法																															

章 項目	特 記 事 項																																								
3 合成高分子系ルーフィングシート防水	<p>[3. 5. 2][表3. 1. 1][表3. 5. 1~3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>防水改修工法の種類</th> <th>施工箇所</th> <th>新規防水層の種類</th> <th>仕上げ塗料等</th> <th>使用分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・POS工法</td> <td></td> <td>・S-F1 ・S-M1</td> <td>・カラー</td> <td>※非歩行</td> </tr> <tr> <td>・S4S工法</td> <td></td> <td>・S-F2 ・S-M2</td> <td>・シルバー</td> <td>・軽歩行</td> </tr> <tr> <td>・S3S工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・M4S工法</td> <td></td> <td>・S-M1 ・S-M2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・POSI工法</td> <td></td> <td>・SI-F1 ・SI-M1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S3SI工法</td> <td></td> <td>・SI-F2 ・SI-M2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S4SI工法</td> <td></td> <td>・SI-M3</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>脱気装置 ※設けない ・設ける [3. 5. 3] 目地処理 PCコンクリート [3. 5. 4]</p>	防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	仕上げ塗料等	使用分類	・POS工法		・S-F1 ・S-M1	・カラー	※非歩行	・S4S工法		・S-F2 ・S-M2	・シルバー	・軽歩行	・S3S工法					・M4S工法		・S-M1 ・S-M2			・POSI工法		・SI-F1 ・SI-M1			・S3SI工法		・SI-F2 ・SI-M2			・S4SI工法		・SI-M3		
防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	仕上げ塗料等	使用分類																																					
・POS工法		・S-F1 ・S-M1	・カラー	※非歩行																																					
・S4S工法		・S-F2 ・S-M2	・シルバー	・軽歩行																																					
・S3S工法																																									
・M4S工法		・S-M1 ・S-M2																																							
・POSI工法		・SI-F1 ・SI-M1																																							
・S3SI工法		・SI-F2 ・SI-M2																																							
・S4SI工法		・SI-M3																																							
④ 塗膜防水 [3. 6. 2~4][表3. 1. 1][表3. 6. 1]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>新規防水層の種類</th> <th>仕上げ塗料塗り</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・平場 X-1 ・立上り X-2 ・歩行用</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1階屋根</td> <td>◎平場 X-2 ◎立上り X-2 ・歩行用</td> <td>◎カラー</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・平場 X-2 ・立上り X-2 ・歩行用</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・平場 X-2 ・立上り X-2 ・歩行用</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装(4 X工法の場合) ・活膜を残す [3. 2. 6] 脱気装置 ・設けない(X-2) ・設ける(X-1) [3. 6. 3]</p>	施工箇所	新規防水層の種類	仕上げ塗料塗り		・平場 X-1 ・立上り X-2 ・歩行用		1階屋根	◎平場 X-2 ◎立上り X-2 ・歩行用	◎カラー		・平場 X-2 ・立上り X-2 ・歩行用			・平場 X-2 ・立上り X-2 ・歩行用																										
施工箇所	新規防水層の種類	仕上げ塗料塗り																																							
	・平場 X-1 ・立上り X-2 ・歩行用																																								
1階屋根	◎平場 X-2 ◎立上り X-2 ・歩行用	◎カラー																																							
	・平場 X-2 ・立上り X-2 ・歩行用																																								
	・平場 X-2 ・立上り X-2 ・歩行用																																								
⑤ 高強度形塗膜防水	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>商品名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2階床・階段・20-F</td> <td>田島I-Funk'株式会社 超速硬化型UV塗膜防水(駐車場防水工法)(OPA-300-SP、OPA-500A-SP) 同等品</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	商品名	2階床・階段・20-F	田島I-Funk'株式会社 超速硬化型UV塗膜防水(駐車場防水工法)(OPA-300-SP、OPA-500A-SP) 同等品																																				
施工箇所	商品名																																								
2階床・階段・20-F	田島I-Funk'株式会社 超速硬化型UV塗膜防水(駐車場防水工法)(OPA-300-SP、OPA-500A-SP) 同等品																																								
6 脱気装置 [3. 3. 2][3. 4. 2][3. 5. 2][3. 6. 2][表3. 1. 1]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>材 質</th> <th>設置数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・平面部脱気型</td> <td>・ポリエチレン樹脂 ・ABS樹脂 ・ステンレス ・鉄鉄</td> <td>・約50㎡当たり1箇所</td> </tr> <tr> <td>・立上り部脱気型</td> <td>・合成ゴム ・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス ・銅</td> <td>・()㎡当たり1箇所</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	材 質	設置数量	・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂 ・ABS樹脂 ・ステンレス ・鉄鉄	・約50㎡当たり1箇所	・立上り部脱気型	・合成ゴム ・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス ・銅	・()㎡当たり1箇所																															
種 類	材 質	設置数量																																							
・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂 ・ABS樹脂 ・ステンレス ・鉄鉄	・約50㎡当たり1箇所																																							
・立上り部脱気型	・合成ゴム ・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス ・銅	・()㎡当たり1箇所																																							
⑦ シーリング [3. 1. 4] [表3. 1. 2]	<p>シーリング改修工法の種類 [3. 1. 4] [表3. 1. 2]</p> <p>◎シーリング充填 ◎シーリング再充填工法 ・ 拡幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法</p>																																								
シーリング材の種類、施工箇所 [3. 7. 2] [表3. 7. 1]	<p>※下表以外は改修仕様3. 7. 1を標準とする</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類(記号)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎打ち継ぎ目地、伸縮目地</td> <td>◎ポリウレタン系(PU-2)仕上げあり</td> </tr> <tr> <td>◎建具廻り、金属取合い</td> <td>◎変成シリコーン系(MS-2)仕上げなし</td> </tr> <tr> <td>◎ALC' 34、押出中空成形枠内板目地</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	シーリング材の種類(記号)	◎打ち継ぎ目地、伸縮目地	◎ポリウレタン系(PU-2)仕上げあり	◎建具廻り、金属取合い	◎変成シリコーン系(MS-2)仕上げなし	◎ALC' 34、押出中空成形枠内板目地																																	
施工箇所	シーリング材の種類(記号)																																								
◎打ち継ぎ目地、伸縮目地	◎ポリウレタン系(PU-2)仕上げあり																																								
◎建具廻り、金属取合い	◎変成シリコーン系(MS-2)仕上げなし																																								
◎ALC' 34、押出中空成形枠内板目地																																									
8 とい [3. 8. 2] [表3. 8. 1]	<p>といの材質 [3. 8. 2] [表3. 8. 1] ・ 配管用鋼管 ※カラー硬質塩化ビニル管 ・ 排水用リサイクル硬質塩化ビニル管(REP-VU) ⑥ 鋼管製といの防露 [3. 8. 2] [表3. 8. 3] ・ 次の箇所は行わない() 防露材のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ ・</p>																																								
9 アルミニウム製笠木 [3. 9. 2~3] [表3. 9. 1]	<p>掃 除 口 ※有り ・ 無し [3. 8. 3] たてどい受金物の取付け SUS製φ1200 [3. 8. 3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>呼称肉厚(mm)</th> <th>製品幅(mm)</th> <th>固定間隔</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・150形</td> <td>※1. 3以上</td> <td>※150</td> <td>固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの</td> <td>隅角部及び突き当り部等の役物は本体製造所の仕様による。</td> </tr> <tr> <td>・300形</td> <td>※1. 8以上</td> <td>※300</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・350形</td> <td>※2. 0以上</td> <td>※350</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>板材折曲げ形の取付工法 ・ 図示 [3. 9. 3]</p>	種 類	呼称肉厚(mm)	製品幅(mm)	固定間隔	備 考	・150形	※1. 3以上	※150	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突き当り部等の役物は本体製造所の仕様による。	・300形	※1. 8以上	※300			・350形	※2. 0以上	※350																						
種 類	呼称肉厚(mm)	製品幅(mm)	固定間隔	備 考																																					
・150形	※1. 3以上	※150	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突き当り部等の役物は本体製造所の仕様による。																																					
・300形	※1. 8以上	※300																																							
・350形	※2. 0以上	※350																																							
10 折板葺 [13. 3. 2~3]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>形 式</th> <th>※重ね形</th> <th>・ はげ締め形</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>形状 (mm)</td> <td>山高(85)</td> <td>山ピッチ(200) 板厚 ・0.6 ・0.8</td> </tr> <tr> <td>材 料 (規格等)</td> <td colspan="2">※塗装溶解55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び銅帯 (CGLCOR-20-AZ150)</td> </tr> <tr> <td>軒先面戸板</td> <td>※有り ・ 無し</td> <td></td> </tr> <tr> <td>断 熱 材</td> <td>・有り(種別:)</td> <td>厚さ: (mm) ※無し</td> </tr> <tr> <td>耐火性能</td> <td>・30分耐火</td> <td>※無し</td> </tr> </tbody> </table>	形 式	※重ね形	・ はげ締め形	形状 (mm)	山高(85)	山ピッチ(200) 板厚 ・0.6 ・0.8	材 料 (規格等)	※塗装溶解55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び銅帯 (CGLCOR-20-AZ150)		軒先面戸板	※有り ・ 無し		断 熱 材	・有り(種別:)	厚さ: (mm) ※無し	耐火性能	・30分耐火	※無し																						
形 式	※重ね形	・ はげ締め形																																							
形状 (mm)	山高(85)	山ピッチ(200) 板厚 ・0.6 ・0.8																																							
材 料 (規格等)	※塗装溶解55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び銅帯 (CGLCOR-20-AZ150)																																								
軒先面戸板	※有り ・ 無し																																								
断 熱 材	・有り(種別:)	厚さ: (mm) ※無し																																							
耐火性能	・30分耐火	※無し																																							
4 外壁改修工事 共通事項	<p>① 施工数量調査 [1. 5. 2]</p> <p>調査範囲 ※外壁改修範囲(底上裏、内部ALC・RC部含む) ・ 図示の範囲</p> <p>調査内容 ひび割れの幅及び長さを書面に表示する。 また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を書面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のがれ及び剥落を書面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面の割れ及び剥落部を書面に表示する。また既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。 調査報告書の部数 ※1部 ・</p> <p>外壁補修想定数量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>補修項目</th> <th>外壁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ひび割れ 0.2mm未満</td> <td>358m</td> </tr> <tr> <td>ひび割れ 0.2mm以上</td> <td>26m</td> </tr> <tr> <td>欠損(100×100程度)</td> <td>294箇所</td> </tr> <tr> <td>塗膜剥離部</td> <td>45㎡</td> </tr> <tr> <td>笠木等狭副部 浮き</td> <td>13m</td> </tr> </tbody> </table>	補修項目	外壁	ひび割れ 0.2mm未満	358m	ひび割れ 0.2mm以上	26m	欠損(100×100程度)	294箇所	塗膜剥離部	45㎡	笠木等狭副部 浮き	13m																												
補修項目	外壁																																								
ひび割れ 0.2mm未満	358m																																								
ひび割れ 0.2mm以上	26m																																								
欠損(100×100程度)	294箇所																																								
塗膜剥離部	45㎡																																								
笠木等狭副部 浮き	13m																																								
工事名	北松戸駅西口自転車駐車場改修工事																																								
図面名	特記仕様書(1)																																								
作成年月日	令和5年5月 日 変更年月日																																								
縮尺	no scale 図面番号 A-02																																								
設計	松戸市 街づくり部 建築保全課																																								
事業者名	松戸市																																								
	照査 設計 製図																																								
	花川 上坂 上坂																																								

章	項目	特記事項																																																																																																												
4	②改修材料	<p>・既製調合モルタル</p> <table border="1"><thead><tr><th>保水率 (%)</th><th>単位容積質量 (kg/l)</th><th colspan="2">接着強度 (N/mm)</th><th>長さ変化率 (%)</th><th>曲げ強度 (N/mm)</th></tr><tr><td>70.0以上</td><td>1.80程度</td><td>0.60以上</td><td>0.40以上</td><td>0.20以上</td><td>4.0以上</td></tr></thead></table> <p>・パテ状エポキシ樹脂</p> <table border="1"><thead><tr><th>初期硬化性(標準)</th><th>接着強度(標準)</th><th>圧縮強度</th><th>曲げ強度</th><th>硬化収縮率</th></tr></thead><tbody><tr><td>2.0N/mm以上</td><td>6.0N/mm以上</td><td>50.0N/mm以上</td><td>30.0N/mm以上</td><td>3.0(%)以上</td></tr></tbody></table> <p>a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c.常温・常温(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。</p> <p>○可とう性エポキシ樹脂</p> <table border="1"><thead><tr><th>性能</th><th>常温物性</th><th>低温性</th><th>加熱変化</th><th>引張接着性</th></tr></thead><tbody><tr><td>引張強度</td><td>1.0N/mm以上</td><td>1.0N/mm以上</td><td>1.0N/mm以上</td><td>最大引張応力 1.0N/mm以上</td></tr><tr><td>伸び</td><td>30.0%以上</td><td>30.0%以上</td><td>30.0%以上</td><td>破断時の伸び 10.0%以上</td></tr></tbody></table> <p>比重 表示値±0.10 押出し性 60秒以下 スランプ 3mm以下 加熱減量 5%以下</p> <p>a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c.常温・常温(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。</p> <p>・タイル部分張替え工法用材料</p> <table border="1"><thead><tr><th>接着強度</th><th>標準</th><th>低温硬化</th><th>アルカリ温水</th><th>冷熱水中機返し</th><th>熱劣化</th></tr></thead><tbody><tr><td>強度(N/mm)</td><td>0.60以上</td><td>0.40以上</td><td>0.40以上</td><td>0.40以上</td><td>0.40以上</td></tr><tr><td>凝集破壊率(%)</td><td>75以上</td><td>50以上</td><td>50以上</td><td>50以上</td><td>50以上</td></tr></tbody></table> <p>皮膜物性</p> <table border="1"><thead><tr><th>引張強度(N/mm)</th><th>標準</th><th>高温</th><th>アルカリ温水</th><th>熱劣化</th></tr></thead><tbody><tr><td>伸び(%)</td><td>1.00以上</td><td>1.00以上</td><td>1.00以上</td><td>1.00以上</td></tr><tr><td></td><td>30以上</td><td>30以上</td><td>20以上</td><td>20以上</td></tr></tbody></table> <p>貯蔵安定性 容積と粘度に著しい変化がないこと。 耐熱性 JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nもりて安定していること。 a.外観が均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b.タイル、石材、下地等侵すものでないこと。 c.「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 d.常温・常温(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。 e.ずれ抵抗性があること。 f.混練終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。</p> <p>○エポキシ樹脂モルタル</p> <table border="1"><thead><tr><th>接着強度</th><th>圧縮強度</th><th>曲げ強度</th></tr></thead><tbody><tr><td>1.0N/mm以上</td><td>20.0N/mm以上</td><td>10.0N/mm以上</td></tr></tbody></table> <p>a.こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上がりが良好であること。 b.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 c.「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 d.形状に異常が無く、垂れが生じないこと。 e.常温・常温(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。</p> <p>○ポリマーセメントモルタル</p> <p>ポリマーセメントモルタルの種類 合成ゴム系、アクリル系、エチレン酢ビ系等</p> <table border="1"><thead><tr><th>曲げ強度(N/mm)</th><th>圧縮強度(N/mm)</th><th>標準時</th><th>接着強度(N/mm)</th><th>低温時</th></tr></thead><tbody><tr><td>6.0以上</td><td>20.0以上</td><td>1.0以上</td><td>0.8以上</td><td>0.5以上</td></tr></tbody></table> <p>表面状態 垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生してないこと。 透水性 表面の濡れ、水滴の付着がないこと。 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。</p> <p>・ポリマーセメントスラリー</p> <table border="1"><thead><tr><th>広がり速度 (cm/s)</th><th>長さ変化率 (収縮)</th><th>引張接着性 (材齢28日)</th><th>曲げ性能 (材齢28日)</th><th>吸水性 (72時間)</th><th>耐久性 (劣化曲げ強度)</th></tr></thead><tbody><tr><td>3以上</td><td>3.0%以下</td><td>0.5N/mm以上</td><td>5.0N/mm以上</td><td>15%以下</td><td>6.0N/mm以上</td></tr></tbody></table> <p>保水係数 0.35～0.55 粘調係数 0.50～1.00</p> <p>・吸水調整材</p> <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>全面形 (%)</th><th>吸水性 (g)</th><th>接着強度 (N/mm)</th><th>界面破壊率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>品質・性能</td><td>表示値±1%以内</td><td>30分で1g以下</td><td>0.9以上</td><td>50%以下</td></tr></tbody></table> <p>均質で有害と認められる異物の混入がないこと。</p>	保水率 (%)	単位容積質量 (kg/l)	接着強度 (N/mm)		長さ変化率 (%)	曲げ強度 (N/mm)	70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以上	4.0以上	初期硬化性(標準)	接着強度(標準)	圧縮強度	曲げ強度	硬化収縮率	2.0N/mm以上	6.0N/mm以上	50.0N/mm以上	30.0N/mm以上	3.0(%)以上	性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性	引張強度	1.0N/mm以上	1.0N/mm以上	1.0N/mm以上	最大引張応力 1.0N/mm以上	伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び 10.0%以上	接着強度	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中機返し	熱劣化	強度(N/mm)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	凝集破壊率(%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上	引張強度(N/mm)	標準	高温	アルカリ温水	熱劣化	伸び(%)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上		30以上	30以上	20以上	20以上	接着強度	圧縮強度	曲げ強度	1.0N/mm以上	20.0N/mm以上	10.0N/mm以上	曲げ強度(N/mm)	圧縮強度(N/mm)	標準時	接着強度(N/mm)	低温時	6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上	広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強度)	3以上	3.0%以下	0.5N/mm以上	5.0N/mm以上	15%以下	6.0N/mm以上	項目	全面形 (%)	吸水性 (g)	接着強度 (N/mm)	界面破壊率 (%)	品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.9以上	50%以下
保水率 (%)	単位容積質量 (kg/l)	接着強度 (N/mm)		長さ変化率 (%)	曲げ強度 (N/mm)																																																																																																									
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以上	4.0以上																																																																																																									
初期硬化性(標準)	接着強度(標準)	圧縮強度	曲げ強度	硬化収縮率																																																																																																										
2.0N/mm以上	6.0N/mm以上	50.0N/mm以上	30.0N/mm以上	3.0(%)以上																																																																																																										
性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性																																																																																																										
引張強度	1.0N/mm以上	1.0N/mm以上	1.0N/mm以上	最大引張応力 1.0N/mm以上																																																																																																										
伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び 10.0%以上																																																																																																										
接着強度	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中機返し	熱劣化																																																																																																									
強度(N/mm)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上																																																																																																									
凝集破壊率(%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上																																																																																																									
引張強度(N/mm)	標準	高温	アルカリ温水	熱劣化																																																																																																										
伸び(%)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上																																																																																																										
	30以上	30以上	20以上	20以上																																																																																																										
接着強度	圧縮強度	曲げ強度																																																																																																												
1.0N/mm以上	20.0N/mm以上	10.0N/mm以上																																																																																																												
曲げ強度(N/mm)	圧縮強度(N/mm)	標準時	接着強度(N/mm)	低温時																																																																																																										
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上																																																																																																										
広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強度)																																																																																																									
3以上	3.0%以下	0.5N/mm以上	5.0N/mm以上	15%以下	6.0N/mm以上																																																																																																									
項目	全面形 (%)	吸水性 (g)	接着強度 (N/mm)	界面破壊率 (%)																																																																																																										
品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.9以上	50%以下																																																																																																										
4-1	①ひび割れ部改修工法	<p>※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4]</p> <table border="1"><thead><tr><th>注入工法の種類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※</td><td>※製造所の仕様による</td></tr></tbody></table> <p>・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130</p> <p>注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)</p> <p>検査(コア抜き取り) ※行わない ・行う(抜き取り部の補修方法:)</p> <p>○Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]</p> <table border="1"><thead><tr><th>充填材料</th><th>品質・規格等</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・シーリング用材料</td><td>※1成分形又は2成分形</td><td>ポリマーセメントモルタルの充填</td></tr><tr><td>・可とう性エポキシ樹脂</td><td>JIA A 6024</td><td>※行わない ○行う</td></tr></tbody></table> <p>○シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6]</p> <p>・パテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024) ○可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)</p> <p>○充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]</p> <p>○エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ポリマーセメントモルタル ・ポリエステル樹脂パテ</p> <p>○アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.10]</p> <p>・樹脂モルタル T3</p>	注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	※製造所の仕様による	充填材料	品質・規格等	備考	・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形	ポリマーセメントモルタルの充填	・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	※行わない ○行う																																																																																									
注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考																																																																																																										
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	※製造所の仕様による																																																																																																										
充填材料	品質・規格等	備考																																																																																																												
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形	ポリマーセメントモルタルの充填																																																																																																												
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	※行わない ○行う																																																																																																												
4-2	外壁改修工事	<p>1 既存モルタル塗りの撤去 [4.1.4][4.2.2][4.3.4]</p> <p>2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.4]</p> <p>モルタル塗り仕上げ外壁</p>																																																																																																												
モルタル塗り仕上げ外壁																																																																																																														
4-3	外壁改修工事	<p>1 既存タイル張りの撤去 [4.5.2]</p> <p>2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.5]</p> <table border="1"><thead><tr><th>※樹脂注入工法</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※</td><td></td></tr></tbody></table> <p>※手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ※機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130</p> <p>注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)</p> <p>検査(コア抜き取り) ※行わない ・行う(抜き取り部の補修方法:)</p> <p>○Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6]</p> <table border="1"><thead><tr><th>充填材料</th><th>品質・規格等</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・シーリング用材料</td><td>※1成分形又は2成分形</td><td>ポリマーセメントモルタルの充填</td></tr><tr><td>・可とう性エポキシ樹脂</td><td>JIA A 6024</td><td>※行わない ○行う</td></tr></tbody></table> <p>3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.7]</p> <table border="1"><thead><tr><th>接着剤の種類</th><th>品質・規格等</th></tr></thead><tbody><tr><td>※ポリマーセメントモルタル</td><td></td></tr></tbody></table> <p>・タイル部分張替え工法用接着剤 [4.1.4][4.2.2][4.5.7]</p> <p>「建設省官民連携共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプであり監督職員の承諾するもの又は特記による。</p> <p>・タイル張替え工法 [4.1.4][4.5.8] 伸縮調整地及びひび割れ誘発目地 [4.5.8][表4.5.1] 位置 ※改修仕様表4.5.11による ・図示</p>	※樹脂注入工法	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※		充填材料	品質・規格等	備考	・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形	ポリマーセメントモルタルの充填	・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	※行わない ○行う	接着剤の種類	品質・規格等	※ポリマーセメントモルタル																																																																																						
※樹脂注入工法	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考																																																																																																										
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※																																																																																																											
充填材料	品質・規格等	備考																																																																																																												
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形	ポリマーセメントモルタルの充填																																																																																																												
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	※行わない ○行う																																																																																																												
接着剤の種類	品質・規格等																																																																																																													
※ポリマーセメントモルタル																																																																																																														
4-4	外壁改修工事	<p>1 既存モルタル塗りの撤去 [4.1.4][4.2.2][4.3.4]</p> <p>2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.4]</p> <p>モルタル塗り仕上げ外壁</p>																																																																																																												
4-5	外壁改修工事	<p>1 既存タイル張りの撤去 [4.5.2]</p> <p>2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.5]</p> <table border="1"><thead><tr><th>※樹脂注入工法</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※</td><td></td></tr></tbody></table> <p>※手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ※機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130</p> <p>注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)</p> <p>検査(コア抜き取り) ※行わない ・行う(抜き取り部の補修方法:)</p> <p>○Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6]</p> <table border="1"><thead><tr><th>充填材料</th><th>品質・規格等</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・シーリング用材料</td><td>※1成分形又は2成分形</td><td>ポリマーセメントモルタルの充填</td></tr><tr><td>・可とう性エポキシ樹脂</td><td>JIA A 6024</td><td>※行わない ○行う</td></tr></tbody></table> <p>3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.7]</p> <table border="1"><thead><tr><th>接着剤の種類</th><th>品質・規格等</th></tr></thead><tbody><tr><td>※ポリマーセメントモルタル</td><td></td></tr></tbody></table> <p>・タイル部分張替え工法用接着剤 [4.1.4][4.2.2][4.5.7]</p> <p>「建設省官民連携共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプであり監督職員の承諾するもの又は特記による。</p> <p>・タイル張替え工法 [4.1.4][4.5.8] 伸縮調整地及びひび割れ誘発目地 [4.5.8][表4.5.1] 位置 ※改修仕様表4.5.11による ・図示</p>	※樹脂注入工法	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※		充填材料	品質・規格等	備考	・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形	ポリマーセメントモルタルの充填	・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	※行わない ○行う	接着剤の種類	品質・規格等	※ポリマーセメントモルタル																																																																																						
※樹脂注入工法	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考																																																																																																										
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※																																																																																																											
充填材料	品質・規格等	備考																																																																																																												
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形	ポリマーセメントモルタルの充填																																																																																																												
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	※行わない ○行う																																																																																																												
接着剤の種類	品質・規格等																																																																																																													
※ポリマーセメントモルタル																																																																																																														
4-1	①ひび割れ部改修工法	<p>※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4]</p> <table border="1"><thead><tr><th>注入工法の種類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※製造所の仕様による</td><td></td></tr></tbody></table> <p>・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130</p> <p>注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)</p> <p>検査(コア抜き取り) ※行わない ・行う(抜き取り部の補修方法:)</p> <p>○Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]</p> <table border="1"><thead><tr><th>充填材料</th><th>品質・規格等</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・シーリング用材料</td><td>※1成分形又は2成分形</td><td>ポリマーセメントモルタルの充填</td></tr><tr><td>・可とう性エポキシ樹脂</td><td>JIA A 6024</td><td>※行わない ○行う</td></tr></tbody></table> <p>○シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6]</p> <p>・パテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024) ○可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)</p> <p>○充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]</p> <p>○エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ポリマーセメントモルタル ・ポリエステル樹脂パテ</p> <p>○アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.10]</p> <p>・樹脂モルタル T3</p>	注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※製造所の仕様による		充填材料	品質・規格等	備考	・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形	ポリマーセメントモルタルの充填	・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	※行わない ○行う																																																																																									
注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考																																																																																																										
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※製造所の仕様による																																																																																																											
充填材料	品質・規格等	備考																																																																																																												
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形	ポリマーセメントモルタルの充填																																																																																																												
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	※行わない ○行う																																																																																																												
4-2	外壁改修工事	<p>1 既存モルタル塗りの撤去 [4.1.4][4.2.2][4.3.4]</p> <p>2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.4]</p> <p>モルタル塗り仕上げ外壁</p>																																																																																																												
モルタル塗り仕上げ外壁																																																																																																														
4-3	外壁改修工事	<p>1 既存タイル張りの撤去 [4.5.2]</p> <p>2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.5]</p> <table border="1"><thead><tr><th>※樹脂注入工法</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※</td><td></td></tr></tbody></table> <p>※手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ※機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130</p> <p>注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)</p> <p>検査(コア抜き取り) ※行わない ・行う(抜き取り部の補修方法:)</p> <p>○Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6]</p> <table border="1"><thead><tr><th>充填材料</th><th>品質・規格等</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・シーリング用材料</td><td>※1成分形又は2成分形</td><td>ポリマーセメントモルタルの充填</td></tr><tr><td>・可とう性エポキシ樹脂</td><td>JIA A 6024</td><td>※行わない ○行う</td></tr></tbody></table> <p>3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.7]</p> <table border="1"><thead><tr><th>接着剤の種類</th><th>品質・規格等</th></tr></thead><tbody><tr><td>※ポリマーセメントモルタル</td><td></td></tr></tbody></table> <p>・タイル部分張替え工法用接着剤 [4.1.4][4.2.2][4.5.7]</p> <p>「建設省官民連携共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプであり監督職員の承諾するもの又は特記による。</p> <p>・タイル張替え工法 [4.1.4][4.5.8] 伸縮調整地及びひび割れ誘発目地 [4.5.8][表4.5.1] 位置 ※改修仕様表4.5.11による ・図示</p>	※樹脂注入工法	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※		充填材料	品質・規格等	備考	・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形	ポリマーセメントモルタルの充填	・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	※行わない ○行う	接着剤の種類	品質・規格等	※ポリマーセメントモルタル																																																																																						
※樹脂注入工法	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考																																																																																																										
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※																																																																																																											
充填材料	品質・規格等	備考																																																																																																												
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形	ポリマーセメントモルタルの充填																																																																																																												
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	※行わない ○行う																																																																																																												
接着剤の種類	品質・規格等																																																																																																													
※ポリマーセメントモルタル																																																																																																														
4-4	外壁改修工事	<p>1 既存モルタル塗りの撤去 [4.1.4][4.2.2][4.3.4]</p> <p>2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.4]</p> <p>モルタル塗り仕上げ外壁</p>																																																																																																												
モルタル塗り仕上げ外壁																																																																																																														
4-5	外壁改修工事	<p>1 既存タイル張りの撤去 [4.5.2]</p> <p>2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.5]</p> <table border="1"><thead><tr><th>※樹脂注入工法</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※</td><td></td></tr></tbody></table> <p>※手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ※機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130</p> <p>注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)</p> <p>検査(コア抜き取り) ※行わない ・行う(抜き取り部の補修方法:)</p> <p>○Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6]</p> <table border="1"><thead><tr><th>充填材料</th><th>品質・規格等</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・シーリング用材料</td><td>※1成分形又は2成分形</td><td>ポリマーセメントモルタルの充填</td></tr><tr><td>・可とう性エポキシ樹脂</td><td>JIA A 6024</td><td>※行わない ○行う</td></tr></tbody></table> <p>3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.7]</p> <table border="1"><thead><tr><th>接着剤の種類</th><th>品質・規格等</th></tr></thead><tbody><tr><td>※ポリマーセメントモルタル</td><td></td></tr></tbody></table> <p>・タイル部分張替え工法用接着剤 [4.1.4][4.2.2][4.5.7]</p> <p>「建設省官民連携共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプであり監督職員の承諾するもの又は特記による。</p> <p>・タイル張替え工法 [4.1.4][4.5.8] 伸縮調整地及びひび割れ誘発目地 [4.5.8][表4.5.1] 位置 ※改修仕様表4.5.11による ・図示</p>	※樹脂注入工法	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※		充填材料	品質・規格等	備考	・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形	ポリマーセメントモルタルの充填	・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	※行わない ○行う	接着剤の種類	品質・規格等	※ポリマーセメントモルタル																																																																																						
※樹脂注入工法	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考																																																																																																										
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※																																																																																																											
充填材料	品質・規格等	備考																																																																																																												
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形	ポリマーセメントモルタルの充填																																																																																																												
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	※行わない ○行う																																																																																																												
接着剤の種類	品質・規格等																																																																																																													
※ポリマーセメントモルタル																																																																																																														
4-1	①ひび割れ部改修工法	<p>※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4]</p> <table border="1"><thead><tr><th>注入工法の種類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※製造所の仕様による</td><td></td></tr></tbody></table> <p>・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130</p> <p>注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)</p> <p>検査(コア抜き取り) ※行わない ・行う(抜き取り部の補修方法:)</p> <p>○Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]</p> <table border="1"><thead><tr><th>充填材料</th><th>品質・規格等</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・シーリング用材料</td><td>※1成分形又は2成分形</td><td>ポリマーセメントモルタルの充填</td></tr><tr><td>・可とう性エポキシ樹脂</td><td>JIA A 6024</td><td>※行わない ○行う</td></tr></tbody></table> <p>○シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6]</p> <p>・パテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024) ○可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)</p> <p>○充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]</p> <p>○エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ポリマーセメントモルタル ・ポリエステル樹脂パテ</p> <p>○アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.10]</p> <p>・樹脂モルタル T3</p>	注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※製造所の仕様による		充填材料	品質・規格等	備考	・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形	ポリマーセメントモルタルの充填	・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	※行わない ○行う																																																																																									
注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考																																																																																																										
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※製造所の仕様による																																																																																																											
充填材料	品質・規格等	備考																																																																																																												
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形	ポリマーセメントモルタルの充填																																																																																																												
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	※行わない ○行う																																																																																																												
4-2	外壁改修工事	<p>1 既存モルタル塗りの撤去 [4.1.4][4.2.2][4.3.4]</p> <p>2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.4]</p> <p>モルタル塗り仕上げ外壁</p>																																																																																																												
モルタル塗り仕上げ外壁																																																																																																														
4-3	外壁改修工事	<p>1 既存タイル張りの撤去 [4.5.2]</p> <p>2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.5]</p> <table border="1"><thead><tr><th>※樹脂注入工法</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※</td><td></td></tr></tbody></table> <p>※手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ※機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130</p> <p>注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)</p> <p>検査(コア抜き取り) ※行わない ・行う(抜き取り部の補修方法:)</p> <p>○Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6]</p> <table border="1"><thead><tr><th>充填材料</th><th>品質・規格等</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・シーリング用材料</td><td>※1成分形又は2成分形</td><td>ポリマーセメントモルタルの充填</td></tr><tr><td>・可とう性エポキシ樹脂</td><td>JIA A 6024</td><td>※行わない ○行う</td></tr></tbody></table> <p>3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.7]</p> <table border="1"><thead><tr><th>接着剤の種類</th><th>品質・規格等</th></tr></thead><tbody><tr><td>※ポリマーセメントモルタル</td><td></td></tr></tbody></table> <p>・タイル部分張替え工法用接着剤 [4.1.4][4.2.2][4.5.7]</p> <p>「建設省官民連携共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプであり監督職員の承諾するもの又は特記による。</p> <p>・タイル張替え工法 [4.1.4][4.5.8] 伸縮調整地及びひび割れ誘発目地 [4.5.8][表4.5.1] 位置 ※改修仕様表4.5.11による ・図示</p>	※樹脂注入工法	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※		充填材料	品質・規格等	備考	・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形	ポリマーセメントモルタルの充填	・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	※行わない ○行う	接着剤の種類	品質・規格等	※ポリマーセメントモルタル																																																																																						
※樹脂注入工法	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考																																																																																																										
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※																																																																																																											
充填材料	品質・規格等	備考																																																																																																												
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形	ポリマーセメントモルタルの充填																																																																																																												
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	※行わない ○行う																																																																																																												
接着剤の種類	品質・規格等																																																																																																													
※ポリマーセメントモルタル																																																																																																														
4-4	外壁改修工事	<p>1 既存モルタル塗りの撤去 [4.1.4][4.2.2][4.3.4]</p> <p>2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.4]</p> <p>モルタル塗り仕上げ外壁</p>																																																																																																												
モルタル塗り仕上げ外壁																																																																																																														
4-5	外壁改修工事	<p>1 既存タイル張りの撤去 [4.5.2]</p> <p>2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.5]</p> <table border="1"><thead><tr><th>※樹脂注入工法</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※</td><td></td></tr></tbody></table> <p>※手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ※機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130</p> <p>注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)</p> <p>検査(コア抜き取り) ※行わない ・行う(抜き取り部の補修方法:)</p> <p>○Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6]</p> <table border="1"><thead><tr><th>充填材料</th><th>品質・規格等</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・シーリング用材料</td><td>※1成分形又は2成分形</td><td>ポリマーセメントモルタルの充填</td></tr><tr><td>・可とう性エポキシ樹脂</td><td>JIA A 6024</td><td>※行わない ○行う</td></tr></tbody></table> <p>3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.7]</p> <table border="1"><thead><tr><th>接着剤の種類</th><th>品質・規格等</th></tr></thead><tbody><tr><td>※ポリマーセメントモルタル</td><td></td></tr></tbody></table> <p>・タイル部分張替え工法用接着剤 [4.1.4][4.2.2][4.5.7]</p> <p>「建設省官民連携共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプであり監督職員の承諾するもの又は特記による。</p> <p>・タイル張替え工法 [4.1.4][4.5.8] 伸縮調整地及びひび割れ誘発目地 [4.5.8][表4.5.1] 位置 ※改修仕様表4.5.11による ・図示</p>	※樹脂注入工法	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※		充填材料	品質・規格等	備考	・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形	ポリマーセメントモルタルの充填	・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	※行わない ○行う	接着剤の種類	品質・規格等	※ポリマーセメントモルタル																																																																																						
※樹脂注入工法	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考																																																																																																										
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※																																																																																																											
充填材料	品質・規格等	備考																																																																																																												
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形	ポリマーセメントモルタルの充填																																																																																																												
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	※行わない ○行う																																																																																																												
接着剤の種類	品質・規格等																																																																																																													
※ポリマーセメントモルタル																																																																																																														
4-1	①ひび割れ部改修工法	<p>※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4]</p> <table border="1"><thead><tr><th>注入工法の種類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※製造所の仕様による</td><td></td></tr></tbody></table> <p>・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130</p> <p>注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)</p> <p>検査(コア抜き取り) ※行わない ・行う(抜き取り部の補修方法:)</p> <p>○Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]</p> <table border="1"><thead><tr><th>充填材料</th><th>品質・規格等</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・シーリング用材料</td><td>※1成分形又は2成分形</td><td>ポリマーセメントモルタルの充填</td></tr><tr><td>・可とう性エポキシ樹脂</td><td>JIA A 6024</td><td>※行わない ○行う</td></tr></tbody></table> <p>○シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6]</p> <p>・パテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024) ○可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)</p> <p>○充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]</p> <p>○エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ポリマーセメントモルタル ・ポリエステル樹脂パテ</p> <p>○アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.10]</p> <p>・樹脂モルタル T3</p>	注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※製造所の仕様による		充填材料	品質・規格等	備考	・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形	ポリマーセメントモルタルの充填	・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	※行わない ○行う																																																																																									
注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考																																																																																																										
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※製造所の仕様による																																																																																																											
充填材料	品質・規格等	備考																																																																																																												
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形	ポリマーセメントモルタルの充填																																																																																																												
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	※行わない ○行う																																																																																																												
4-2	外壁改修工事	<p>1 既存モルタル塗りの撤去 [4.1.4][4.2.2][4.3.4]</p> <p>2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.4]</p> <p>モルタル塗り仕上げ外壁</p>																																																																																																												
モルタル塗り仕上げ外壁																																																																																																														
4-3	外壁改修工事	<p>1 既存タイル張りの撤去 [4.5.2]</p> <p>2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.5]</p> <table border="1"><thead><tr><th>※樹脂注入工法</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※</td><td></td></tr></tbody></table> <p>※手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ※機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130</p> <p>注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)</p> <p>検査(コア抜き取り) ※行わない ・行う(抜き取り部の補修方法:)</p> <p>○Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6]</p> <table border="1"><thead><tr><th>充填材料</th><th>品質・規格等</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・シーリング用材料</td><td>※1成分形又は2成分形</td><td>ポリマーセメントモルタルの充填</td></tr><tr><td>・可とう性エポキシ樹脂</td><td>JIA A 6024</td><td>※行わない ○行う</td></tr></tbody></table> <p>3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.7]</p> <table border="1"><thead><tr><th>接着剤の種類</th><th>品質・規格等</th></tr></thead><tbody><tr><td>※ポリマーセメントモルタル</td><td></td></tr></tbody></table> <p>・タイル部分張替え工法用接着剤 [4.1.4][4.2.2][4.5.7]</p> <p>「建設省官民連携共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプであり監督職員の承諾するもの又は特記による。</p> <p>・タイル張替え工法 [4.1.4][4.5.8] 伸縮調整地及びひび割れ誘発目地 [4.5.8][表4.5.1] 位置 ※改修仕様表4.5.11による ・図示</p>	※樹脂注入工法	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※		充填材料	品質・規格等	備考	・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形	ポリマーセメントモルタルの充填	・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	※行わない ○行う	接着剤の種類	品質・規格等	※ポリマーセメントモルタル																																																																																						
※樹脂注入工法	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考																																																																																																										
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※																																																																																																											
充填材料	品質・規格等	備考																																																																																																												
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形	ポリマーセメントモルタルの充填																																																																																																												
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	※行わない ○行う																																																																																																												
接着剤の種類	品質・規格等																																																																																																													
※ポリマーセメントモルタル																																																																																																														
4-4	外壁改修工事	<p>1 既存モルタル塗りの撤去 [4.1.4][4.2.2][4.3.4]</p> <p>2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.4]</p> <p>モルタル塗り仕上げ外壁</p>																																																																																																												
モルタル塗り仕上げ外壁																																																																																																														
4-5	外壁改修工事	<p>1 既存タイル張りの撤去 [4.5.2]</p> <p>2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.5]</p> <table border="1"><thead><tr><th>※樹脂注入工法</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※</td><td></td></tr></tbody></table> <p>※手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ※機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130</p> <p>注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)</p> <p>検査(コア抜き取り) ※行わない ・行う(抜き取り部の補修方法:)</p> <p>○Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6]</p> <table border="1"><thead><tr><th>充填材料</th><th>品質・規格等</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・シーリング用材料</td><td>※1成分形又は2成分形</td><td>ポリマーセメントモルタルの充填</td></tr><tr><td>・可とう性エポキシ樹脂</td><td>JIA A 6024</td><td>※行わない ○行う</td></tr></tbody></table> <p>3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.7]</p> <table border="1"><thead><tr><th>接着剤の種類</th><th>品質・規格等</th></tr></thead><tbody><tr><td>※ポリマーセメントモルタル</td><td></td></tr></tbody></table> <p>・タイル部分張替え工法用接着剤 [4.1.4][4.2.2][4.5.7]</p> <p>「建設省官民連携共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプであり監督職員の承諾するもの又は特記による。</p> <p>・タイル張替え工法 [4.1.4][4.5.8] 伸縮調整地及びひび割れ誘発目地 [4.5.8][表4.5.1] 位置 ※改修仕様表4.5.11による ・図示</p>	※樹脂注入工法	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※		充填材料	品質・規格等	備考	・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形	ポリマーセメントモルタルの充填	・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	※行わない ○行う	接着剤の種類	品質・規格等	※ポリマーセメントモルタル																																																																																						
※樹脂注入工法	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考																																																																																																										
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※																																																																																																											
充填材料	品質・規格等	備考																																																																																																												
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形	ポリマーセメントモルタルの充填																																																																																																												
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	※行わない ○行う																																																																																																												
接着剤の種類	品質・規格等																																																																																																													
※ポリマーセメントモルタル																																																																																																														
4-1	①ひび割れ部改修工法	<p>※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4]</p> <table border="1"><thead><tr><th>注入工法の種類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>※</td></tr></tbody></table>	注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考	※																																																																																																						
注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考																																																																																																										
※																																																																																																														



章	項目	特記事項																								
6 塗 装 改 修 工 事	1 材料	塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。 [7.1.2~3] 屋内で使用する場合のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ 改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は [7.1.8] 監督職員と協議する。																								
	② 下地調整	[7.2.2~7][表7.2.1~7]																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>下地面の種類</th> <th>下地調整の種別</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部</td> <td>・RA種 ※RB種</td> <td>新規面はRA種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>・RA種 ※RB種</td> <td>高強度形塗膜防水【新設】部はRA種</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面</td> <td>・RA種 ※RB種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>モルタル、プaster一面</td> <td>・RA種 ※RB種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート、ALC及び押出成形</td> <td>・RA種 ※RB種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>セメント板面</td> <td>・RA種 ※RB種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>せっこうボード、その他ボード面</td> <td>・RA種 ※RB種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	下地面の種類	下地調整の種別	備 考	木部	・RA種 ※RB種	新規面はRA種	鉄鋼面	・RA種 ※RB種	高強度形塗膜防水【新設】部はRA種	垂鉛めっき鋼面	・RA種 ※RB種		モルタル、プaster一面	・RA種 ※RB種		コンクリート、ALC及び押出成形	・RA種 ※RB種		セメント板面	・RA種 ※RB種		せっこうボード、その他ボード面	・RA種 ※RB種	
	下地面の種類	下地調整の種別	備 考																							
	木部	・RA種 ※RB種	新規面はRA種																							
	鉄鋼面	・RA種 ※RB種	高強度形塗膜防水【新設】部はRA種																							
	垂鉛めっき鋼面	・RA種 ※RB種																								
	モルタル、プaster一面	・RA種 ※RB種																								
	コンクリート、ALC及び押出成形	・RA種 ※RB種																								
	セメント板面	・RA種 ※RB種																								
せっこうボード、その他ボード面	・RA種 ※RB種																									
	既存下地面等のひび割れ部補修 [表7.2.5~6] ※行う ・行わない ※錆止め JIS K 5674																									
③ 合成樹脂調合 ペイント塗り (SOP)	[7.4.3][表7.4.1]																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>下地の種類</th> <th>新規塗りの種別</th> <th>塗り替えの種別</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部</td> <td>・A種 ※B種</td> <td>※B種</td> <td>下塗りJASS 18 M-304 中塗り及び上塗りJIS K 5516</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>・A種 ※B種</td> <td>※B種</td> <td>穴埋め及びバチかいJASS 18 M-110 中塗り及び上塗りJIS K 5516</td> </tr> </tbody> </table>	下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備 考	木部	・A種 ※B種	※B種	下塗りJASS 18 M-304 中塗り及び上塗りJIS K 5516	鉄鋼面	・A種 ※B種	※B種	穴埋め及びバチかいJASS 18 M-110 中塗り及び上塗りJIS K 5516													
下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備 考																							
木部	・A種 ※B種	※B種	下塗りJASS 18 M-304 中塗り及び上塗りJIS K 5516																							
鉄鋼面	・A種 ※B種	※B種	穴埋め及びバチかいJASS 18 M-110 中塗り及び上塗りJIS K 5516																							
④ 鉄鋼面耐候性塗料 塗り (DP)	[7.8.2~4][表7.8.1~3]																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>下地の種類</th> <th>上塗りの等級</th> <th>新規塗りの種別</th> <th>塗り替えの種別</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>・1級 ・2級 ※3級</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>・A種 ※B種</td> <td>JIS K 5659</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき面</td> <td>・1級 ・2級 ※3級</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>・A種 ※B種</td> <td>JIS K 5659</td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td></td> <td>・A種 ・B種 ※C種</td> <td>・A種 ・B種 ※C種</td> <td>JIS K 5658</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>・A種 ・B種 ※C種</td> <td>・A種 ・B種 ※C種</td> <td>JIS K 5658</td> </tr> </tbody> </table>	下地の種類	上塗りの等級	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備 考	鉄鋼面	・1級 ・2級 ※3級	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5659	垂鉛めっき面	・1級 ・2級 ※3級	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5659	コンクリート		・A種 ・B種 ※C種	・A種 ・B種 ※C種	JIS K 5658	押出成形セメント板面		・A種 ・B種 ※C種	・A種 ・B種 ※C種	JIS K 5658
下地の種類	上塗りの等級	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備 考																						
鉄鋼面	・1級 ・2級 ※3級	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5659																						
垂鉛めっき面	・1級 ・2級 ※3級	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5659																						
コンクリート		・A種 ・B種 ※C種	・A種 ・B種 ※C種	JIS K 5658																						
押出成形セメント板面		・A種 ・B種 ※C種	・A種 ・B種 ※C種	JIS K 5658																						
⑤ つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り (EP-G)	[7.9.2][表7.9.1]																									
	新規の塗りの種別 ・A種 ※B種 塗り替えの場合 下塗りJIS K 5663 中塗り及び上塗りJIS K 5660																									
6 合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り (EP)	[7.10.2][表7.10.1]																									
	新規の塗りの種別 ・A種 ※B種 下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663																									
7 合成樹脂 エマルジョン 模様塗料塗り (EP-T)	[7.11.2][表7.11.1]																									
	新規の塗りの種別 ・A種 ※B種 塗り替えの場合 <table border="1"> <thead> <tr> <th>既存塗膜</th> <th>下地調整</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合成樹脂エマルジョン模様塗り</td> <td>※RB種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・RC種</td> <td>※C-3種</td> </tr> <tr> <td>平滑な塗料塗り</td> <td>※RB種</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・RC種</td> <td>・C-1種 ・C-2種</td> </tr> </tbody> </table>	既存塗膜	下地調整	種別	合成樹脂エマルジョン模様塗り	※RB種	※A種		・RC種	※C-3種	平滑な塗料塗り	※RB種	・A種 ・B種		・RC種	・C-1種 ・C-2種										
既存塗膜	下地調整	種別																								
合成樹脂エマルジョン模様塗り	※RB種	※A種																								
	・RC種	※C-3種																								
平滑な塗料塗り	※RB種	・A種 ・B種																								
	・RC種	・C-1種 ・C-2種																								
8 ウレタン樹脂 ワニス塗り (UC)	[7.12.2][表7.12.1]																									
	・A種 ※B種 1液形JASS 18 M-301 2液形JASS 18 M-502																									
9 オイルステイン 塗り (OS)	[7.13.2][表7.13.1]																									
	ワトコオイル製品同等品とする。																									
10 木材保護塗料塗り (WP)	[7.14.2][表7.14.1]																									
	・A種 ※B種 JASS 18 M-307																									
11 ポリウレタン樹脂 塗装 (2-UC)																										
	フローリングブロック面の塗り種別 ・A種 ※B種																									
⑫ その他	屋根用塗料 エスケー化研株式会社 クールタイムF同等品とする。(JIS K 5675) 『耐震補強工事構造特記仕様書』による。																									

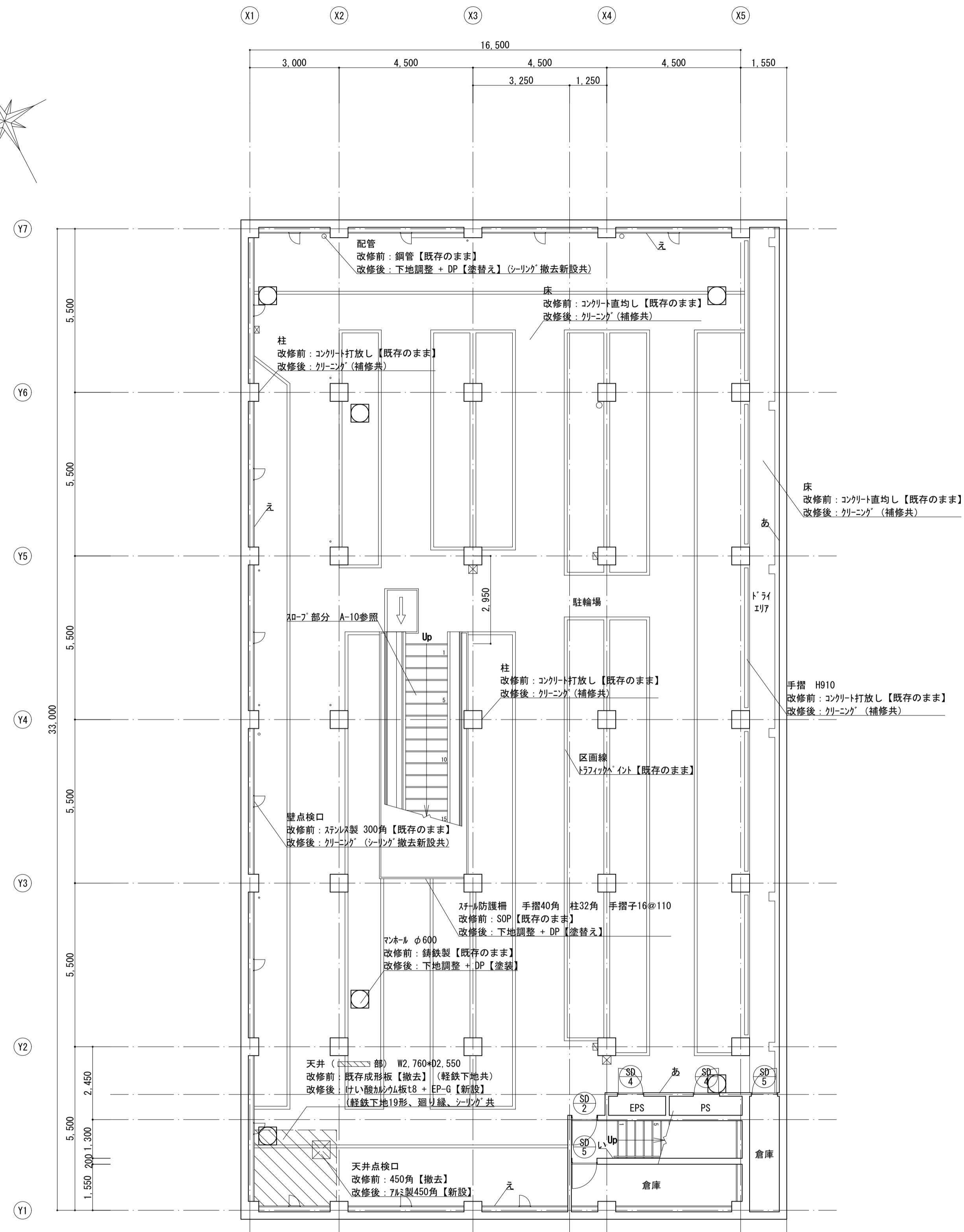
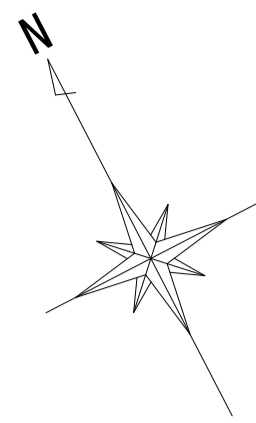
耐震
改修
工
事

章	項目	特記事項																																			
8 環 境 配 慮 (グ リ ー ン) 改 修 工 事	① 一般事項	[9.1.3]																																			
		<p>アスベスト含有吹付け材の処理工事の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・封じ込め処理 ・囲い込み処理 ・除去工法 <p>アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 図示</p> <p>分析によるアスベスト (7974741、797474、7974741、7974741、7974741) 含有の調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行う (下表による) ○行わない 																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>調査方法</th> <th>1材料あたりの試料数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・JIS A 1481による</td> <td>※3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材料名	調査方法	1材料あたりの試料数		・JIS A 1481による	※3																													
	材料名	調査方法	1材料あたりの試料数																																		
		・JIS A 1481による	※3																																		
	2 アスベスト含有 吹付け材除去工事	吹付アスベストの施工数量調査を行う。																																			
		アスベスト粉塵濃度測定 ※行う																																			
	測定時期及び場所等については下表による。																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点数 (各処理作業室毎)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>2又は3点</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>2点</td> <td>全工区共通</td> </tr> <tr> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>2点</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>1点</td> <td>空気の流れを確認</td> </tr> <tr> <td></td> <td>負圧・除塵装置の排出口 (処理作業室外の場合)</td> <td>1点</td> <td>除塵装置の性能確認</td> </tr> <tr> <td></td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>処理作業後</td> <td>処理作業室内</td> <td>2点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(隔離シート 撤去前)</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td>全工区共通</td> </tr> </tbody> </table>	測定時期	測定場所	測定点数 (各処理作業室毎)	備 考	処理作業前	処理作業室内	2又は3点			施工区画周辺又は敷地境界	2点	全工区共通	処理作業中	処理作業室内	2点			セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認		負圧・除塵装置の排出口 (処理作業室外の場合)	1点	除塵装置の性能確認		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点		処理作業後	処理作業室内	2点		(隔離シート 撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通
測定時期	測定場所	測定点数 (各処理作業室毎)	備 考																																		
処理作業前	処理作業室内	2又は3点																																			
	施工区画周辺又は敷地境界	2点	全工区共通																																		
処理作業中	処理作業室内	2点																																			
	セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認																																		
	負圧・除塵装置の排出口 (処理作業室外の場合)	1点	除塵装置の性能確認																																		
	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																			
処理作業後	処理作業室内	2点																																			
(隔離シート 撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通																																		
	(注)処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、監督員と協議する。 処理作業室内の養生完了後、第二種電気工事士による電気設備等の取外しを行う。																																				
	建築技術審査証明書を受けている工法および同等と認められる工法とする。なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。 除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。 アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任) 石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。 廃アスベスト等適切に処理する為特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任) アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。 関係官公署に届出を行う。 ・大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課 ・労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署																																				
3 アスベスト含有吹付 材囲い込み工事	本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。																																				
	軽鉄天井下地は、吊りボルトを使わないタイプ(核スタッド工法 65形φ300)とし、既存天井面には触れない。 関係官公署に届出を行う。 ・大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課 ・労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署																																				
	養生は作業範囲内壁面に垂直養生を行い、床面も水平養生を行う。 アスベスト粉塵濃度測定は工事着工前と竣工時に、内部点を実施する。外部については、2点を実施する。 —内部測定点内訳— 〈1階： 点、2階： 点、3階： 点〉 詳細納まり及び測定点については、監督職員と協議し決定すること。																																				
④ アスベスト成形板 の処理工事	[9.1.5]																																				
	処理を行うアスベスト成形板の仕様等																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材料名	厚さ (mm)	処理を行う範囲																																	
材料名	厚さ (mm)	処理を行う範囲																																			
	<p>施工調査</p> <p>アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。 調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。</p> <p>(1) アスベスト成形板使用部位の確認。 (2) アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認。 (3) アスベスト成形板使用数量の確認。</p>																																				
	吹付アスベストの施工数量調査を行う。																																				
	アスベスト粉塵濃度測定 ※行う																																				
	測定時期及び場所等については下表による。																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定場所 (各処理工区毎)</th> <th>測定点数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>処理作業前</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td>全工区共通</td> </tr> <tr> <td>足場設置前</td> <td>作業場</td> <td>6方向各1点</td> <td>全工区共通</td> </tr> <tr> <td>処理作業中</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td>全工区共通</td> </tr> <tr> <td>処理作業後</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td>全工区共通</td> </tr> </tbody> </table>	測定時期	測定場所 (各処理工区毎)	測定点数	備 考	処理作業前	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通	足場設置前	作業場	6方向各1点	全工区共通	処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通	処理作業後	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通																
測定時期	測定場所 (各処理工区毎)	測定点数	備 考																																		
処理作業前	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通																																		
足場設置前	作業場	6方向各1点	全工区共通																																		
処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通																																		
処理作業後	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通																																		
	アスベスト含有外壁仕上げ材の除去に先立つ試験的一部除去作業の方法 (本工事では内部吹付け材のみ)																																				
	(1) 試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は0.500mm程度とする。 (2) 試験的除去は剝離剤併用手工具ケレン工法にて実施。																																				
	アスベスト含有外壁仕上げ材除去作業の方法 ○部分除去 (既存塗膜の脆弱部) ・全面除去 (軒裏のみ)																																				
	アスベスト含有外壁仕上げ材部分除去作業 (1) 部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。 (2) 建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。 なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。 (外壁：集塵機付きデイスカグ-工法同等 軒裏：剝離剤併用手工具ケレン工法同等とすること) (3) 除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。 (4) アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任) 石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習終了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。 (5) 廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任) (6) アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。 (7) 関係官公署に届出を行う。 (大気汚染防止法—松戸市環境保全課 労働安全衛生法—柏労働基準監督署) (8) 本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。																																				

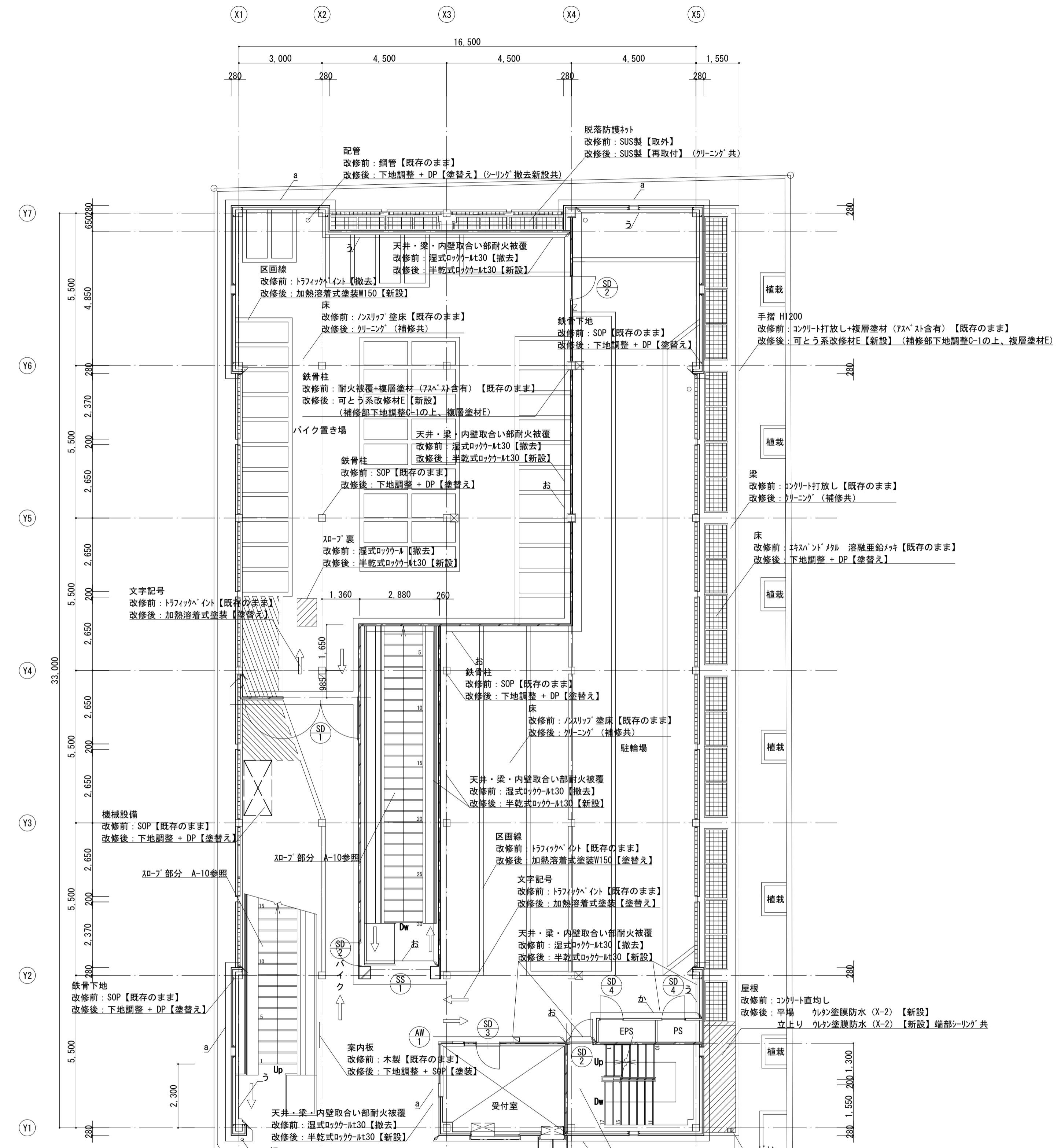
⑤ アスベスト含有外壁
仕上げ材の除去

章	項目	特記事項																	
6 外 断 熱 改 修 工 事	6 外断熱改修工事	[9.3.2]																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>断熱材の種類</th> <th>材料名</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ピーズ法ポリスチレンフォーム</td> <td>・押出法ポリスチレンフォーム</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム</td> <td>・フェノールフォーム</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ロックウール</td> <td>・グラスウール</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	断熱材の種類	材料名	厚さ (mm)	・ピーズ法ポリスチレンフォーム	・押出法ポリスチレンフォーム		・硬質ウレタンフォーム	・フェノールフォーム		・ロックウール	・グラスウール						
	断熱材の種類	材料名	厚さ (mm)																
	・ピーズ法ポリスチレンフォーム	・押出法ポリスチレンフォーム																	
	・硬質ウレタンフォーム	・フェノールフォーム																	
	・ロックウール	・グラスウール																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>外装材の種類</th> <th>防火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	外装材の種類	防火性能															
	外装材の種類	防火性能																	
		既存外壁仕上材の撤去 ・有り ・無し 下地面の清掃及び下地調整 ※断熱材製造所の指定する仕様																	
	通気層 ・有り (mm) ・なし [9.3.4] 試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。 特記無き事項は、製造所の仕様による。																		
7 ガラス改修工事	[9.4.2]																		
	複層ガラスの厚さ 建具表による 断熱性・日射遮蔽性による区分 ※U3-1 ・U3-2																		
8 屋上緑化改修工事	[9.6.2]																		
	特記事項は図示																		
9 透水性アスファルト 舗装改修工事	[9.7.3][表9.7.3]																		
	路盤材料 [9.7.3] ※再生クラッシャーラン (RC-40) ・クラッシャーラン (C-40) 又はクラッシャーランスラグ (CS-40) 透水性の高いものを使用する。																		
	遮断層及び凍上抑制層の材料 [9.7.3] ・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 厚さは図示 ・凍上抑制層 ※再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン 切込み砂利 ・砂 厚さは図示																		
	盛土に用いる材料 [9.7.3][表9.7.1] ・A種 ※B種 ・C種 ・D種																		
	路床安定処理 [9.7.3][表9.7.2] ※添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰 () ・消石灰 () 添加量 kg/m ³ (目標CBR ※5以上) 路床土の支持力比試験 ※行う (※乱した土 ・乱さない土) 路床締固めの試験 ※行う																		
	アスファルト混合物 [9.7.6][表9.7.5] 車道部 ※改良アスファルト I 型 歩道部 ※ストレートアスファルト																		
	透水性舗装 [9.7.9] アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う																		
9 そ の 他	1 舗装工事	歩行者用通路コンクリート版の厚さ ※70mm (22.5.2)(表22.5.1) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">部 位</th> <th rowspan="2">設計基準強度 (N/mm²)</th> <th rowspan="2">所定のスランブ (cm)</th> <th colspan="2">粗骨材の最大寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <th>砂利の場合25又は40</th> <th>碎石の場合20又は25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車路及び駐車場</td> <td>24</td> <td>8</td> <td>砂利の場合25又は40</td> <td>碎石の場合20又は25</td> </tr> <tr> <td>歩行者用通路</td> <td>18</td> <td>8</td> <td>砂利の場合25</td> <td>碎石の場合20</td> </tr> </tbody> </table>	部 位	設計基準強度 (N/mm ²)	所定のスランブ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)		砂利の場合25又は40	碎石の場合20又は25	車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40	碎石の場合20又は25	歩行者用通路	18	8	砂利の場合25	碎石の場合20
部 位	設計基準強度 (N/mm ²)	所定のスランブ (cm)				粗骨材の最大寸法 (mm)													
			砂利の場合25又は40	碎石の場合20又は25															
車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40	碎石の場合20又は25															
歩行者用通路	18	8	砂利の場合25	碎石の場合20															
	砂利敷き (22.9.2)(表22.9.1) 種別 ・A種 ・B種																		
	2 植栽工事 (22.3.2) <table border="1"> <thead> <tr> <th>樹 種</th> <th>寸 法</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	樹 種	寸 法	数 量	備 考														
樹 種	寸 法	数 量	備 考																
	3 外構工事 ・メッシュフェンス 朝日スチール工業㈱ 朝日UN21A 同等品とする。 ・目隠しフェンス 朝日スチール工業㈱ 目かくしフェンスXⅡ型 XAブラインド 同等品とする。																		
	4 下足入れ ・コクヨ㈱ SX-64FIN 同等品とする。																		
	⑤ 快道トイレの試行 ○現場に以下の (1) ~ (11) の仕様を満たす快道トイレを設置することを原則とする。 (12) ~ (17) については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。 (1) 洋式便器 (2) 水洗及び簡易水洗機能 (し尿処理装置付き含む) (3) 臭い逆流防止機能 (4) 容易に開かない施錠機能 (5) 照明設備 (6) 衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等 (耐荷重を5kg 以上とする) (7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示 (8) 入口の目隠しの設置 (男女別トイレ間も含め入口が直接見ええないような配置等) (9) サニタリーボックス (女性用トイレに必ず設置) (10) 鏡と手洗器 (11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品 (12) 室内寸法900×900mm 以上 (面積ではない) (13) 縦音装置 (機能を含む) (14) 着替え台 (15) 臭気対策機能の多重化 (16) 室内温度の調整が可能な設備 (17) 小物置き場 (トイレトペーパー予備置き場等)																		
	○快道トイレに要する費用 快道トイレに要する費用については、当初は計上していない。 受注者は、上記1の内容を満たす快道トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。 (1) ~ (11) の費用については、10,000円/基・月 (従来品) を除いた額を差し引いた後、51,000円/基・月を上限に設計変更の対象とする。 なお、設計変更数量の上限は、1基までとする。 また、運搬・設置費は共通仮設費 (率) に含むものとし、1基より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、別途計上は行わない。																		
	○その他 快道トイレの手配が困難の場合は、監督職員と協議の上、対象外とする。																		

章	項目	特記事項								
	工事名	北松戸駅西口自転車駐車場改修工事								
	図面名	特記仕様書 (3)								
	作成年月日	令和5年5月 日 変更年月日								
	縮尺	no scale 図面番号 A-04								
	設計	 松戸市 街づくり部 建築保全課								
	事業者名	 松戸市								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>照査</th> <th>設計</th> <th>製図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>花川</td> <td>上坂 上坂</td> </tr> </tbody> </table>		照査	設計	製図			花川	上坂 上坂
	照査	設計	製図							
		花川	上坂 上坂							



地下1階平面図 S=1:100



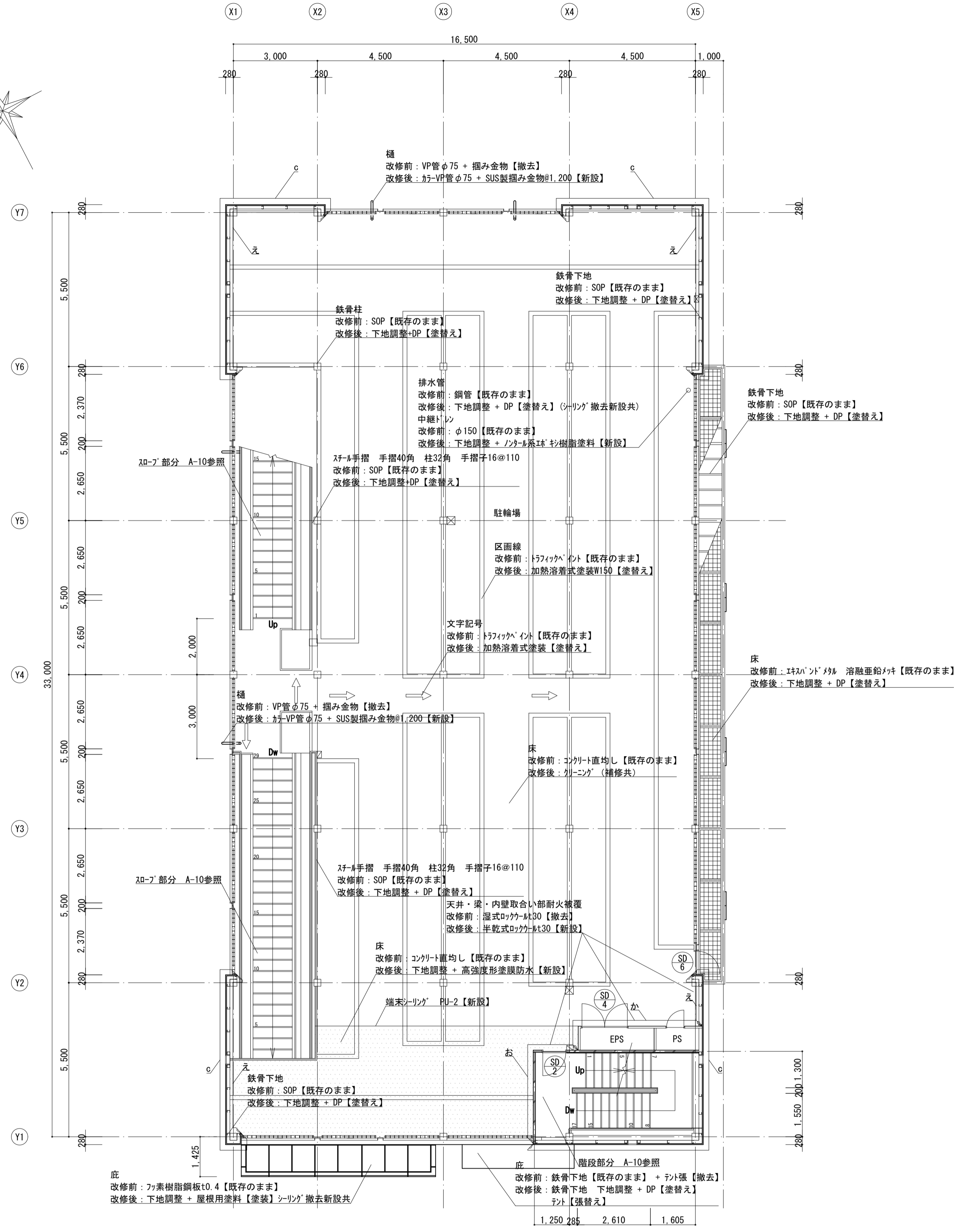
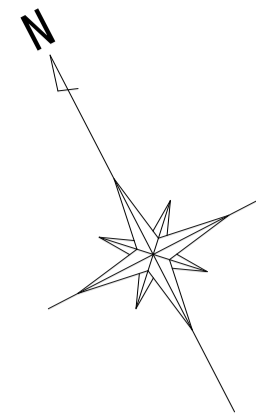
配置図兼1階平面図 S=1:100

<凡例>

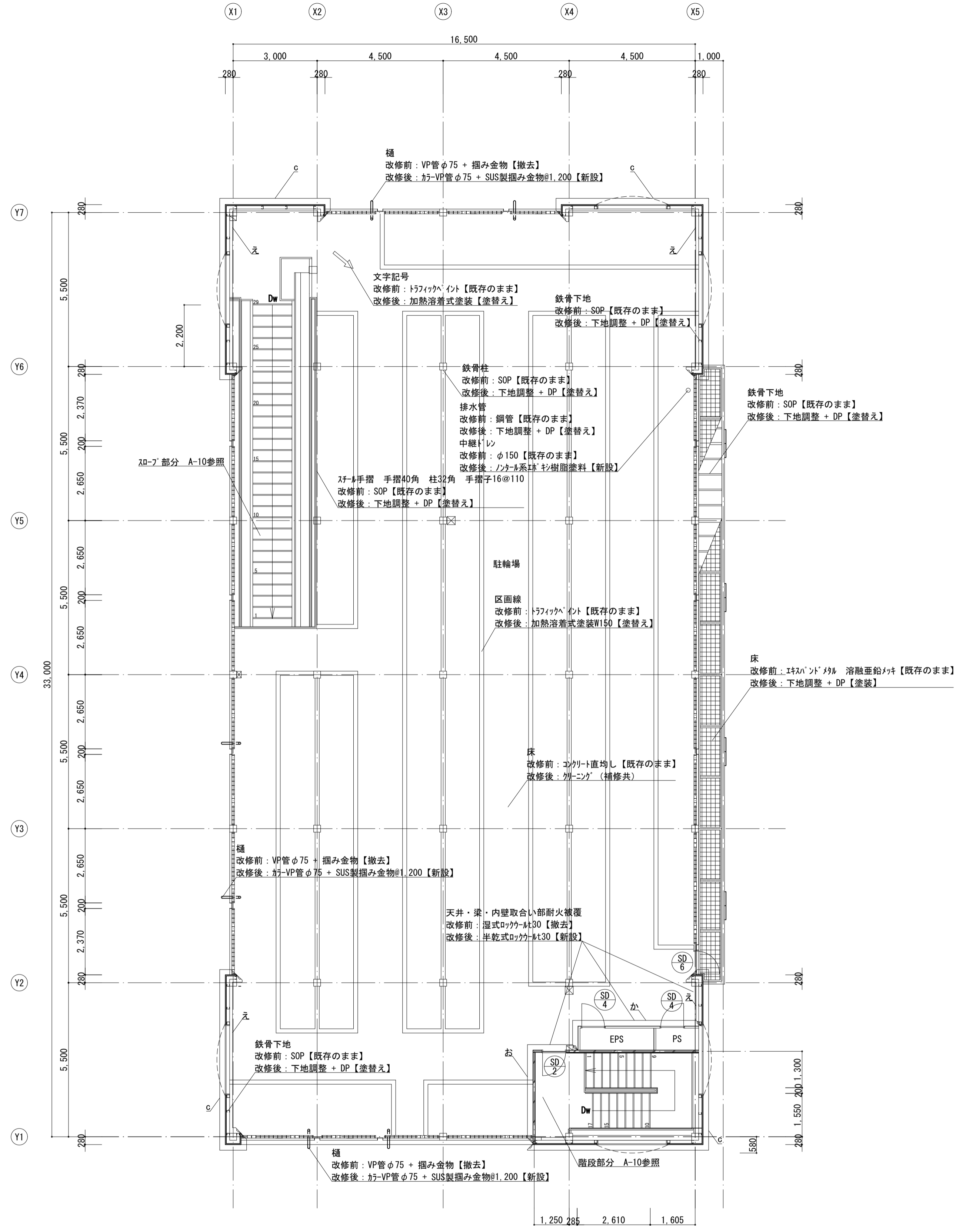
あ	内壁1	改修前	コンクリート打放し【既存のまま】	改修後	カーニング【補修共】
い	内壁2	改修前	コンクリート打放し + 複層塗材 (7A ⁺ 系含有)【既存のまま】	改修後	可とう系改修材E【塗替え】(補修部下地調整C-1の上、複層塗材E)
う	内壁3	改修前	押出中空成形ワンドt60 + EP【既存のまま】	改修後	下地調整 + EP-G【塗替え】
え	内壁4	改修前	押出中空成形ワンドt35 + EP【既存のまま】	改修後	下地調整 + EP-G【塗替え】
お	内壁5	改修前	ALOK [®] t75 + 複層塗材 (7A ⁺ 系含有)【既存のまま】	改修後	可とう系改修材E【塗替え】(補修部下地調整C-1の上、複層塗材E)
か	内壁6	改修前	軽鉄下地 + けい酸カルキ【既存のまま】	改修後	下地調整 + 複層塗材E【新設】(t=木100新設共)
a	外壁1	改修前	押出中空成形ワンドt60 + EP【既存のまま】	改修後	下地調整 + 複層塗材E【新設】
c	外壁3	改修前	押出中空成形ワンドt35 + EP【既存のまま】	改修後	下地調整 + 複層塗材E【新設】

※鉄骨部で損傷の著しい部分は、補修を行うこと。
 ※鉄骨柱・梁(見えがかり部)、鉄骨下地、天井・階段、ろ-フ、手摺、配管、換気ダクト等の鉄骨は全て下地調整+DP【塗替え】とする。
 ※化粧目地、打雑目地、壁に取り付けられている鋼製付属物、換気扇、配管廻り等のシーリングは【撤去・新設】とする。
 ※シーリングは仕上りありPU-2、仕上りなしMS-2とする。
 ※サッシが「ス・ボリ・水切・換気フード・ベントトップ」は全て『カーニング』とする。
 ※内幅木は、それぞれ地下1階は「7A⁺系含有」【既存のまま】 + 下地調整 + *リ-セ-ト系基礎用木用塗材【新設】とする。
 ※その他はコンクリート打放し【既存のまま】 + 下地調整 + *リ-セ-ト系基礎用木用塗材【新設】とする。
 ※建物前面の透水性ワックス補修は、部分補修を行う。
 ※1~3階駐輪場の区画線は、幅150にて塗替えとする。
 ※天井・梁・内壁取合い部耐火被覆は、既存湿式ロウカ-kt30【撤去】、半乾式ロウカ-kt30【新設】とする。
 ※☐は消火器が示す。消火器が示すは全て【撤去・新設】とする。
 ※☒は移動式粉末消火設備を示す。

工事名	北松戸駅西口自転車駐車場改修工事		
図面名	地下1階、配置図兼1階平面図		
作成年月日	令和5年5月 日	変更年月日	
縮尺	1 : 100	図面番号	A-05
設計	松戸市街づくり部建築保全課		
事業者名	松戸市		
	調査	設計	製図
	花川	上坂	上坂



2階平面図 S=1:100



3階平面図 S=1:100

<凡例>

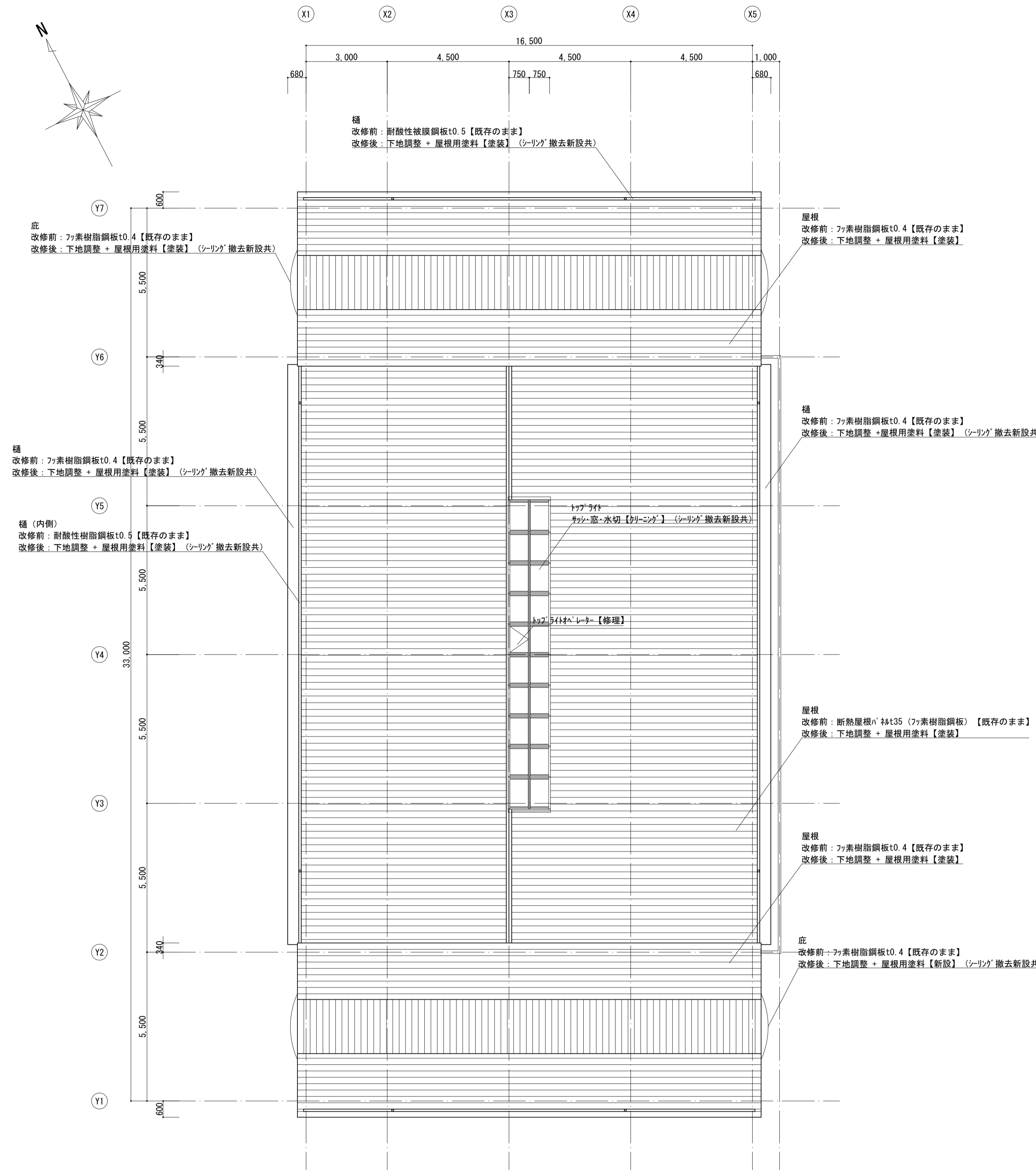
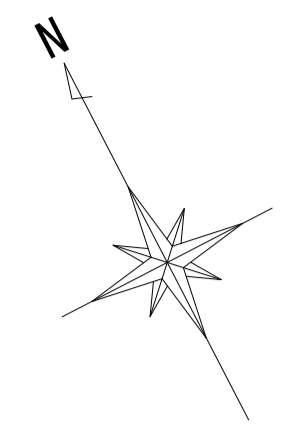
あ	内壁1	改修前	コンクリート打放し【既存のまま】	え	内壁4	改修前	押出中空成形セメント板t35 + EP【既存のまま】
		改修後	クリーニング【補修共】			改修後	下地調整 + EP-G【塗替え】
い	内壁2	改修前	コンクリート打放し + 複層塗材 (7A ^ハ ト含有)【既存のまま】	お	内壁5	改修前	ALC ^ハ 板t75 + 複層塗材 (7A ^ハ ト含有)【既存のまま】
		改修後	可とう系改修材E【塗替え】 (補修部下地調整C-1の上、複層塗材E)			改修後	可とう系改修材E【塗替え】 (補修部下地調整C-1の上、複層塗材E)
う	内壁3	改修前	押出中空成形セメント板t60 + EP【既存のまま】	か	内壁6	改修前	軽鉄下地 + けい酸系珪酸系【既存のまま】
		改修後	下地調整 + EP-G【塗替え】			改修後	下地調整 + 複層塗材E【新設】 (ヒール巾木H100新設共)

※鉄部で損傷の著しい部分は、補修を行うこと。
 ※鉄骨柱・梁(見えがかり部)、鉄骨下地、天井、階段、スロープ、手摺、配管、換気ダクト等の鉄部は全て下地調整+DP【塗替え】とする。
 ※化粧目地、打継目地、壁に取り付けられている鋼製付属物、換気扇、配管廻り等のシーリングは【撤去・新設】とする。
 ※シーリングは仕上げありPU-2、仕上げなしMS-2とする。
 ※タックガラス・タリ・水切・換気フード・ベントキャップは全て『クリーニング』とする。

※内幅木は、それぞれ地下1階はスチック(7A^ハト含有)【既存のまま】 + 下地調整 + 5リマセト系基礎巾木用塗材【新設】
 その他はコンクリート打放し【既存のまま】 + 下地調整 + 5リマセト系基礎巾木用塗材【新設】とする。
 ※1~3階駐輪場の区画線は、幅150にて塗替えとする。
 ※天井・梁・内壁取合い部耐火被覆は、既存湿式ロックt30【撤去】、半乾式ロックt30【新設】とする。

※☑は消火器の付くを示す。消火器の付くは全て撤去新設とする。
 ※☒は移動式粉末消火設備を示す。
 ※☐は高強度形塗膜防水【新設】範囲を示す。

工事名	北松戸駅西口自転車駐車場改修工事		
図面名	2階、3階平面図		
作成年月日	令和5年5月 日	変更年月日	
縮尺	1 : 100	図面番号	A-06
設計	松戸市街づくり部建築保全課		
事業者名	松戸市		
	照査	設計	製図
	花川	上坂	上坂



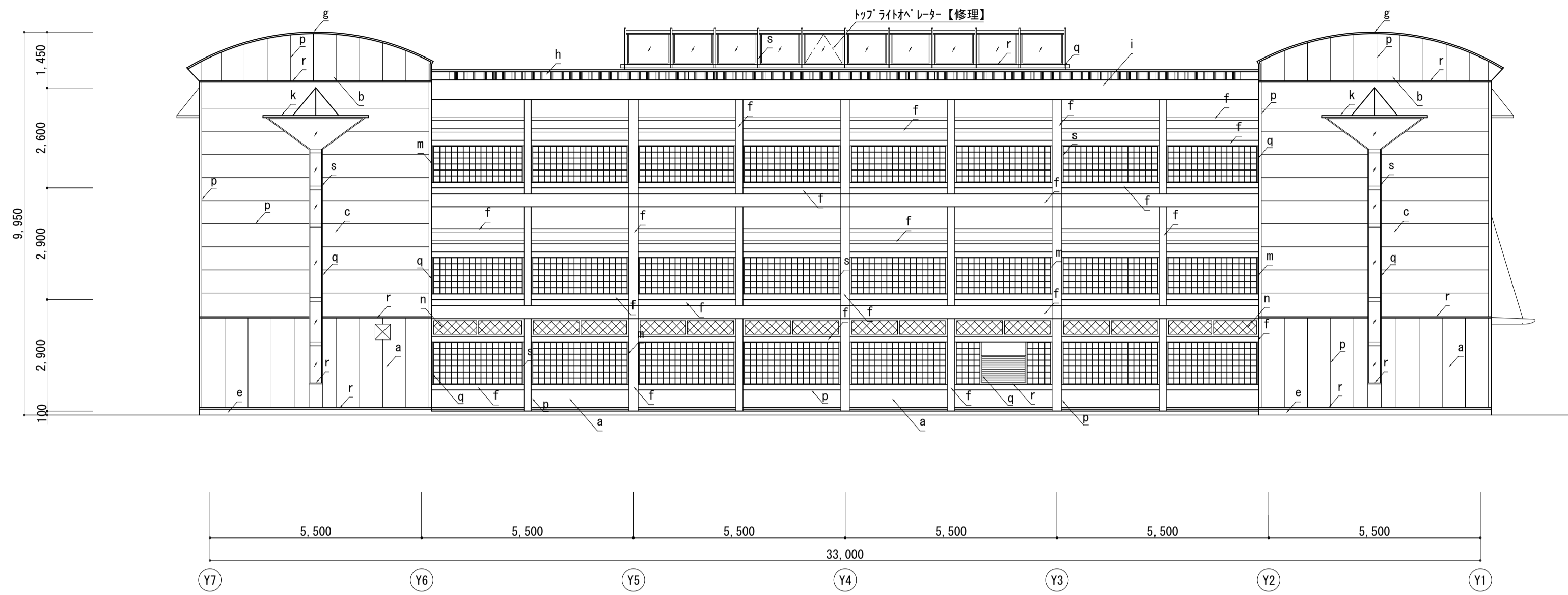
屋根伏図 S=1:100

※鉄部で損傷の著しい部分は、補修を行うこと。
 ※鉄骨柱・梁(見えがかり部)、鉄骨下地、天井、階段、スロ-フ、手摺、配管、換気等々の鉄部は全て下地調整+DP【塗替え】とする。
 ※化粧目地、打継目地、壁に取り付けられている鋼製付属物、換気扇、配管廻り等のシリングは【撤去・新設】とする。
 ※シリングは仕上げありPU-2、仕上げなしMS-2とする。
 ※ガラス・ス・ガラス・水切・換気フード・ベントキャップ(一部撤去新設)は全て『クリンク』とする。

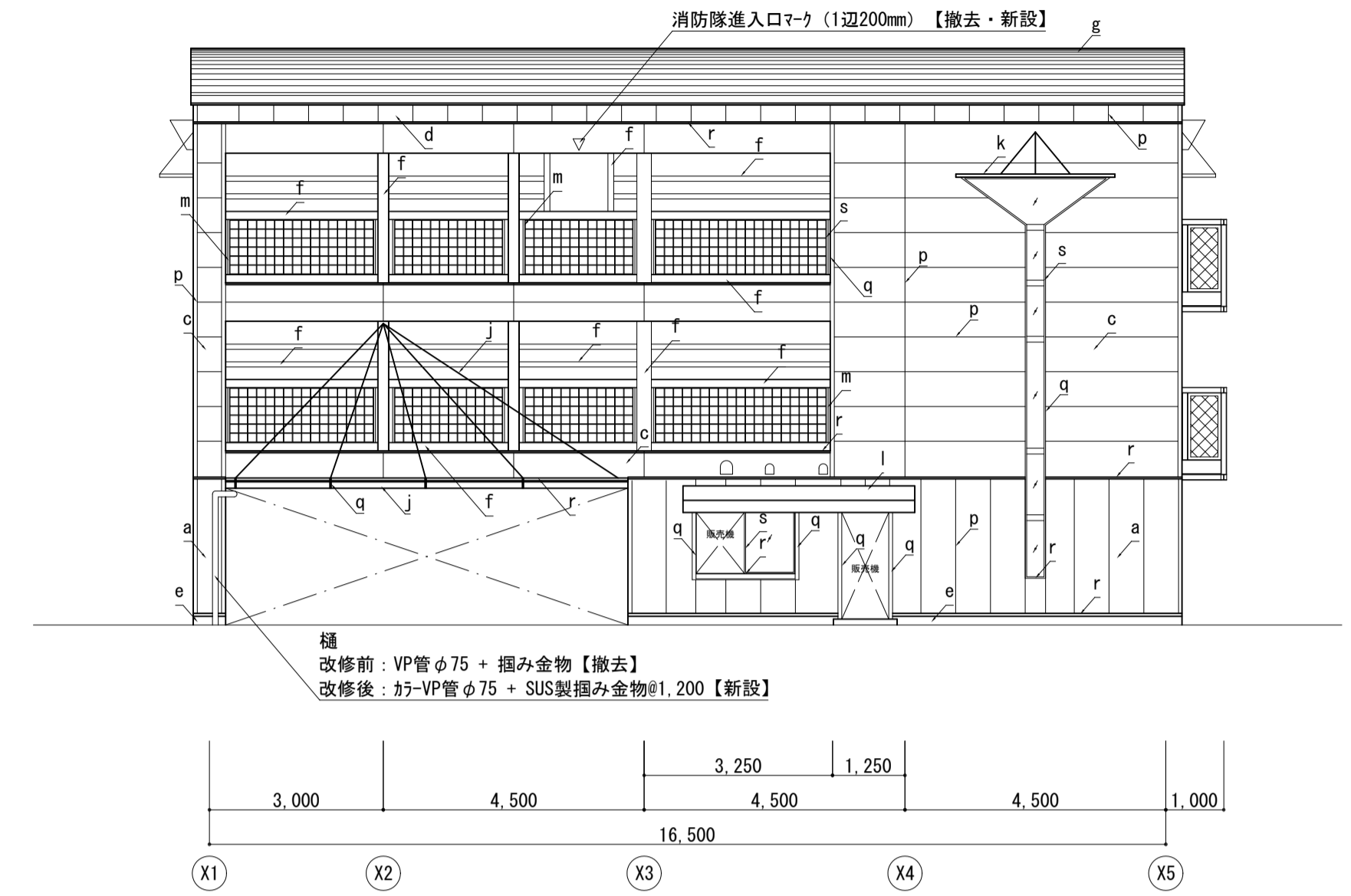
記号・数量	SD 1	1階H' 巾置き場	1	SD 2	1階スロ-フ・H' 巾置き場・階段	6	SD 3	受付室	1
名称	両開き両面ガラス戸			片開き両面ガラス戸			片開き両面ガラス戸		
姿図									
仕上	スチ-ル+SOP			スチ-ル+SOP			スチ-ル+SOP		
改修内容	・下地調整 + DP【塗替え】両面枠共 ・建具廻りシリング (仕上げありPU-2、仕上げなしMS-2)【撤去・新設】			・下地調整 + DP【塗替え】両面枠共 ・建具廻りシリング (仕上げありPU-2、仕上げなしMS-2)【撤去・新設】			・下地調整 + DP【塗替え】両面枠共、ガラスクリンク ・建具廻りシリング (仕上げありPU-2、仕上げなしMS-2)【撤去・新設】 ・ガラス廻りシリングSR-1【撤去・新設】		
記号・数量	SD 4	PS・EPS	8	SD 5	地下1階駐車場・倉庫	2	SD 6	2・3階駐輪場	2
名称	片開き片面アングル戸			片開き片面アングル戸			片開き両面ガラス戸		
姿図									
仕上	スチ-ル+SOP			スチ-ル+SOP			スチ-ル+SOP		
改修内容	・下地調整 + DP【塗替え】両面枠共 ・建具廻りシリング (仕上げありPU-2、仕上げなしMS-2)【撤去・新設】 ・文字ステッカー【撤去・新設】			・下地調整 + DP【塗替え】両面枠共 ・建具廻りシリング (仕上げありPU-2、仕上げなしMS-2)【撤去・新設】 ・文字ステッカー【撤去・新設】			・下地調整 + DP【塗替え】両面枠共 ・建具廻りシリング (仕上げありPU-2、仕上げなしMS-2)【撤去・新設】		
記号・数量	AW 1	受付室	1	SS 1	1階スロ-フ	1			
名称	引違い7&ミツサツ			煙感連動シャッター					
姿図									
仕上	7&ミ			スチ-ル+SOP					
改修内容	・ガラス、サツ【クリンク】 ・サツ廻りシリング (仕上げありPU-2、仕上げなしMS-2)【撤去・新設】 ・ガラス廻りシリングSR-1【撤去新設】			・下地調整 + DP【塗替え】 ・建具廻り (仕上げありPU-2、仕上げなしMS-2)【撤去・新設】					

建具表 S=1:50

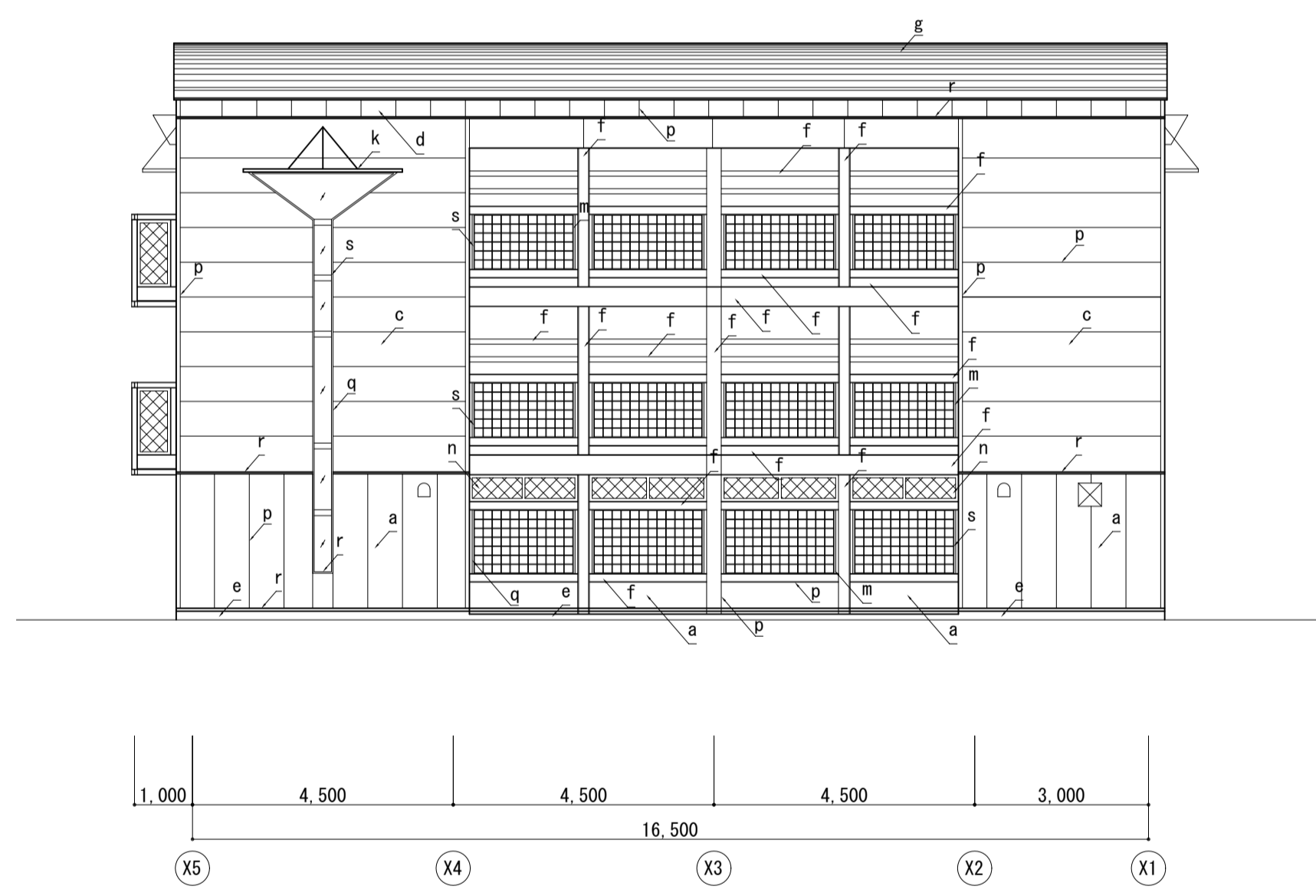
工事名	北松戸駅西口自転車駐車場改修工事		
図面名	屋根伏図・建具表		
作成年月日	令和5年5月 日	変更年月日	
縮尺	1:50 1:100	図面番号	A-07
設計	松戸市街づくり部建築保全課		
事業者名	松戸市		
	照査	設計	製図
	花川	上坂	上坂



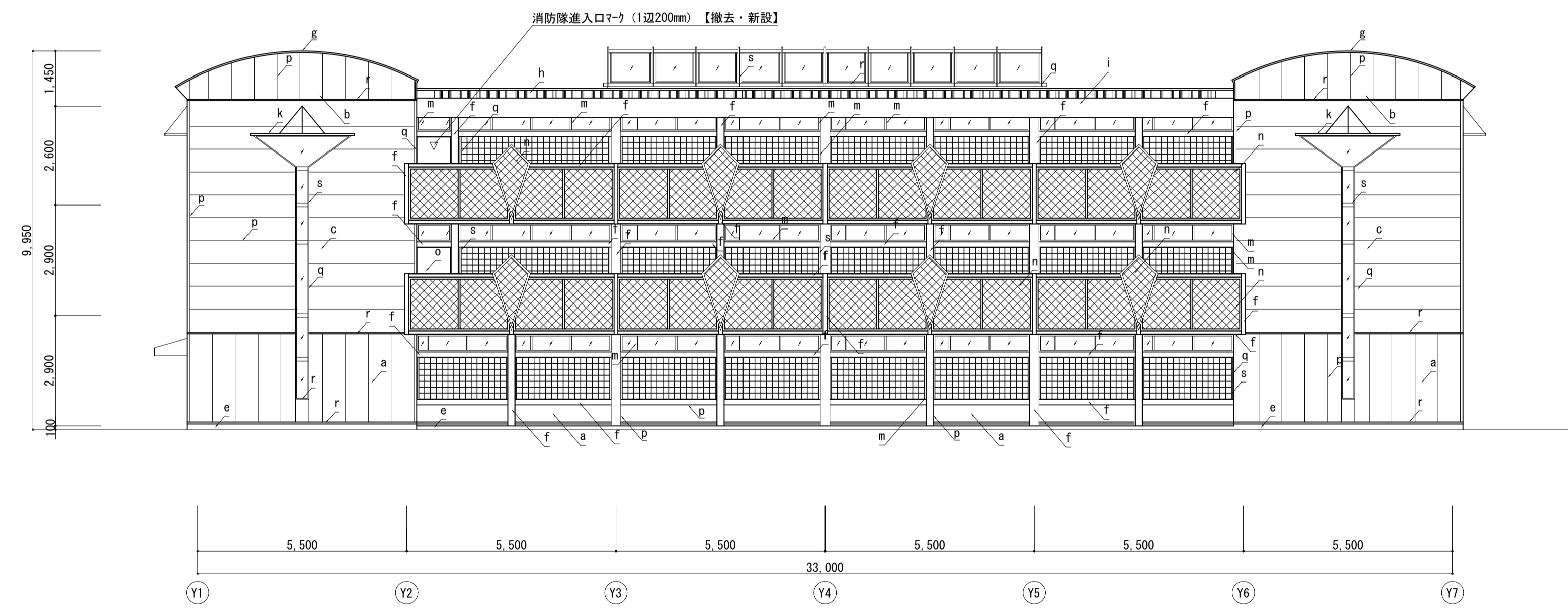
西側立面図 S=1:100



南側立面図 S=1:100



北側立面図 S=1:100



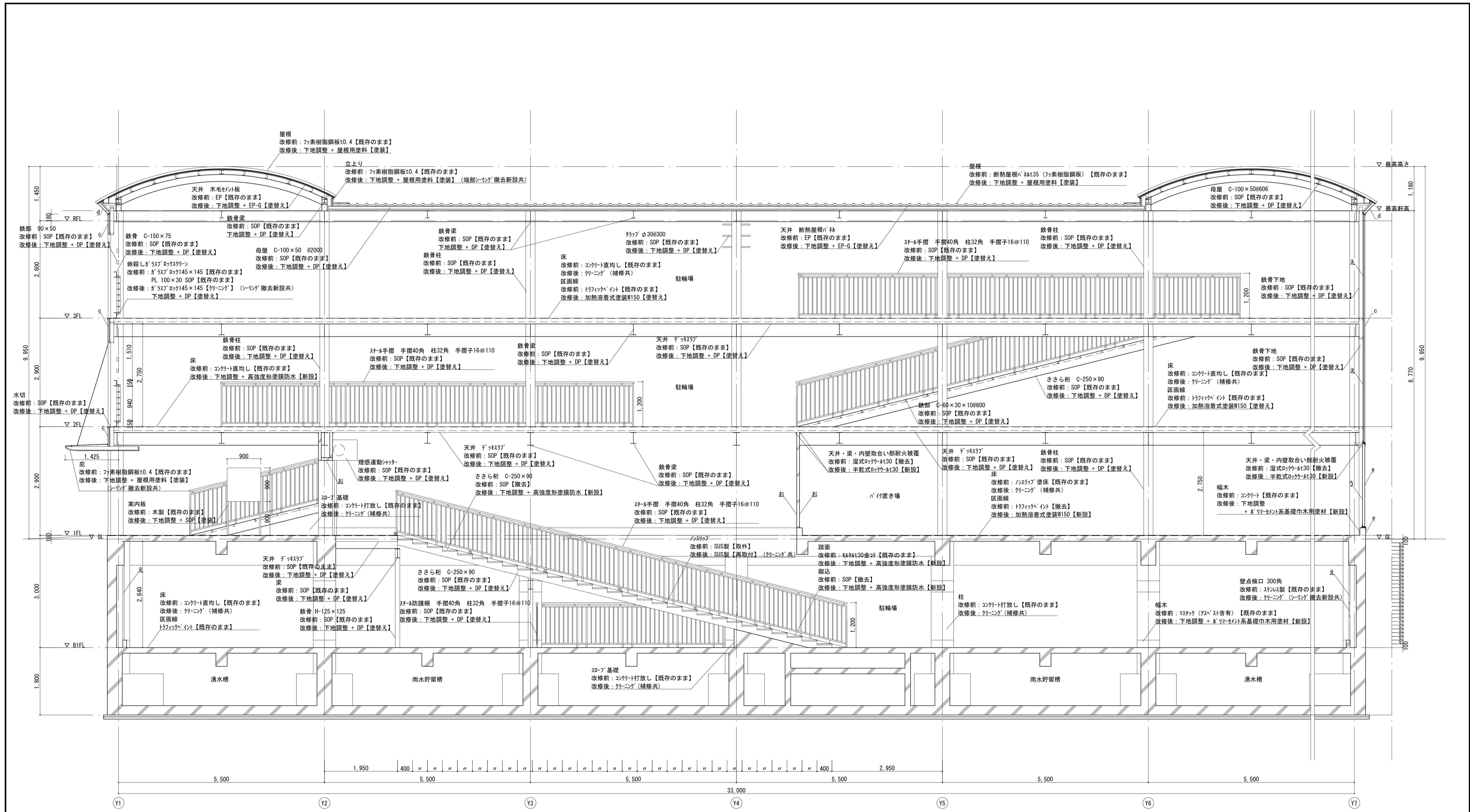
東側立面図 S=1:100

<凡例>

a	外壁1	改修前	押出中空成形セメント板t60 + EP【既存のまま】	i	種	改修前	珩素樹脂鋼板t0.4【既存のまま】	q	建具・金物・水切廻り	改修前	シーリング 15x10
		改修後	下地調整 + 複層塗材E【新設】			改修後	下地調整 + 屋根用塗料【塗装】(シーリング 撤去新設共)			改修後	シーリング 15x10 仕上げあり: PU-2 仕上げなし: MS-2【新設】
b	外壁2	改修前	押出中空成形セメント板t60 (好型リブ) + EP【既存のまま】	j	庇1	改修前	珩素樹脂鋼板t0.4【既存のまま】	r	水切廻り	改修前	シーリング 15x10【撤去】
		改修後	下地調整 + 複層塗材E【新設】			改修後	下地調整 + 屋根用塗料【塗装】(シーリング 撤去新設共)			改修後	シーリング 15x10 仕上げあり: PU-2 仕上げなし: MS-2【新設】
c	外壁3	改修前	押出中空成形セメント板t35 + EP【既存のまま】	k	庇2	改修前	珩素樹脂鋼板t0.4+SOP【既存のまま】	s	がし廻り	改修前	シーリング【撤去】
		改修後	下地調整 + 複層塗材E【新設】			改修後	下地調整 + 屋根用塗料【塗装】(シーリング 撤去新設共)			改修後	シーリング SR-1【新設】
d	軒表	改修前	押出中空成形セメント板t60 (好型リブ) + EP【既存のまま】	l	庇3	改修前	鉄骨下地:【既存のまま】 テント:【撤去】				
		改修後	下地調整 + 複層塗材E【新設】			改修後	鉄骨下地: 下地調整 + DP【塗替え】 テント:【張替え】				
e	外巾木	改修前	コンクリート打直し【既存のまま】	m	鋼製窓枠	改修前	SOP【既存のまま】				
		改修後	下地調整 + 珩素樹脂系基礎巾木用塗材【新設】			改修後	下地調整 + DP【塗替え】				
f	鉄骨	改修前	SOP【既存のまま】	n	珩素樹脂鋼板	改修前	溶融亜鉛メッキ【既存のまま】				
		改修後	下地調整 + DP【塗替え】			改修後	下地調整 + DP【塗装】				
g	屋根1	改修前	珩素樹脂鋼板t0.4【既存のまま】	o	鋼製扉	改修前	SOP【既存のまま】				
		改修後	下地調整 + 屋根用塗料【塗装】			改修後	下地調整 + DP【塗替え】				
h	屋根2	改修前	断熱屋根ハット35 (珩素樹脂鋼板)【既存のまま】	p	化粧目地・打継目地	改修前	シーリング 15x10【撤去】				
		改修後	下地調整 + 屋根用塗料【塗装】			改修後	シーリング 15x10 仕上げありPU-2 仕上げなしMS-2【新設】				

※鉄骨で損傷の著しい部分は、補修を行うこと。
 ※鉄骨柱・梁(見えがかり部)、鉄骨下地、天井、階段、20-ブ、手摺、配管、換気ダクト等の鉄骨は全て下地調整 + DP【塗替え】とする。
 ※化粧目地、打継目地、壁に取り付けられている鋼製付属物、換気扇、配管廻り等のシーリングは【撤去・新設】とする。
 ※シーリングは仕上げありPU-2、仕上げなしMS-2とする。
 ※珩素樹脂鋼板は全て『珩素樹脂鋼板』とする。

工事名	北松戸駅西口自転車駐車場改修工事		
図面名	立面図		
作成年月日	令和5年5月 日	変更年月日	
縮尺	1 : 100	図面番号	A-08
設計	松戸市街づくり部建築保全課		
事業者名	松戸市		
	照査	設計	製図
	花川	上坂	上坂



矩計図 S=1:50

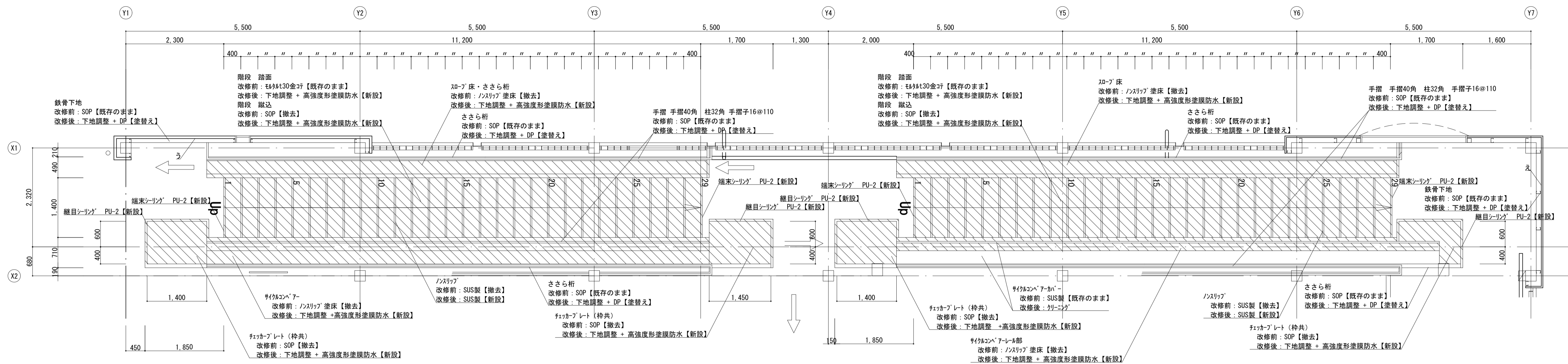
<凡例>

あ	内壁1	改修前	コンクリート打放し【既存のまま】	え	内壁4	改修前	押出中空成形シート板t35 + EP【既存のまま】	a	外壁1	改修前	押出中空成形シート板t60 + EP【既存のまま】
		改修後	クリンク【補修共】			改修後	下地調整 + EP-G【塗替え】			改修後	下地調整 + 複層塗材E【新設】
い	内壁2	改修前	コンクリート打放し + 複層塗材 (7A ⁺ ス含有)【既存のまま】	お	内壁5	改修前	ALON ⁺ t475 + 複層塗材 (7A ⁺ ス含有【既存のまま】)	b	外壁2	改修前	押出中空成形シート板t60 (好型リア) + EP【既存のまま】
		改修後	可とう系改修材E【塗替え】 (補修部下地調整C-1の上、複層塗材E)			改修後	可とう系改修材E【塗替え】 (補修部下地調整C-1の上、複層塗材E)			改修後	下地調整 + 複層塗材E【新設】
う	内壁3	改修前	押出中空成形シート板t60 + EP【既存のまま】	か	内壁6	改修前	経鉄下地 + けい酸樹脂系【既存のまま】	c	外壁3	改修前	押出中空成形シート板t35 + EP【既存のまま】
		改修後	下地調整 + EP-G【塗替え】			改修後	下地調整 + 複層塗材E【新設】 (セメント系基礎中木用塗材【新設】)			改修後	下地調整 + 複層塗材E【新設】

※鉄骨・梁(見えがかり部)、鉄骨下地、天井、階段、スロー、手摺、配管、換気等の鉄部は全て下地調整 + DP【塗替え】とする。
 ※化粧目地、打継目地、壁に取り付けられている鋼製付属物、換気扇、配管廻り等のシーリングは【撤去・新設】とする。
 ※シーリングは仕上げありPU-2、仕上げなしMS-2とする。
 ※ツチノガサ・ガサ・水切・換気フード・ベントキヤップは全て【クリンク】とする。

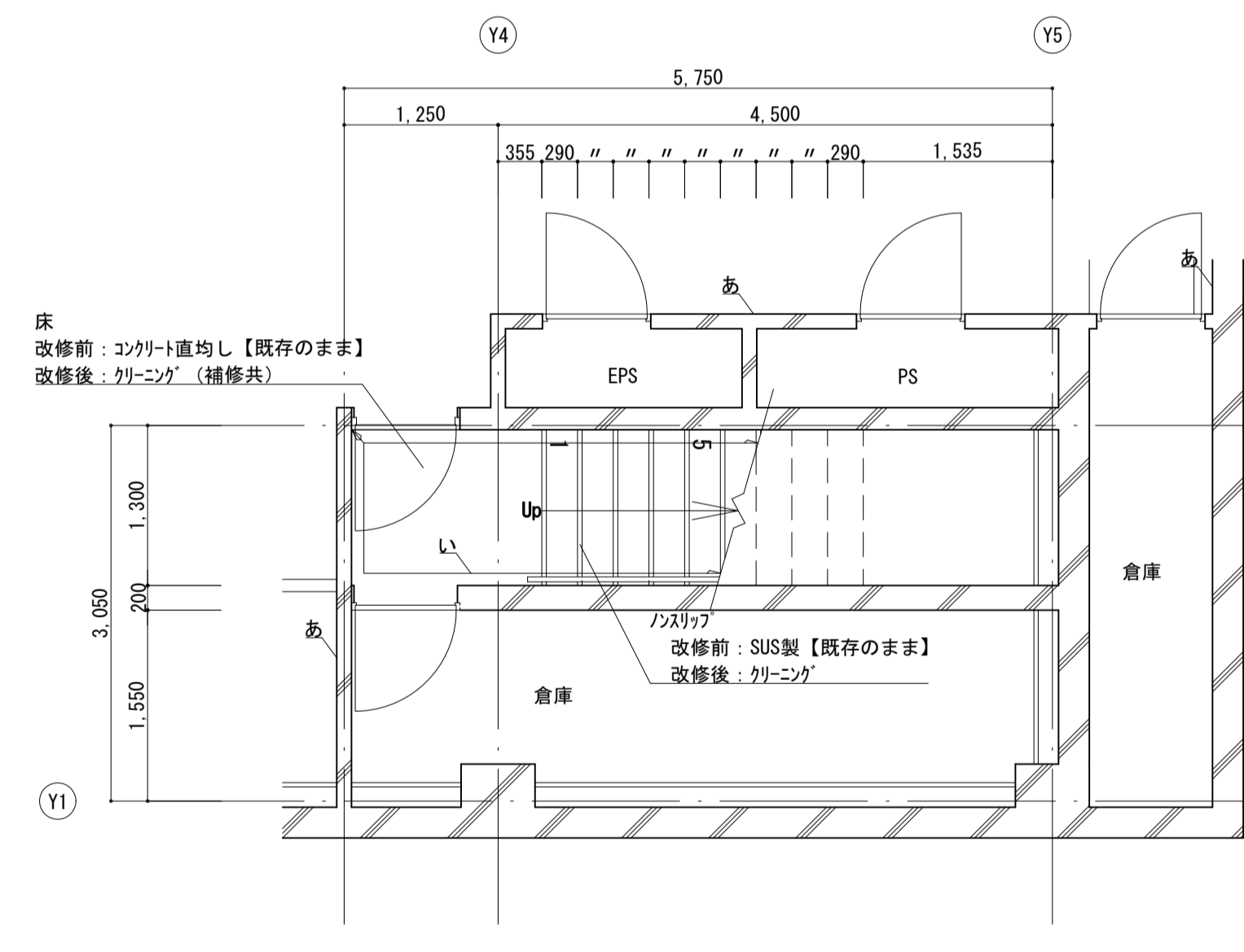
※内幅木は、それぞれ地下1階はマツカ(7A⁺ス含有)【既存のまま】 + 下地調整 + マリマート系基礎中木用塗材【新設】
 その他はコンクリート打放し【既存のまま】 + 下地調整 + マリマート系基礎中木用塗材【新設】とする。
 ※1~3階駐輪場の区画線は、幅150にて塗替えとする。
 ※天井・梁・内壁取合い部耐火被覆は、既存湿式ロック-4130【撤去】、半乾式ロック-4130【新設】とする。

工事名	北松戸駅西口自転車駐車場改修工事		
図面名	矩計図		
作成年月日	令和5年5月 日	変更年月日	
縮尺	1 : 50	図面番号	A-09
設計	松戸市街づくり部建築保全課		
事業者名	松戸市		
	照査	設計	製図
	花川	上坂	上坂

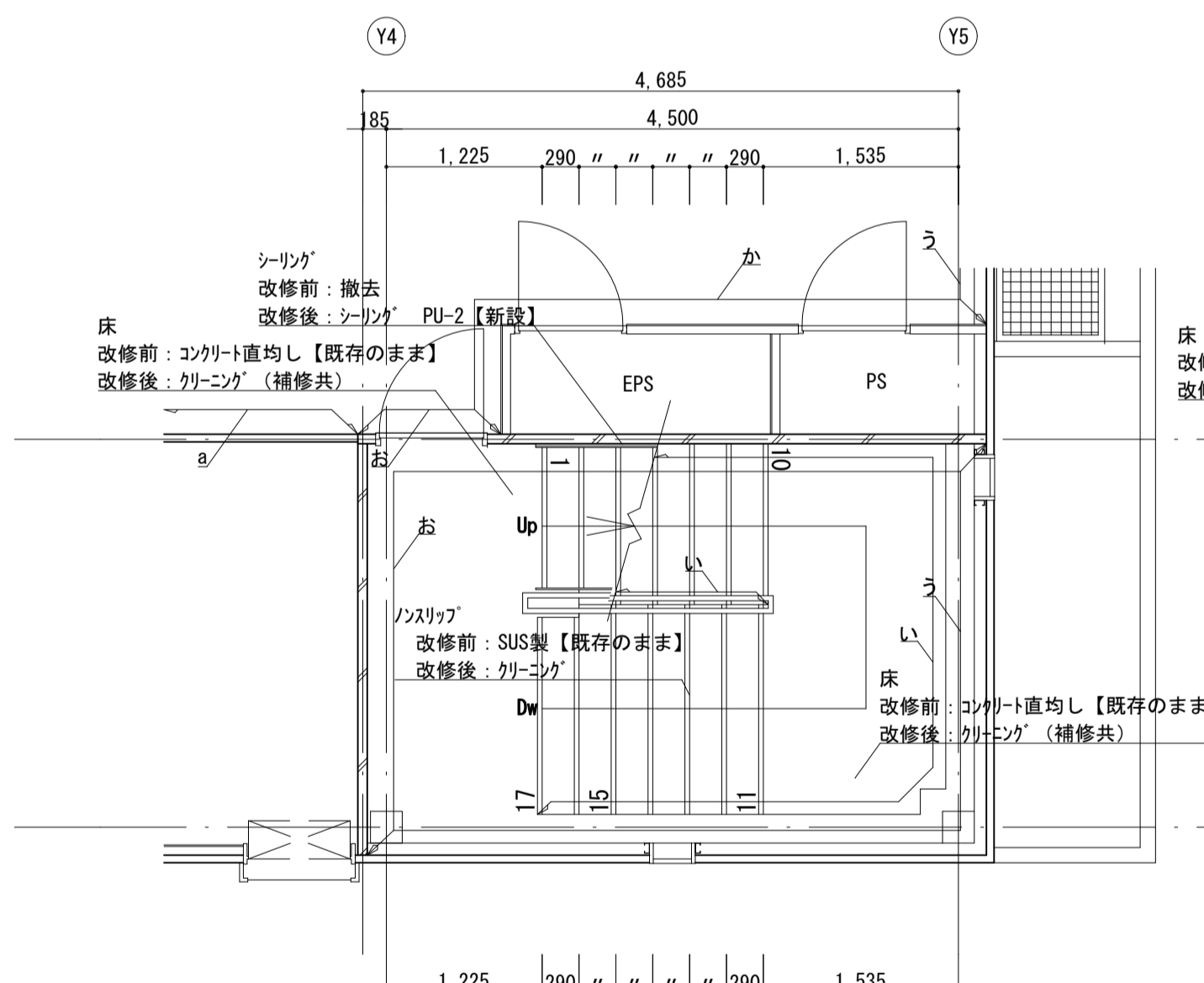


スロープ平面図 S=1:50

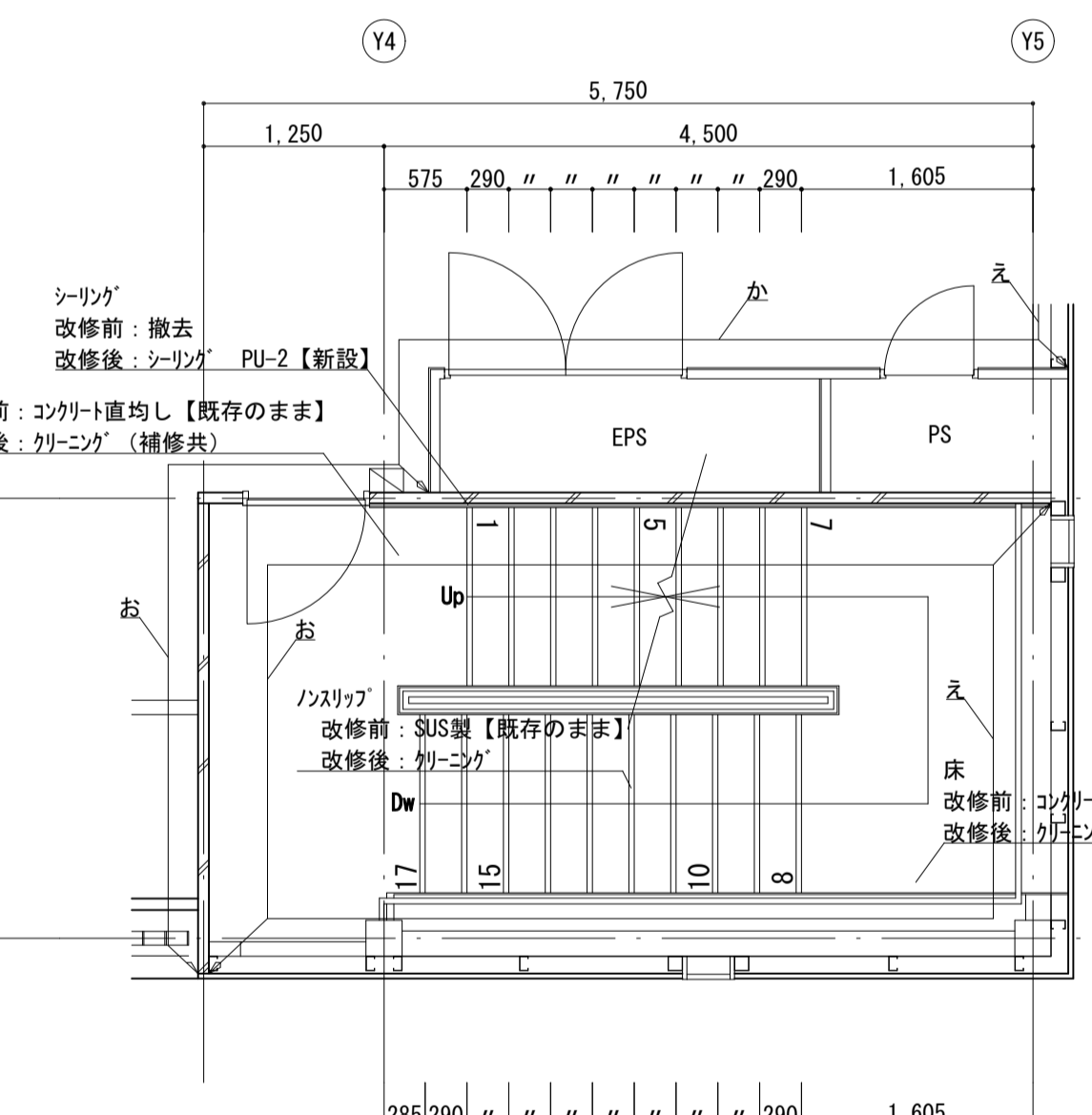
凡例
 高強度形塗膜防水【新設】
 ※地下1階から1階へのスロープのノスリッパは取外・再取付（クレーン）とする。



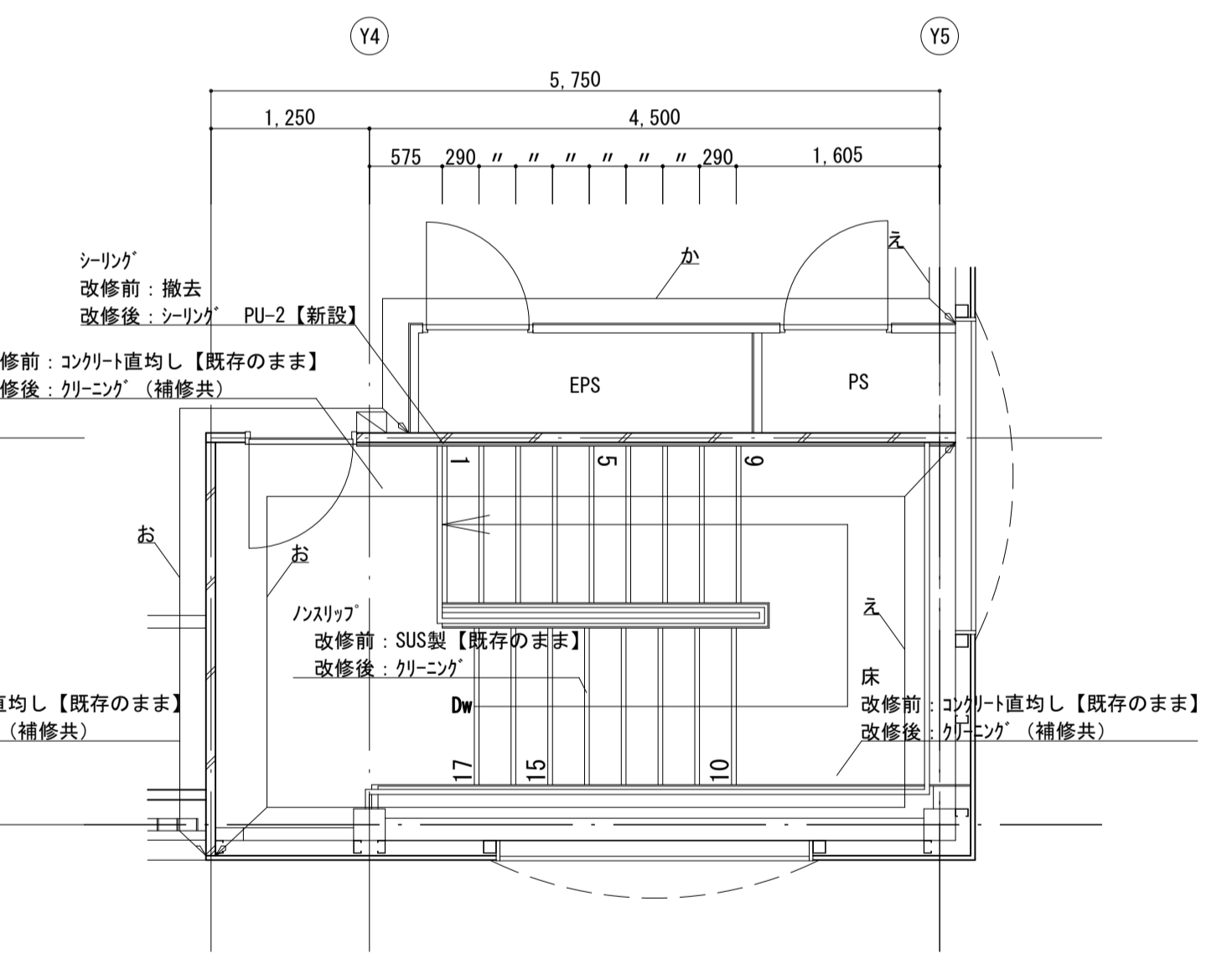
地下1階階段平面図 S=1:50



1階階段平面図 S=1:50



2階階段平面図 S=1:50



3階階段平面図 S=1:50

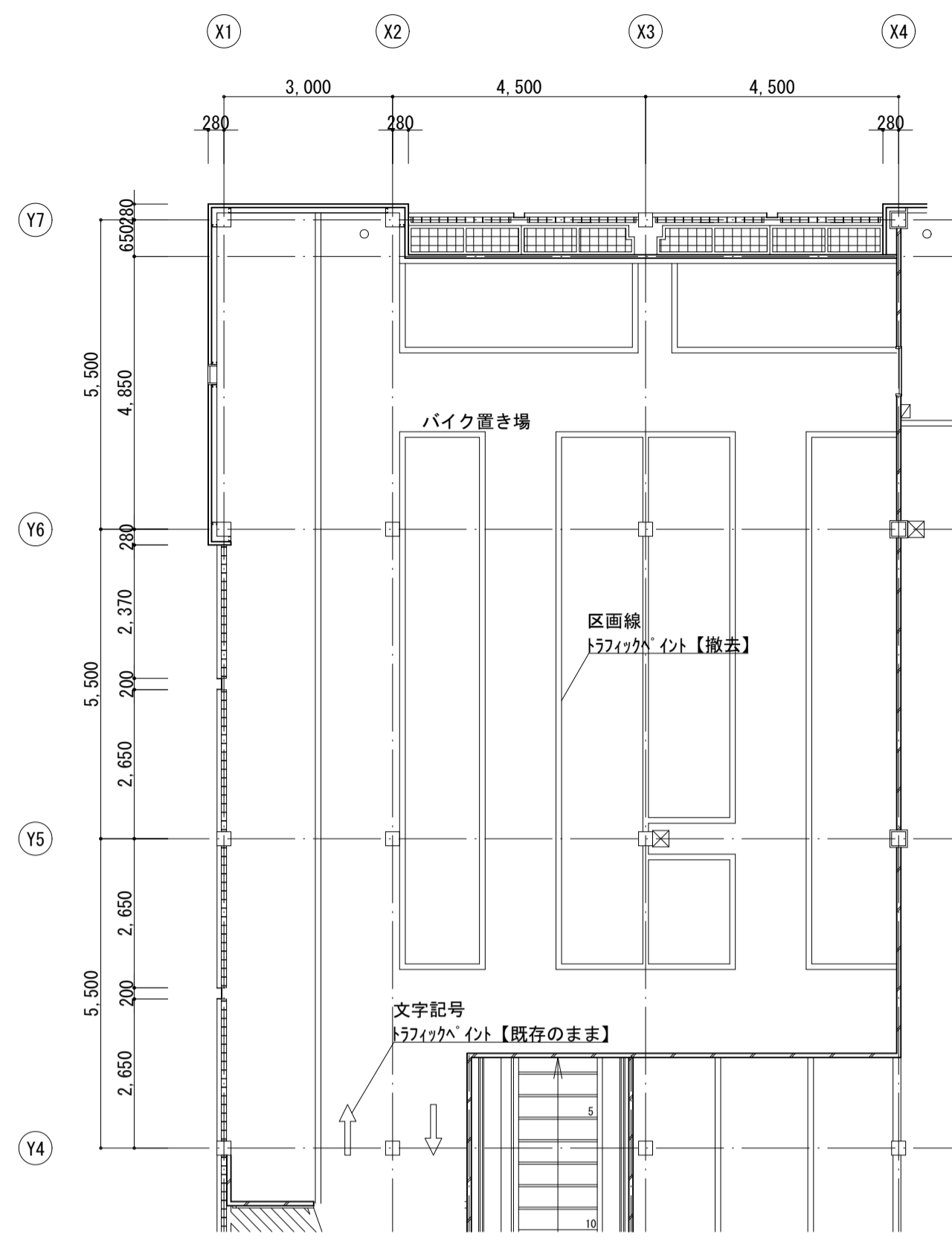
<凡例>

あ	内壁1	改修前	コンクリート打放し【既存のまま】	え	内壁4	改修前	押出中空成形ポリ板t35 + EP【既存のまま】
		改修後	クレーン（補修共）			改修後	下地調整 + EP-G【塗替え】
い	内壁2	改修前	コンクリート打放し + 複層塗材（72 ^h 含有）【既存のまま】	お	内壁5	改修前	ALC ^h 44t75 + 複層塗材（72 ^h 含有）【既存のまま】
		改修後	可とう系改修材E【塗替え】（補修部下地調整0-1の上、複層塗材E）			改修後	可とう系改修材E【塗替え】（補修部下地調整0-1の上、複層塗材E）
う	内壁3	改修前	押出中空成形ポリ板t60 + EP【既存のまま】	か	内壁6	改修前	軽鉄下地 + けい酸樹脂板【既存のまま】
		改修後	下地調整 + EP-G【塗替え】			改修後	下地調整 + 複層塗材【新設】（t ^h 巾巾木H100新設共）

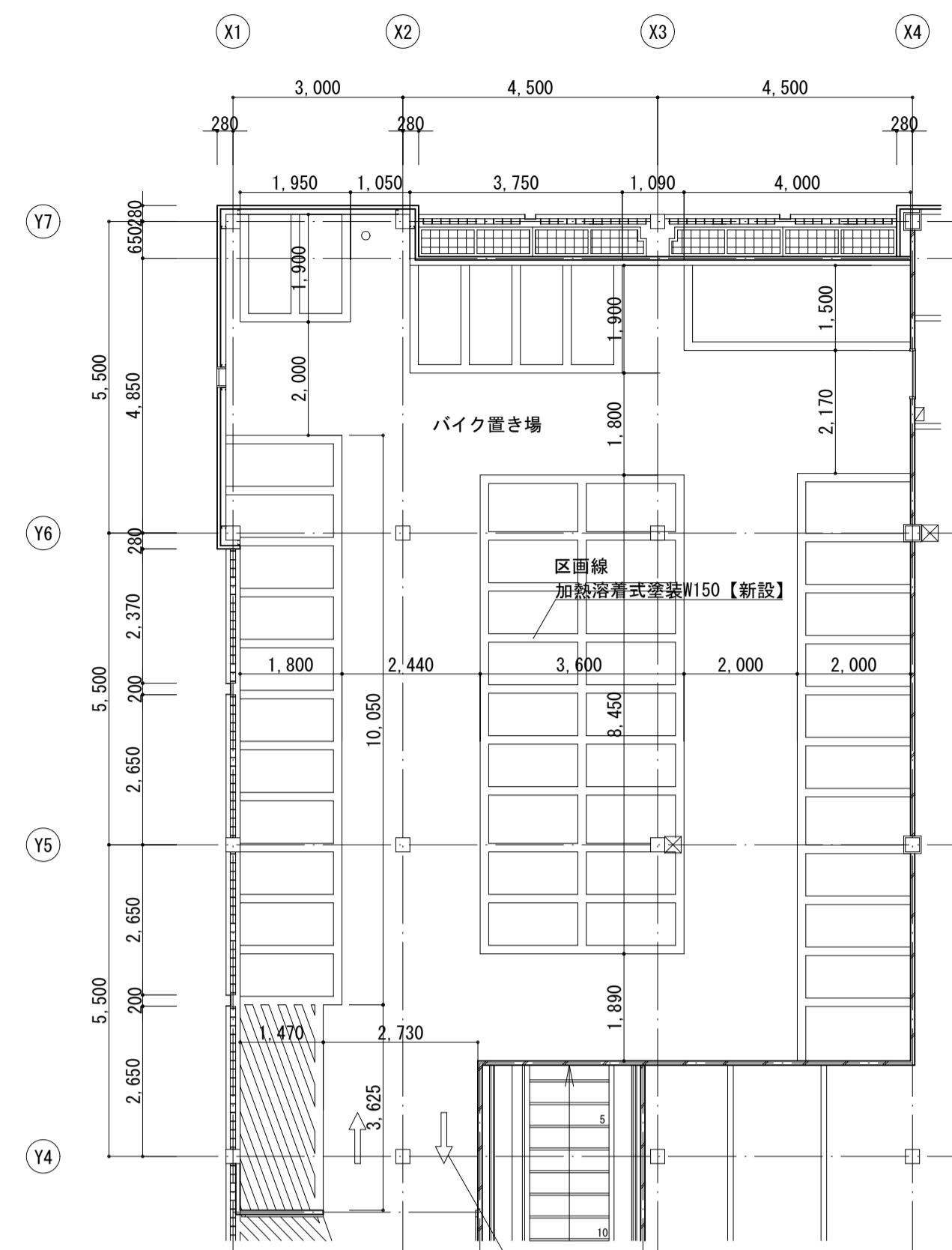
※鉄骨で損傷の著しい部分は、補修を行うこと。
 ※鉄骨柱・梁（見えがかり部）、鉄骨下地、天井、階段、スロープ、手摺、配管、換気口等の鉄部は全て下地調整 + DP【塗替え】とする。
 ※化粧目地、打継目地、壁に取り付けられている鋼製付属物、換気筒、配管廻り等のシーリングは【撤去・新設】とする。
 ※シーリングは仕上げありPU-2、仕上げなしMS-2とする。
 ※クレーンが5^h・ガリ・水切・換気フード・ベンチキャップは全て『クレーン』とする。
 ※内幅木は、それぞれ地下1階は72^h（72^h含有）既存塗膜除去（RB種）+下地調整+キリマント系基礎巾木用塗材【新設】
 その他は下地調整の上、キリマント系基礎巾木用塗材【新設】とする。

※天井・梁・内壁取合い部耐火被覆は、既存湿式ロックt30【撤去】、半乾式ロックt30【新設】とする。
 ※天井は、それぞれ地下1階は可とう系改修材E【塗替え】（補修部下地調整0-1の上、複層塗材E）、3階は下地調整 + EP-G【塗替え】とする。

工事名	北松戸駅西口自転車駐車場改修工事		
図面名	1~3階スロープ平面図・地下1階~3階階段平面図		
作成年月日	令和5年5月 日	変更年月日	
縮尺	1 : 50	図面番号	A-10
設計	松戸市街づくり部建築保全課		
事業者名	松戸市		
	調査	設計	製図
	花川	上坂	上坂

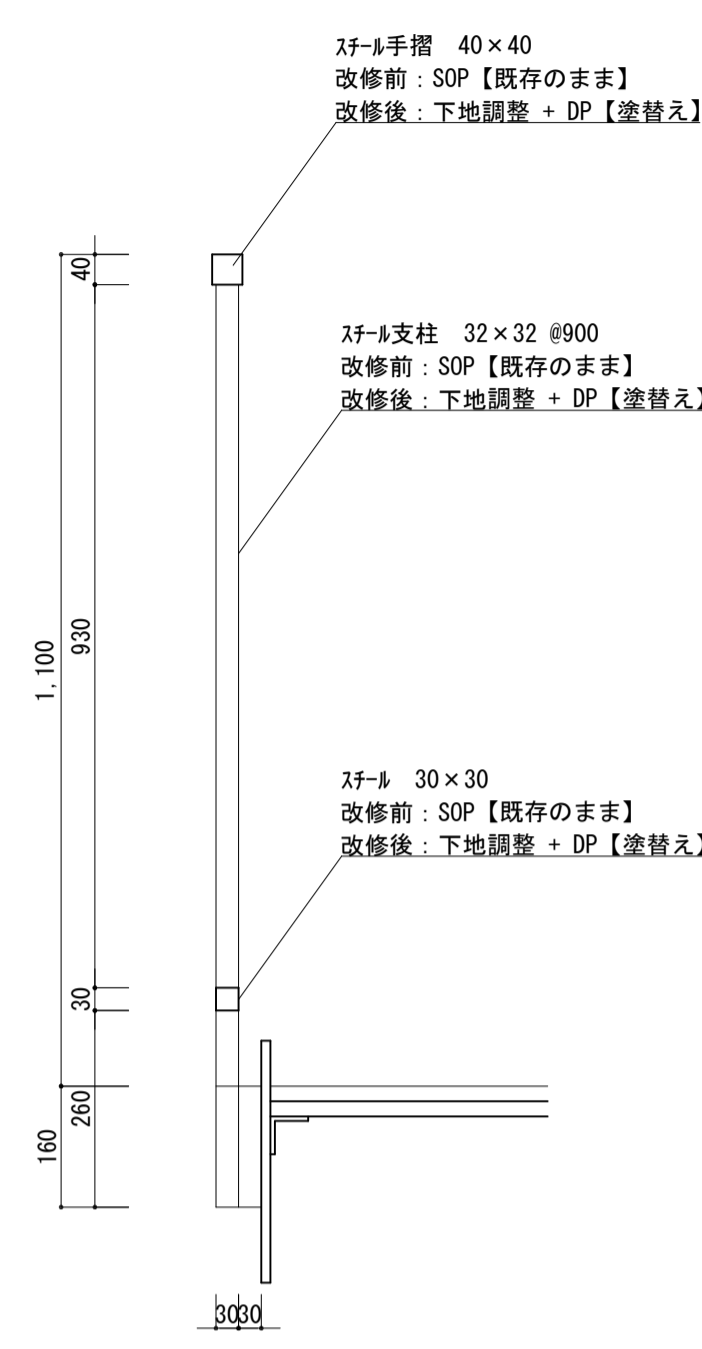


1階バイク置き場区画線図 (改修前) S=1:100

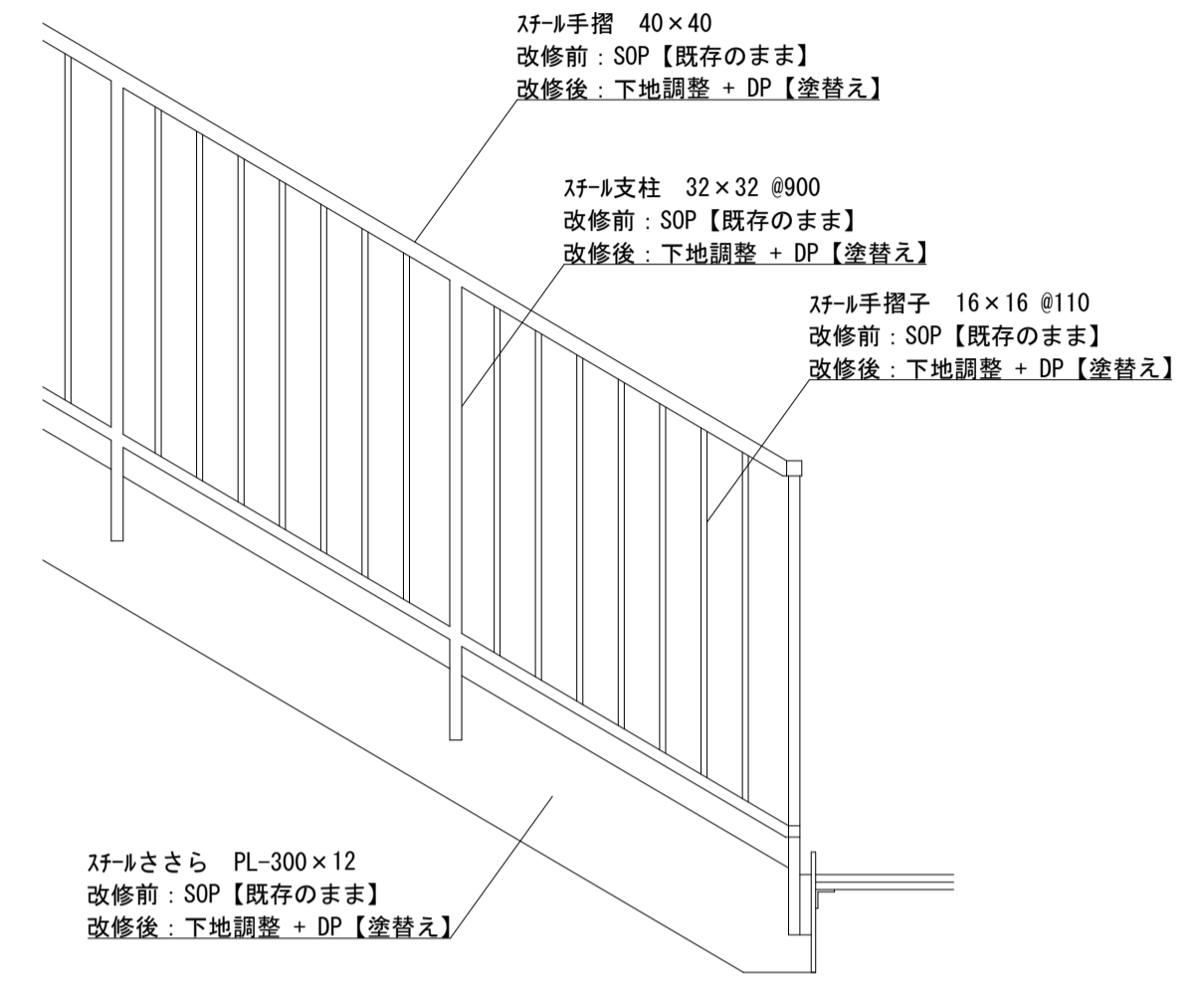


1階バイク置き場区画線図 (改修後) S=1:100

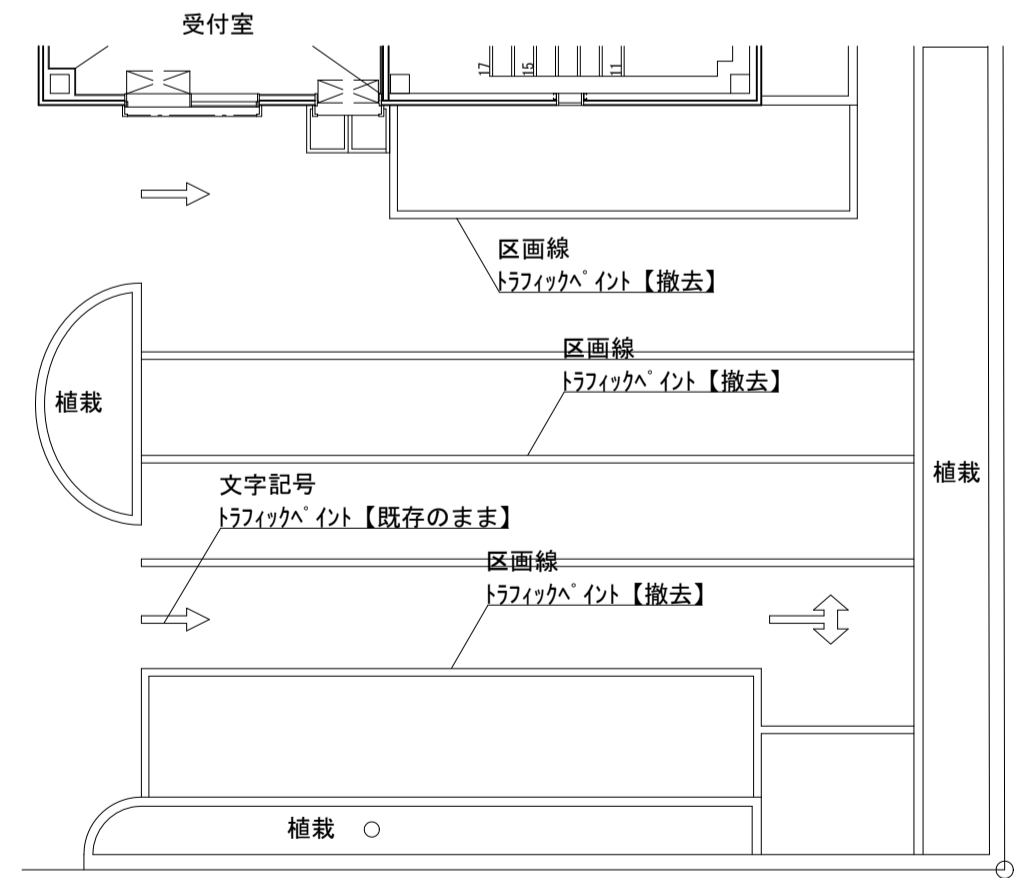
※地下1階～3階駐輪場の区画線は、加熱溶着式塗装W150【塗替え】とする。



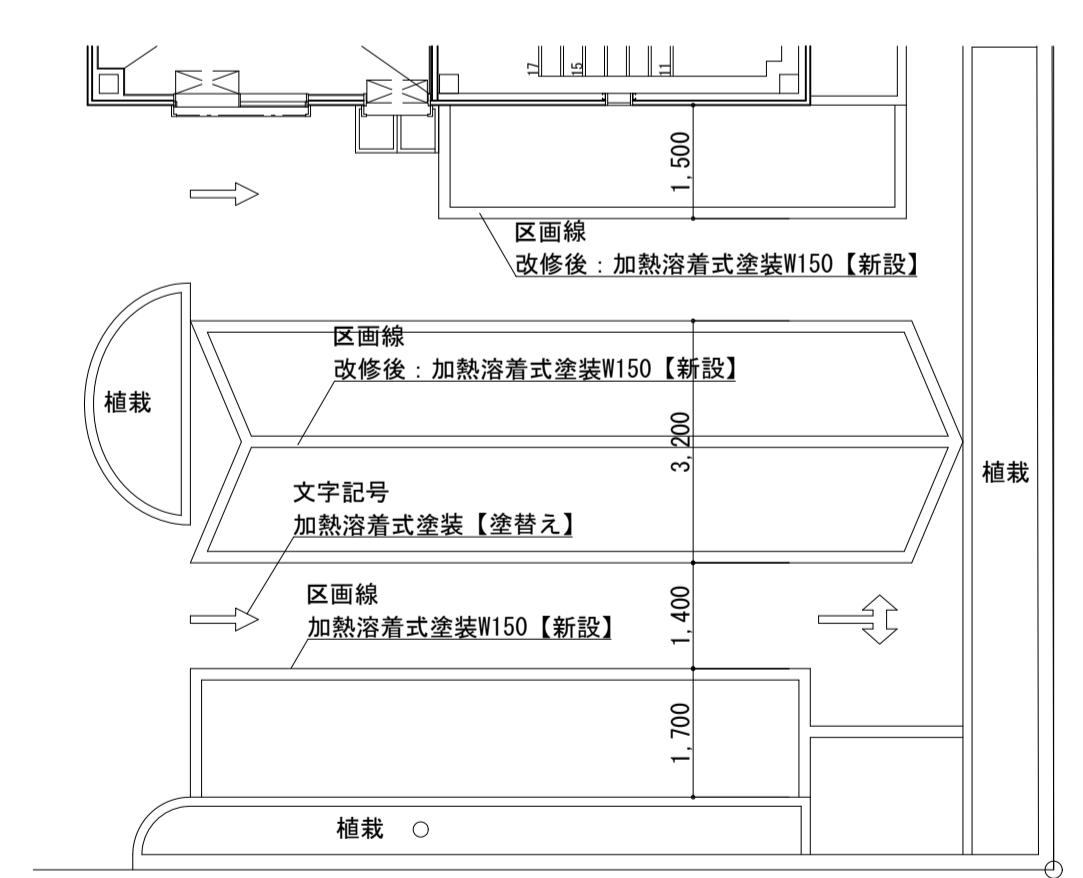
階段室手摺詳細図 S=1:10



階段室手摺姿図 S=1:20

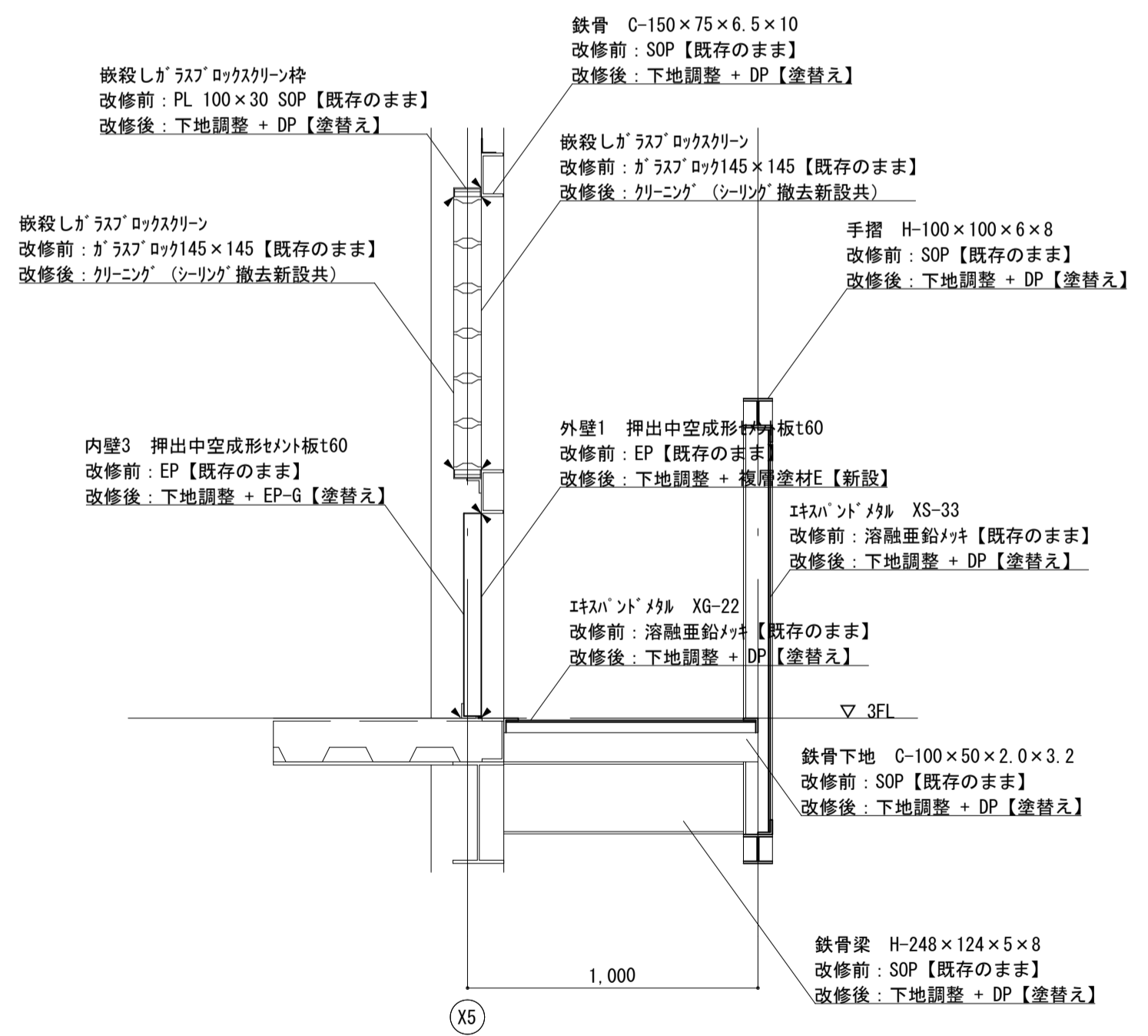


屋外駐輪場区画線図 (改修前) S=1:100



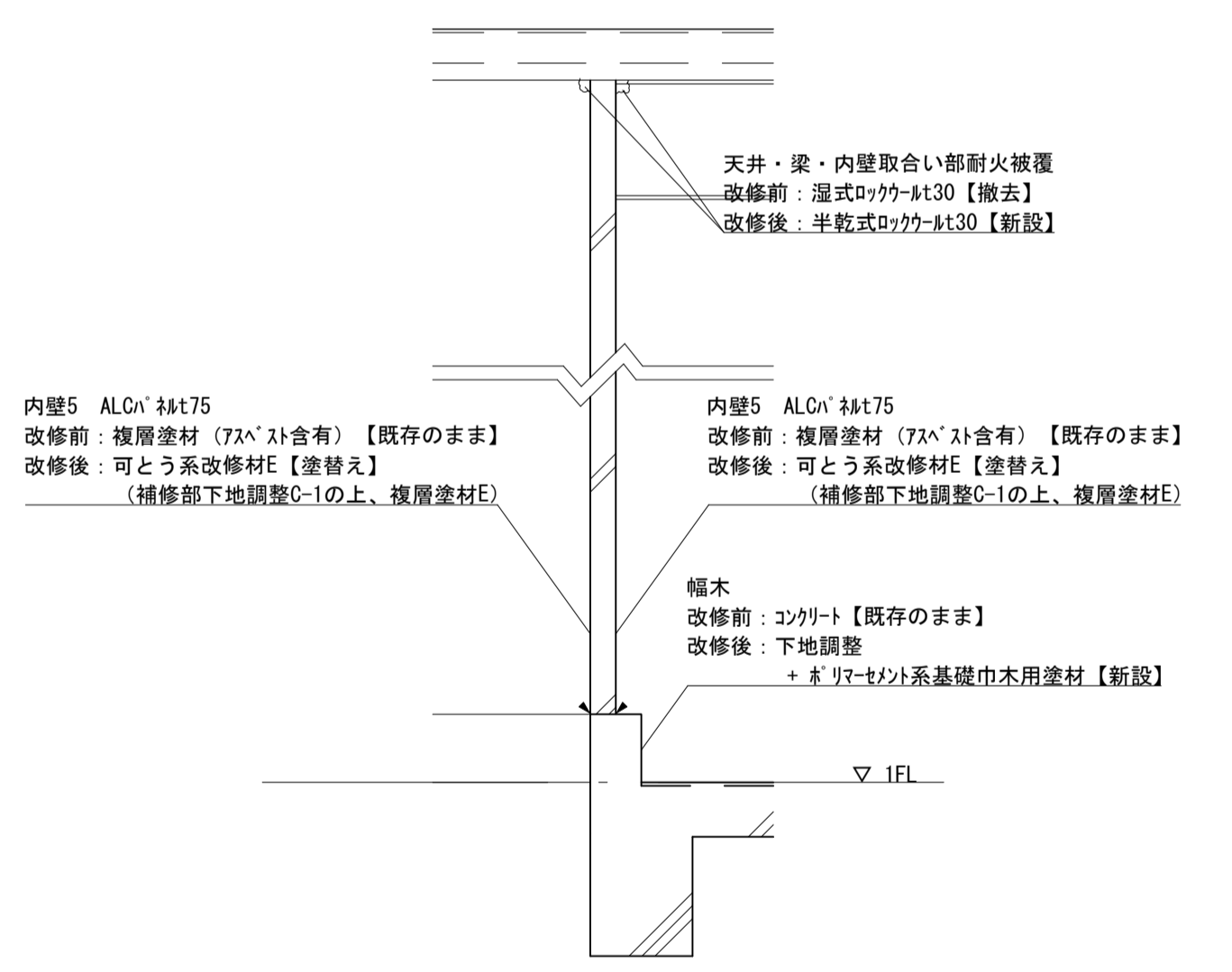
屋外駐輪場区画線図 (改修後) S=1:100

※地下1階～3階駐輪場の区画線は、加熱溶着式塗装W150【塗替え】とする。



バルコニー詳細図 S=1:20

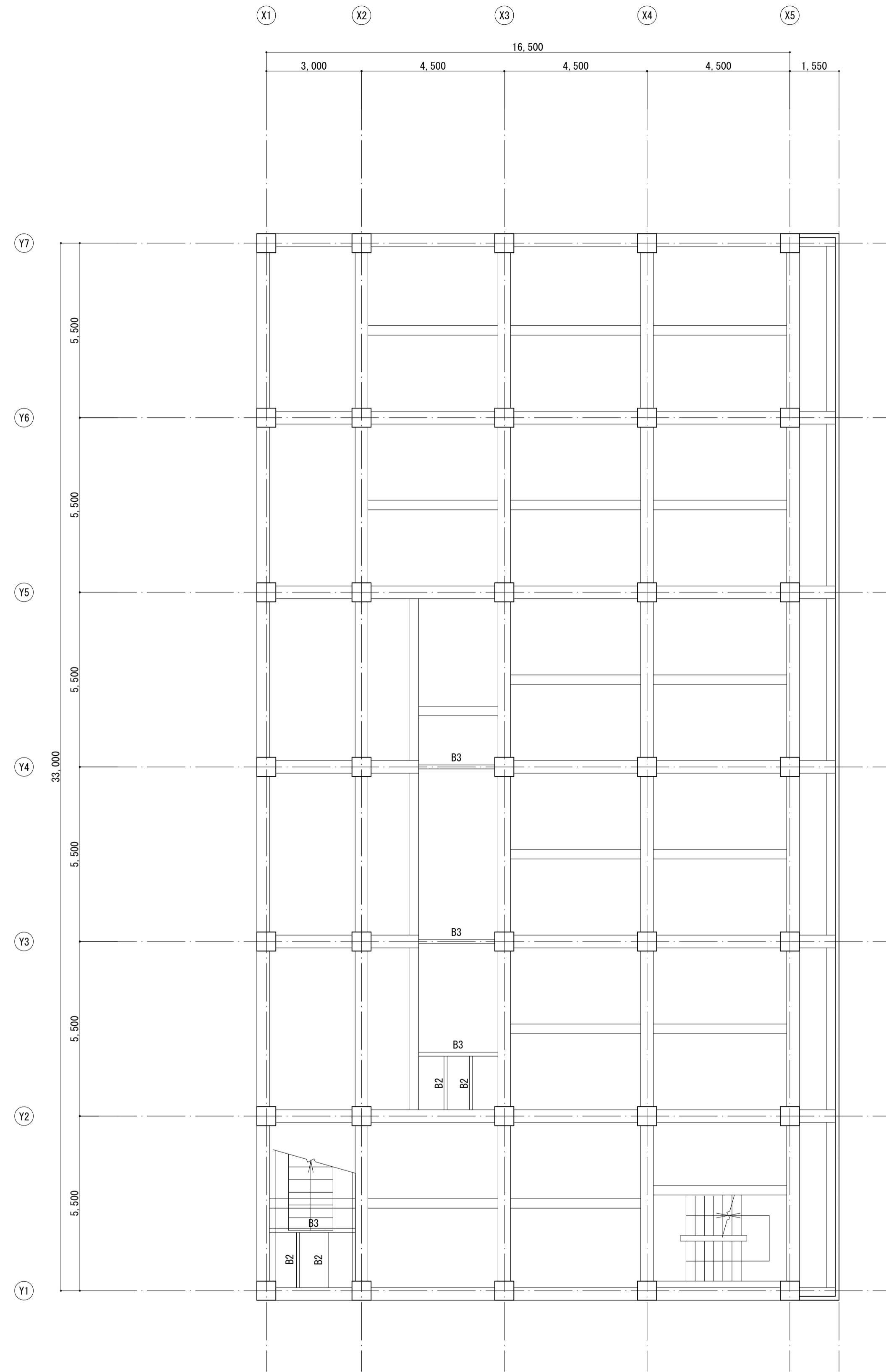
※ ▲ : シリリング撤去新設を示す。



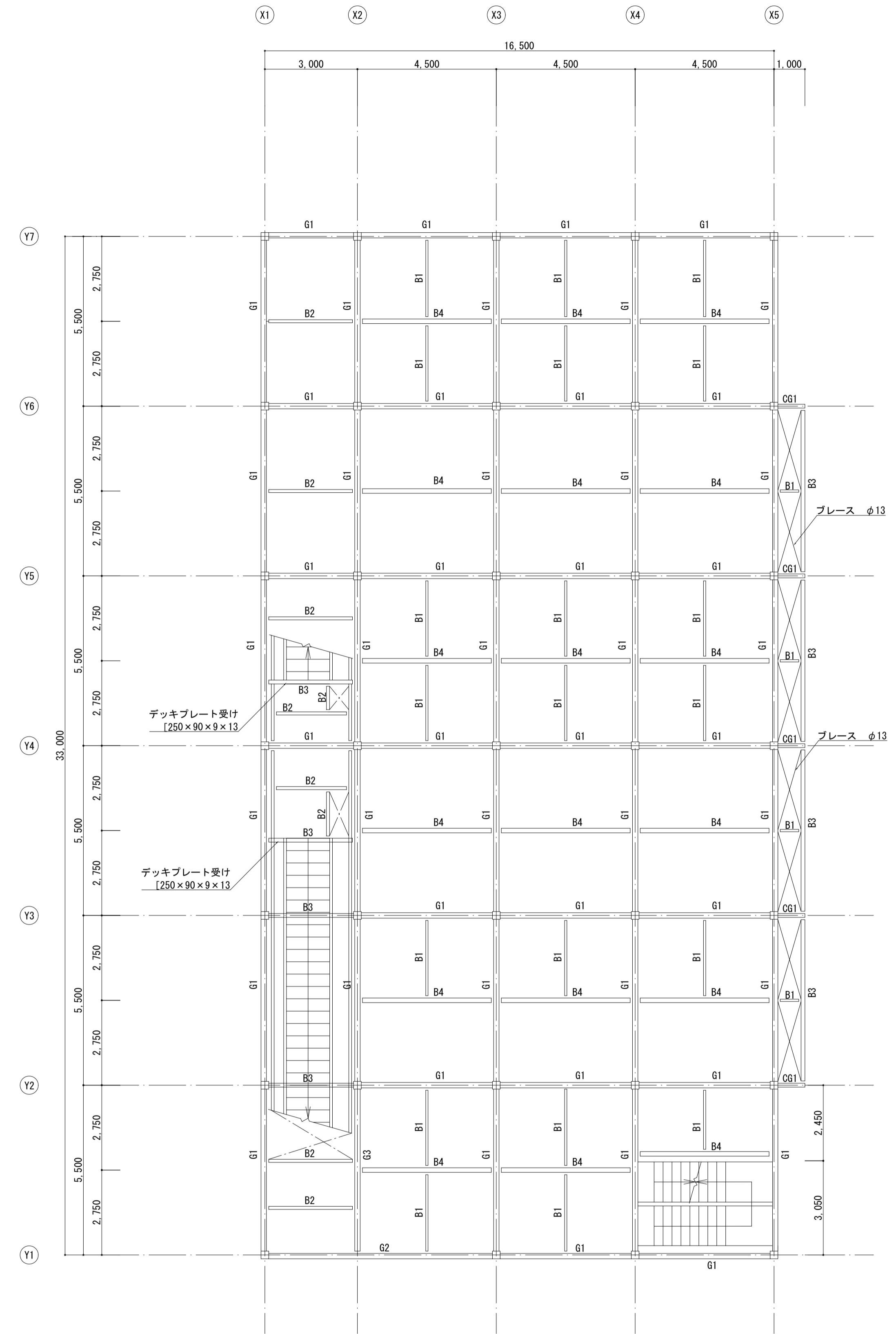
ALC壁詳細図 S=1:20

※ ▲ : シリリング撤去新設を示す。

工事名	北松戸駅西口自転車駐車場改修工事		
図面名	雑詳細図		
作成年月日	令和5年5月 日	変更年月日	
縮尺	1:10 1:20 1:100	図面番号	A-11
設計	松戸市街づくり部建築保全課		
事業者名	松戸市		
	照査	設計	製図
	花川	上坂	上坂



1階伏図 1:100

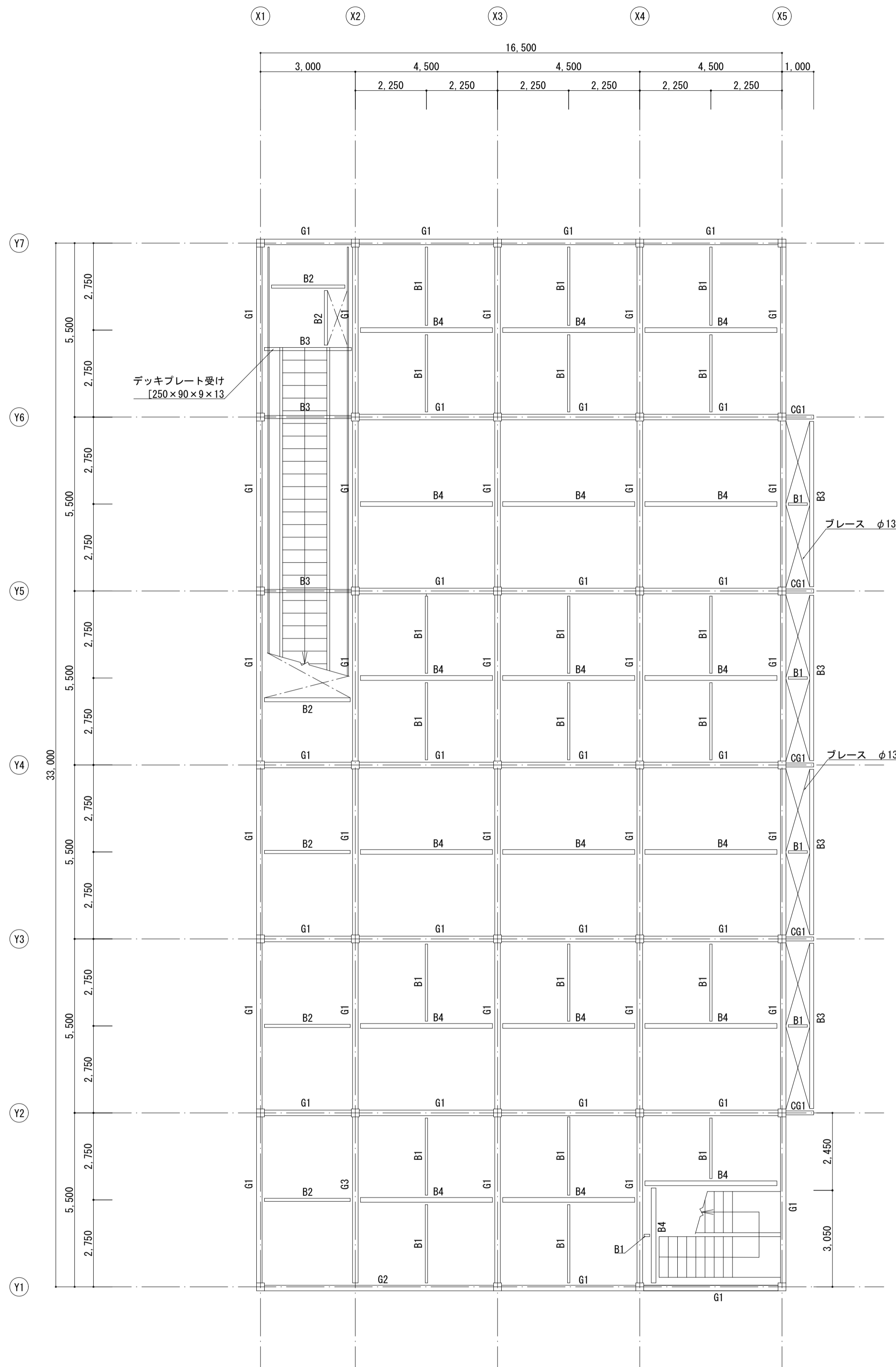


2階伏図 1:100

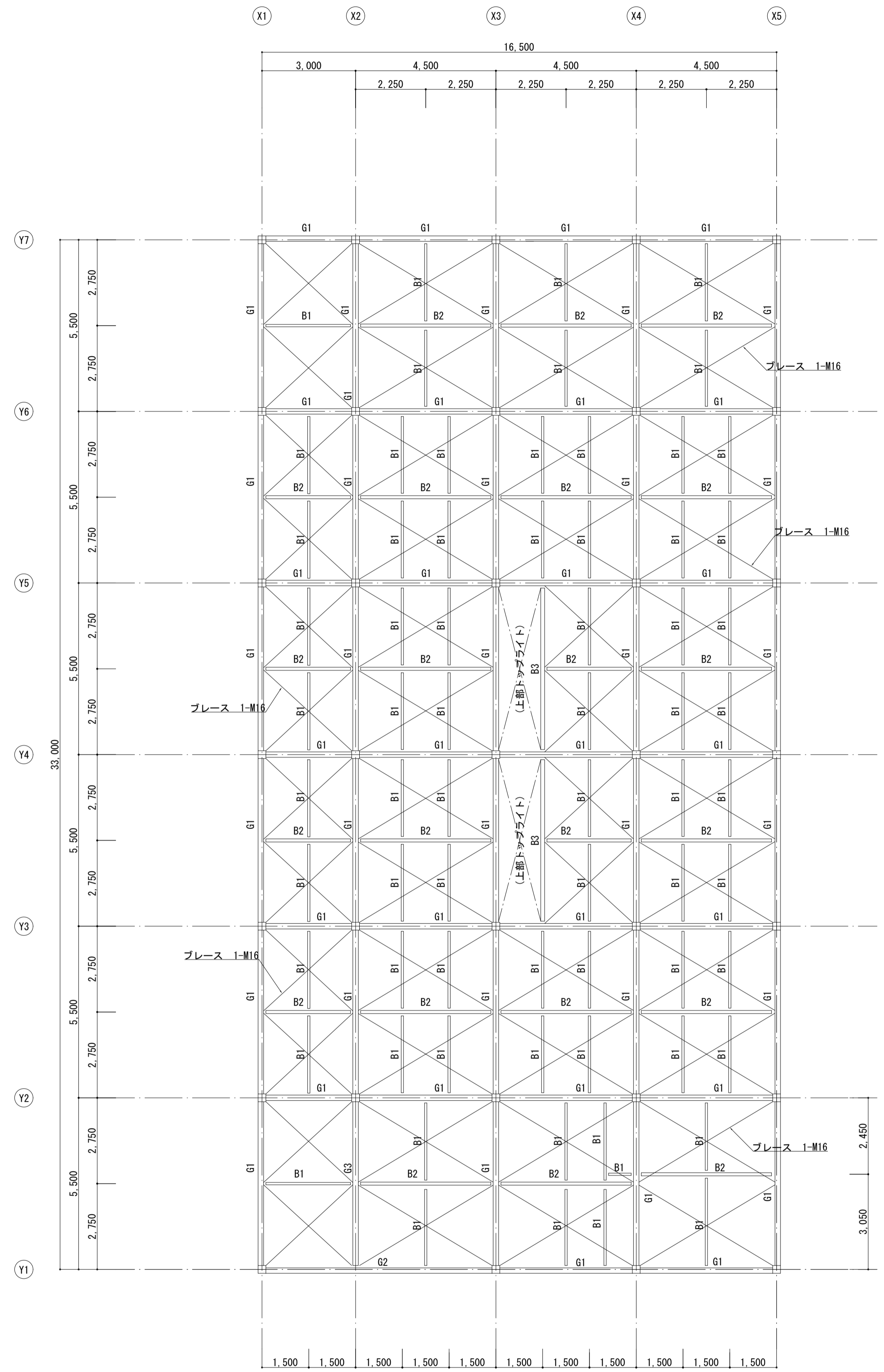
符号	階	鉄骨部材	符号	階	鉄骨部材
G1	3	□-250×250×6	G1	R	H-298×149×5.5×8
	2	□-250×250×9		3	H-346×174×6×9
	1	□-250×250×9		2	H-350×175×7×11
P2		H-150×150×7×10	G2	R	H-300×150×6.5×9
B1		H-150×75×5×7		3	H-350×175×7×11
B2		H-198×99×4.5×7	2	H-350×175×7×11	
B3		H-248×124×5×8	G3	R	H-298×149×5.5×8
B4		H-298×148×5.5×8		3	H-350×175×7×11
B5		H-194×150×6×9	2	H-350×175×7×11	
B6		H-100×100×6×8	CG1	3	H-248×124×5×8
				2	H-248×124×5×8

※特記なき柱はC1とする。
 ※鉄骨柱・梁(見えがかり部)、天井、階段等の鉄部は全て下地調整+DP塗装

工事名	北松戸駅西口自転車駐車場改修工事		
図面名	1階、2階梁伏図		
作成年月日	令和5年5月 日	変更年月日	
縮尺	1:100	図面番号	A-12
設計	松戸市街づくり部建築保全課		
事業者名	松戸市		
	照査	設計	製図
	花川	上坂	上坂



3階伏図 1:100

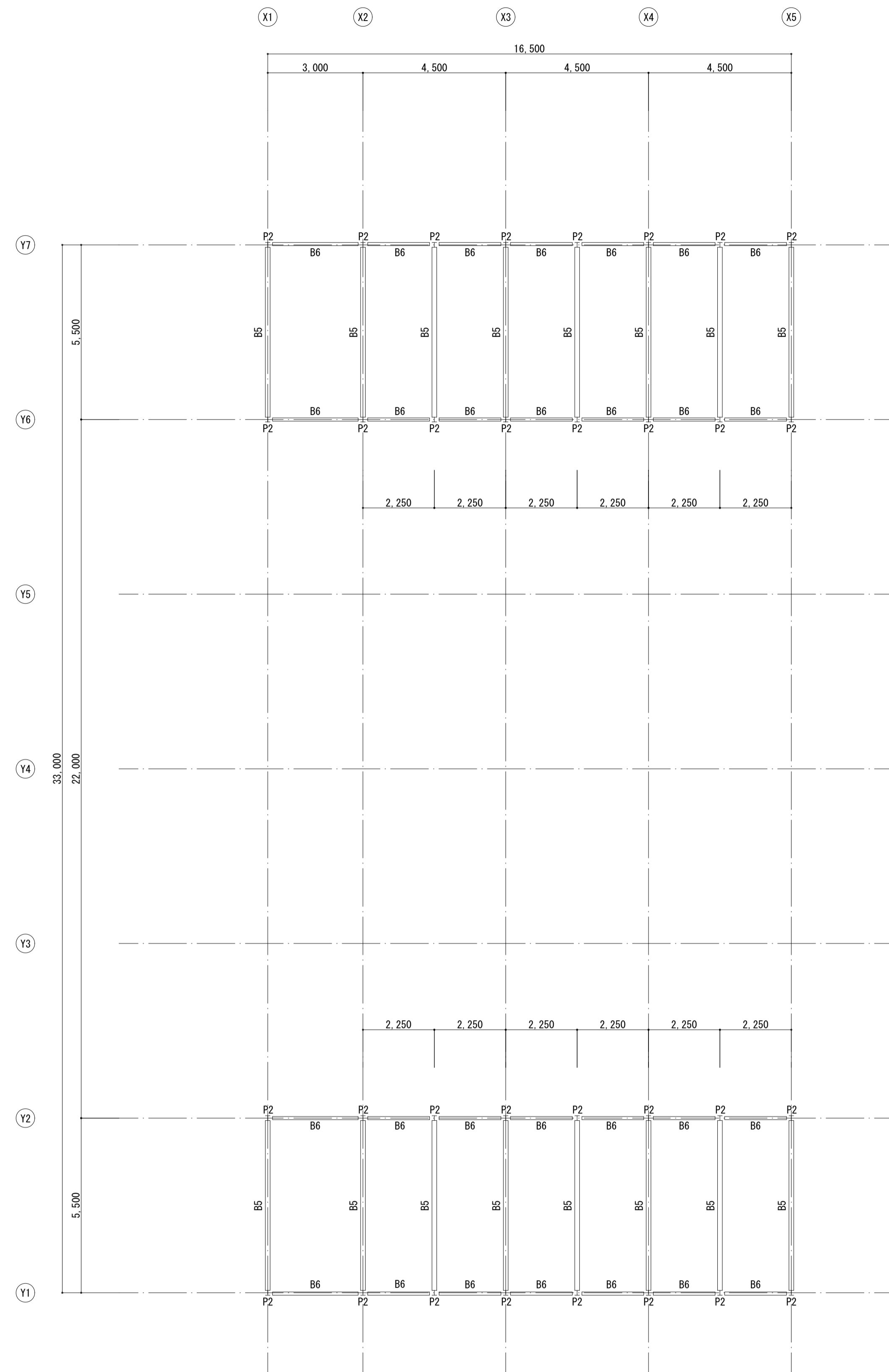


R階伏図 1:100

符号	階	鉄骨部材	符号	階	鉄骨部材
C1	3	□-250×250×6	G1	R	H-298×149×5.5×8
	2	□-250×250×9		3	H-346×174×6×9
	1	□-250×250×9		2	H-350×175×7×11
P2		H-150×150×7×10	R	H-300×150×6.5×9	
B1		H-150×75×5×7	3	H-350×175×7×11	
B2		H-198×99×4.5×7	2	H-350×175×7×11	
B3		H-248×124×5×8	R	H-298×149×5.5×8	
B4		H-298×148×5.5×8	3	H-350×175×7×11	
B5		H-194×150×6×9	2	H-350×175×7×11	
B6		H-100×100×6×8	3	H-248×124×5×8	
			2	H-248×124×5×8	
			CG1		

※特記なき柱はC1とする。
 ※鉄骨柱・梁(見えがかり部)、天井、階段等の鉄部は全て下地調整+DP塗装

工事名	北松戸駅西口自転車駐車場改修工事		
図面名	3階、R階梁伏図		
作成年月日	令和5年5月 日	変更年月日	
縮尺	1:100	図面番号	A-13
設計	松戸市街づくり部建築保全課		
事業者名	松戸市		
	照査	設計	製図
	花川	上坂	上坂

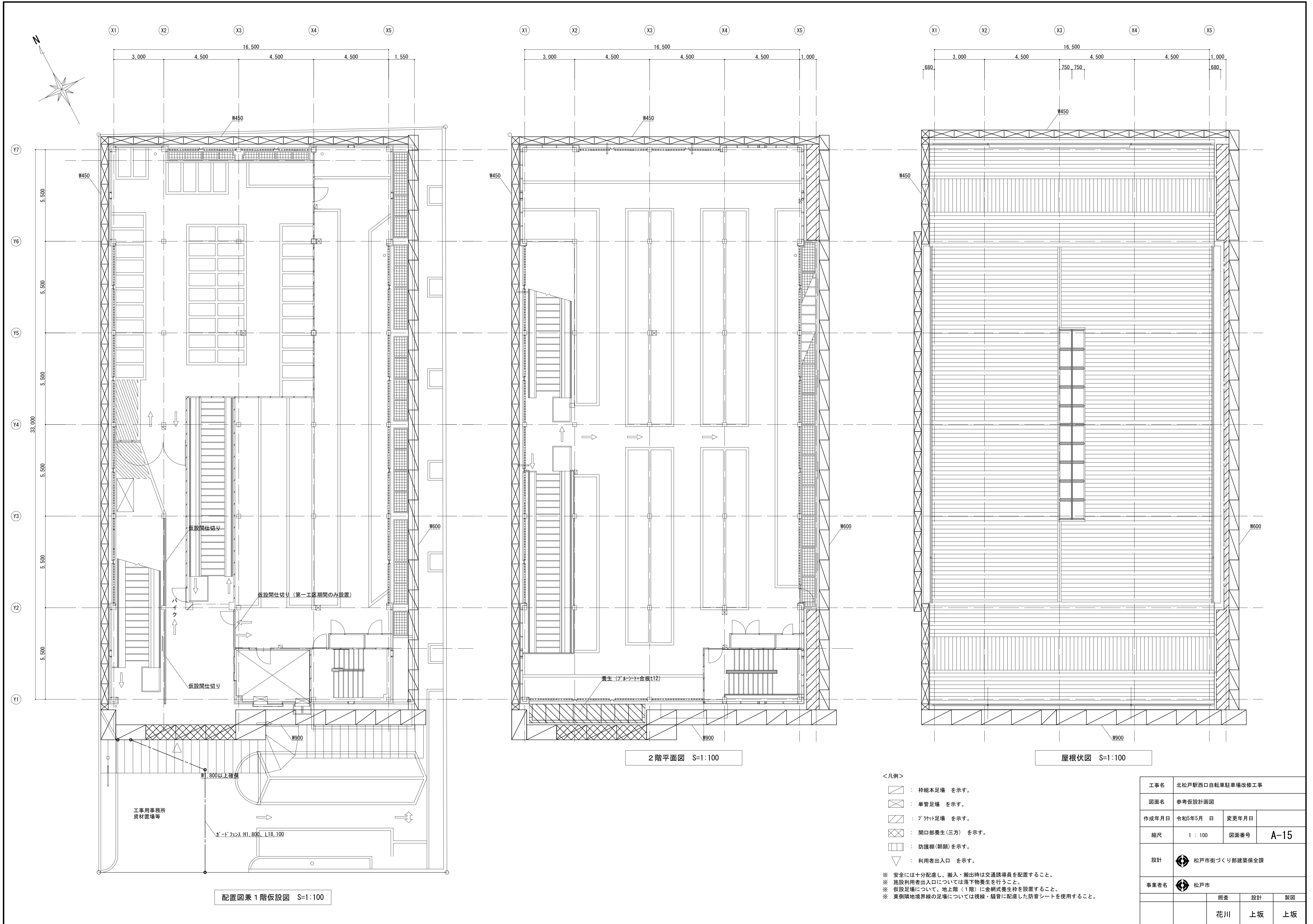


屋根立上部伏図 1:100

符号	階	鉄骨部材	符号	階	鉄骨部材
C1	3	□-250×250×6	G1	R	H-298×149×5.5×8
	2	□-250×250×9		3	H-346×174×6×9
	1	□-250×250×9		2	H-350×175×7×11
P2		H-150×150×7×10	G2	R	H-300×150×6.5×9
B1		H-150×75×5×7		3	H-350×175×7×11
B2		H-198×99×4.5×7		2	H-350×175×7×11
B3		H-248×124×5×8	G3	R	H-298×149×5.5×8
B4		H-298×148×5.5×8		3	H-350×175×7×11
B5		H-194×150×6×9		2	H-350×175×7×11
B6		H-100×100×6×8	CG1	3	H-248×124×5×8
				2	H-248×124×5×8

※特記なき柱はC1とする。
 ※鉄骨柱・梁(見えがかり部)、天井、階段等の鉄部は全て下地調整+DP塗装

工事名	北松戸駅西口自転車駐車場改修工事		
図面名	屋根立上部伏図		
作成年月日	令和5年5月 日	変更年月日	
縮尺	1:100	図面番号	A-14
設計	松戸市街づくり部建築保全課		
事業者名	松戸市		
	照査	設計	製図
	花川	上坂	上坂



工事名	北松戸駅西口自転車駐車場改修工事		
図面名	参考仮設計画図		
作成年月日	令和5年5月 日	変更年月日	
縮尺	1 : 100	図面番号	A-15
設計	松戸市街づくり部建築安全課		
事業者名	松戸市		
	調査	設計	製図
	花川	上坂	上坂

※ 安全には十分配慮し、搬入・搬出時は交通誘導員を配置すること。
 ※ 施設利用者出入口については落下物養生を行うこと。
 ※ 仮設足場について、地上階（1階）に金網式養生柵を設置すること。
 ※ 東側隣地境界線の足場については視線・騒音に配慮した防音シートを使用すること。

《 松戸市建築工事提出書類等一覧表 》 (2023.3)

1. 工事名称 北松戸駅西口自転車駐車場改修工事

2. 工事場所 松戸市上本郷530番地の1

3. 工期 令和 年 月 日 から 令和 6年 3月 22日 まで

4. CADデータの貸与 有 無

- ※1. 基準等にある「建」とは「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」を指す。
- ※2. 基準等にある「電」とは「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版」を指す。
- ※3. 基準等にある「機」とは「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版」を指す。
- ※4. 基準等にある「請負契約〇〇条」は「工事請負契約書」を指す。

	摘要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
工 事 着 工 前 に 提 出	■工事実績情報(工事カルテ)の登録 (受注登録工事カルテ受領書、受注登録データ) ※契約額が500万円以上(契約後10日以内に登録) 【契約後14日以内】	報告	1	建1.1.4 電1.1.4 機1.1.4 松戸市建設工事 適正化指導要綱	代表者
	<input type="checkbox"/> 電気保安技術者通知書 (資格者証の写し) 【契約後14日以内】	承諾	1	建1.3.3 電1.3.2 機1.3.2	
	■施工体制台帳・下請業者選定通知書・施工体系図 【契約後ただちに下請け業者と契約しない場合、下 請けなしとして契約後14日以内に提出。 下請契約した場合、下請契約後14日以内に提出】	報告	2	請負契約第7条 建1.1.5 電1.1.5 機1.1.5 松戸市建設工事 適正化指導要綱	
	■実施工程表 ※建築・電気・機械などの関連工事工程も記載 【初回打合せ後速やかに】	承諾	1	建1.2.1 電1.2.1 機1.2.1	
	■総合施工計画書 1. 組織表(現場代理人、主任技術者、工事用電 力設備の保安責任者など)、緊急連絡体制、 仮設計画図 2. 工事概要、建物概要、予想される災害・公害 対策、出入口の管理、危険箇所の点検方法、 火災予防、養生・片付け、工事の保険、関係 官公署その他の関係機関への届出等一覧表 など 【初回打合せ後速やかに】	報告	1	建1.2.2 電1.2.2 機1.2.2	

	摘 要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
工 事 中 に 提 出	■設計図書の照査報告書 【適宜】	報告	1	請負契約第19条	代表者
	■工種別施工計画書 ※資格者名簿・資格者証、使用資機材、使用材料・ 機材品質証明書などを添付	承諾	1	建1.2.2 電1.2.2 機1.2.2	主任技術者 及び現場代理人
	■施工図等（施工図、製作図、カタログ等） ※施工図、製作図は主任・現場が全ての図面に記名	承諾	1	建1.2.3 電1.2.3 機1.2.3	主任技術者 及び現場代理人
	■発生材処理計画書 産廃業者と契約書の写し（単価記載） 産廃業者の許可書の写し 再資源利用（促進）計画書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 ※登録は契約額が100万円以上 【廃棄物搬出前】	報告	1	建1.3.11 電1.3.9 機1.3.9	
	□月報（出来高・進捗表） 【月初め7日以内】	報告	1		
	□定例打合せ記録 【適宜】	報告	1		
	■詳細工程表（月間工程表） ※年末年始・GW・夏季等については、 安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載 【前月末日まで】	報告	1	建1.2.1 電1.2.1 機1.2.1	
	□地業（既製コンクリート杭等）工事結果報告書	報告	1	建1.5.4	主任技術者 及び現場代理人
	■試験結果報告書	報告	1	建1.4.5 建1.5.6 電1.4.5 電1.5.4 機1.4.6 機1.5.5	主任技術者 及び現場代理人
	□発生土処理報告書	報告	1		
	■発生材処理報告書 産廃業者マニフェストの写し（E票） 再資源利用（促進）実施書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 【処分後】	報告	1	建1.3.11 電1.3.9 機1.3.9	
	□出来高検査 1 出来高検査願 2 出来高報告書	報告	1	請負契約第39条	
	□現場休止届（年末年始・GW・夏季等） ※安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載	報告	1		

	摘 要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
完 成 後 に 提 出	■関係官公署その他の関係機関への届出等 【工事完了後速やかに】	報告	1		代表者
	■しゅん工届 【工事完了後速やかに】		1	建1.6.1 電1.6.1 機1.6.1	
	■自主検査記録（現場代理人以外の検査とする） 【工事完了後速やかに】	報告	1		
	■工事写真（建築工事写真撮影基準に準拠）			建1.2.4 電1.2.4 機1.2.4	
	■ 1 工事記録写真	写真帳	1		
	■ 2 完成写真 【工事完了後速やかに】	写真帳	1		
	■完成図 PDF, CADデータ	CDもし くはDVD	2	建1.7.2 電1.7.2 機1.7.2	
	□電子納品 電子媒体 電子媒体納品書	CDもし くはDVD	2 1	※松戸市建築事業 に係る電子納品 運用ガイドライ ン（案）	
	■工事实績情報（工事カルテ）の登録 （竣工登録工事カルテ受領書、竣工登録データ） ※500万以上	報告書	1	建1.1.4 電1.1.4 機1.1.4	
	■引渡し関係 ■ 1 予備品等引渡通知書（リスト共） □ 2 キーボックス		3		
	■防水工事に関する保証書 各種防水仕様による保証書（特記仕様による） 元請業者、製造業者及び防水施工業者の連名	保証書	3		
	■保全に関する資料 □ 1 建築物等の利用に関する説明書 □ 2 保守に関する説明書（機器取扱説明書を含む） □ 3 機器性能試験成績書 ■ 4 官公署届出書類	原則、 CDもし くはDVD	2 2 1 1	建1.7.3 電1.7.3 機1.7.3	
	□ 5 総合試運転報告書 □ 6 総合試運転調整報告書		1 1	電1.7.3 機1.7.3	

《 松戸市建築工事検査・立会い一覧表 》 建築工事編 (2022.4)

1. 工事名称 北松戸駅西口自転車駐車場改修工事

2. 工事場所 松戸市上本郷530番地の1

3. 工期 令和 年 月 日 から 令和 6年 3月 22日 まで

標 仕：公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版

改標仕：公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版

No	検査・立会い項目	基準等	備考
1	検査		
	■1 品質管理検査(必要に応じて)	標 仕 1. 3.6 改標仕 1. 3.6	
	■2 材料の検査(承諾済は除く)	標 仕 1. 4.4 改標仕 1. 4.4	
	■3 施工の検査等	標 仕 1. 5.5 改標仕 1. 7.5	
	□4 敷地の状況確認及び縄張り	標 仕 2. 2.1	
	□5 ベンチマーク	標 仕 2. 2.2	
	□6 遣方	標 仕 2. 2.3	
	□7 根切り	標 仕 3. 2.1 改標仕 8.28.3	
	□8 地業工事の試験	標 仕 4. 2.1	
	□9 配筋検査	標 仕 5. 1.3 改標仕 8. 3.1	
	□10 コンクリート打ち込み後補修	標 仕 6. 9.6 改標仕 8. 8.6	
	□11 高力ボルト締付確認の記録	標 仕 7. 4.8 改標仕 8.14.8 改標仕 8.20.7	
	□12 鉄骨建方	標 仕 7.10.5	
	□13 鉄骨現場組立て	改標仕 8.19.3	
	□14 鋼板巻組立て	改標仕 8.23.6	
	■15 防水層の施工	標 仕 9. 1.3 改標仕 3. 1.3	
	□16 タイル張施工後の接着力試験不合格の場合	標 仕 11. 1.7 改標仕 4. 4.8 改標仕 6.16.2	
	■17 部分使用		
	□18 出来高		
2	立会い		
	■1 材料の検査に伴う試験	標 仕 1. 4.5 改標仕 1. 4.5	
	■2 監督職員の指示による立会い	標 仕 1. 5.7 改標仕 1. 7.7	
	■3 試験による立会い	改標仕 8.28.4	
	□4 コンクリートの製造(試し練り)	改標仕 8. 2.5	